

食品安全モニター課題報告 「食品の安全性に関する意識等について」(平成19年6月実施)の結果

【調査の概要】(詳細は別添参照)

1. 調査目的

食品安全委員会では、消費者の方々から食品の安全性に係る情報や意見をいただくため、本年4月に新たに平成19年度食品安全モニターを470名の方々に依頼した。今回、当該モニターを対象に『課題報告』としてアンケート形式の調査(以下、「今回調査」という。)を実施し、438名の方々から有効回答を得たところである。なお、このうち約6割は、これまでもモニターを経験された方で、残りの約4割が平成19年度から初めてモニターになっていただいた方々である。

一部設問については、全国の20歳代以上を対象に実施したインターネットアンケート調査「食品の安全性に係るリスクコミュニケーション等に関する調査」(平成19年3月実施)(以下、「インターネット調査」という。)、16年度食品安全モニター課題報告「食の安全性に関する意識調査」(以下、「16年度調査」という。)、17年度食品安全モニター課題報告「食の安全性に関する意識調査」(以下、「17年度調査」という。)及び18年度食品安全モニター課題報告「食の安全性に関する意識等について」(以下、「18年度調査」という。)における調査結果との比較も行った。

調査項目は、次の4項目である。

1. 食品の安全性に係る危害要因等について
(食分野の安全性に係る不安感の程度、不安を感じる理由等)
2. 食品の安全性に関する情報について
(食品の安全性に関する情報源)
3. 食品安全委員会のホームページ等について
(ホームページ・食品安全総合情報システム・メールマガジン・映像ソフトの閲覧・購読状況と、それらに対する意見・要望)
4. トランス脂肪酸のファクトシートについて
(トランス脂肪酸のファクトシートの認知・閲覧状況)

2. 実施期間

平成19年6月29日～7月24日

3. 対象

食品安全モニター 470名

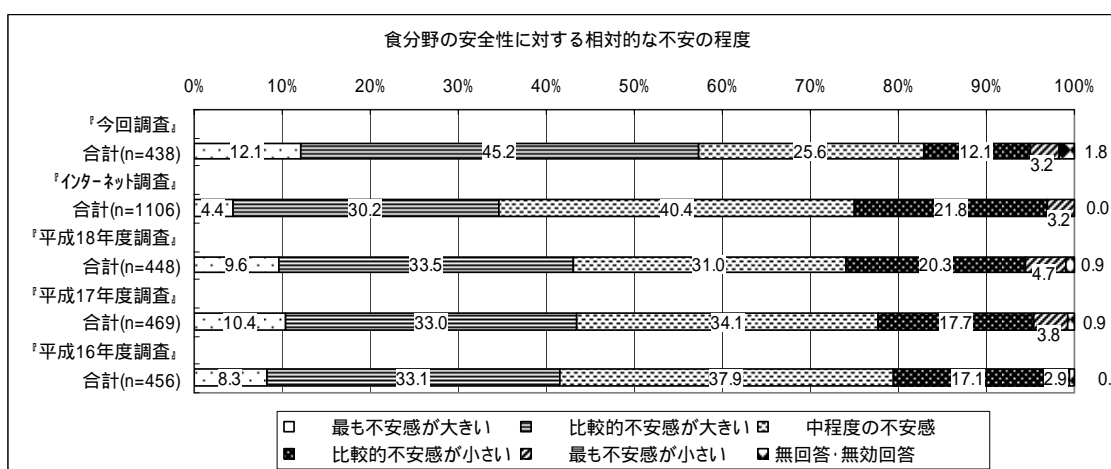
有効回答数 438名 (有効回答率: 93.2%)

【結果概要】

1) 食品の安全性に係る危害要因等について

自然災害などの日常生活を取り巻く他分野と比べた、食の安全への相対的な不安感（問1）

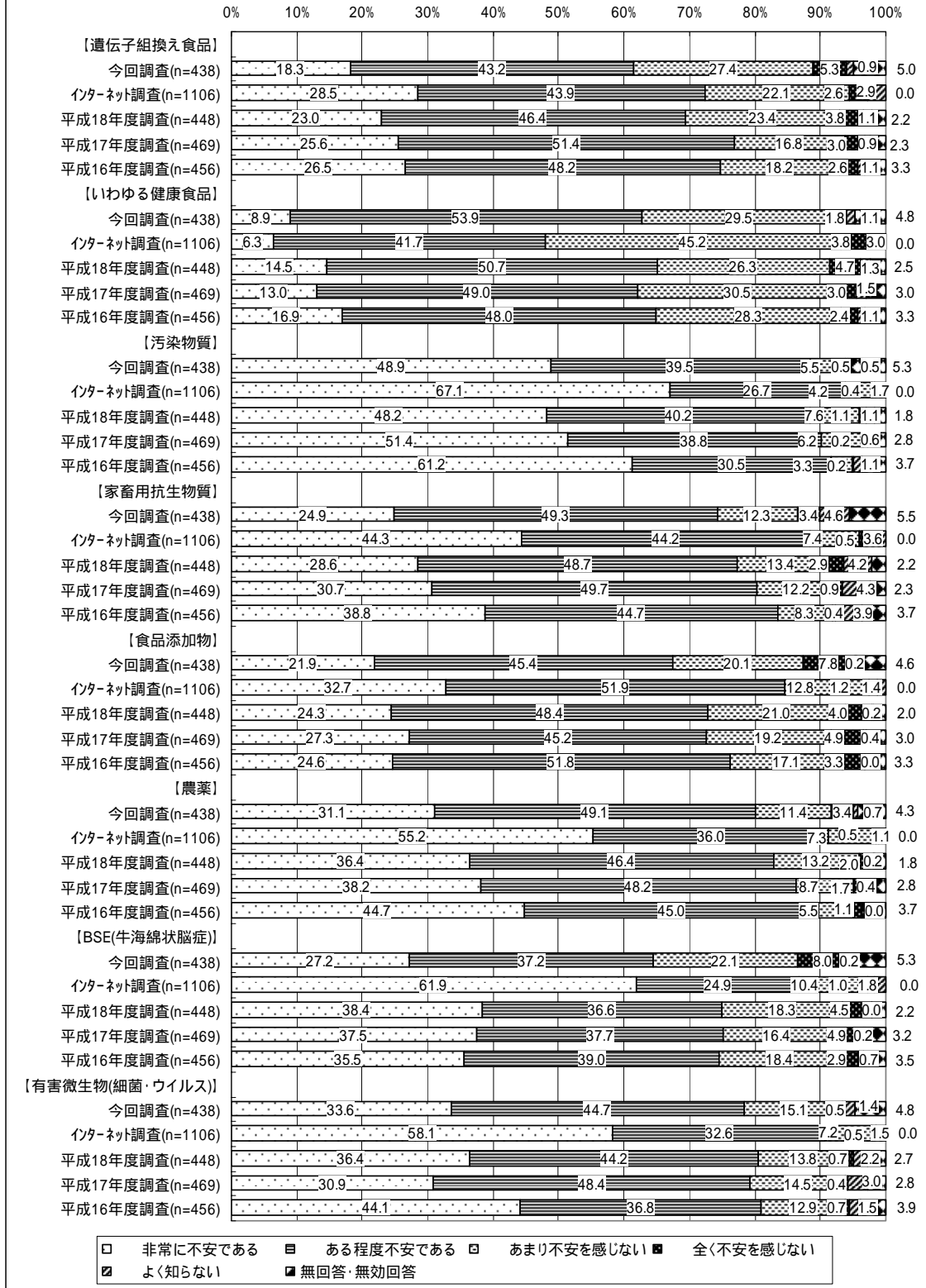
- ◆ 16年度調査、17年度調査及び18年度調査（以下、「過去3回調査」という。）の結果に比べて、他分野よりも食分野の安全性に係る不安感が大きいと指摘している人が増え、全体の6割弱
（過去3回調査では共に4割強）
- ◆ インターネット調査結果に比べて、今回調査の方が、食分野の安全性に係る不安感が大きいと回答



食品の安全性の観点から感じている不安の程度（問2）

- ◆ 食分野の安全性に係る不安感の程度は、過去3回調査の結果同様、汚染物質が最も高い
- ◆ 「BSE（牛海綿状脳症）」について不安を感じている人は6割5分で、過去3回調査の結果に比べて、大きく減少
（過去3回調査では共に7割5分）
- ◆ 今回調査とインターネット調査の結果を比較すると、「いわゆる健康食品」以外で、インターネット調査の方が不安の程度は高い

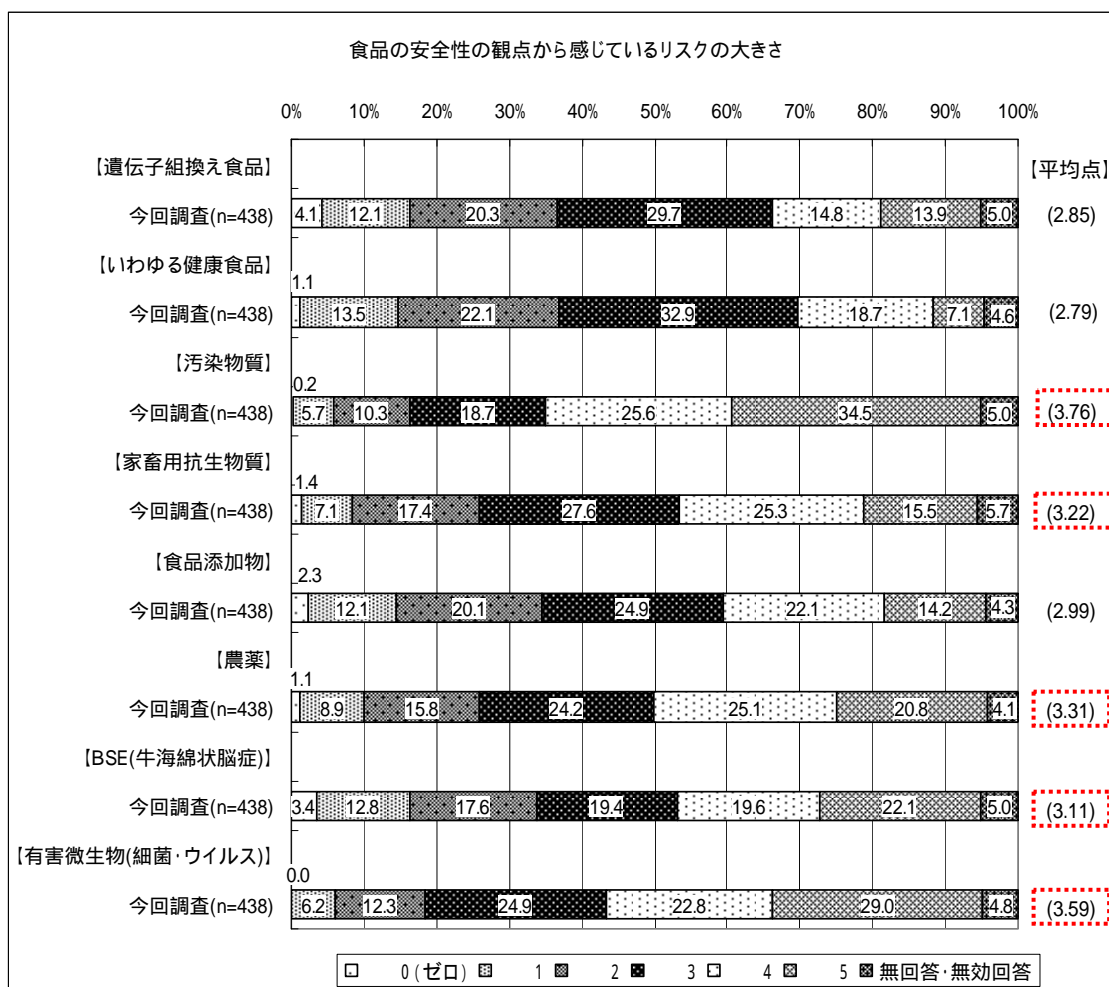
食の安全性の観点から感じている不安の程度



食品の安全性の観点から感じているリスクの大きさ（問2）

8 要因の中で、リスクが最も大きいとする評価は「汚染物質」で、次いで「有害微生物（細菌・ウイルス）」、「農薬」、「家畜用抗生物質」、「BSE（牛海綿状脳症）」の順で続く

食品の安全性の観点から感じている「不安の程度」と「リスクの大きさ」については、相関がある



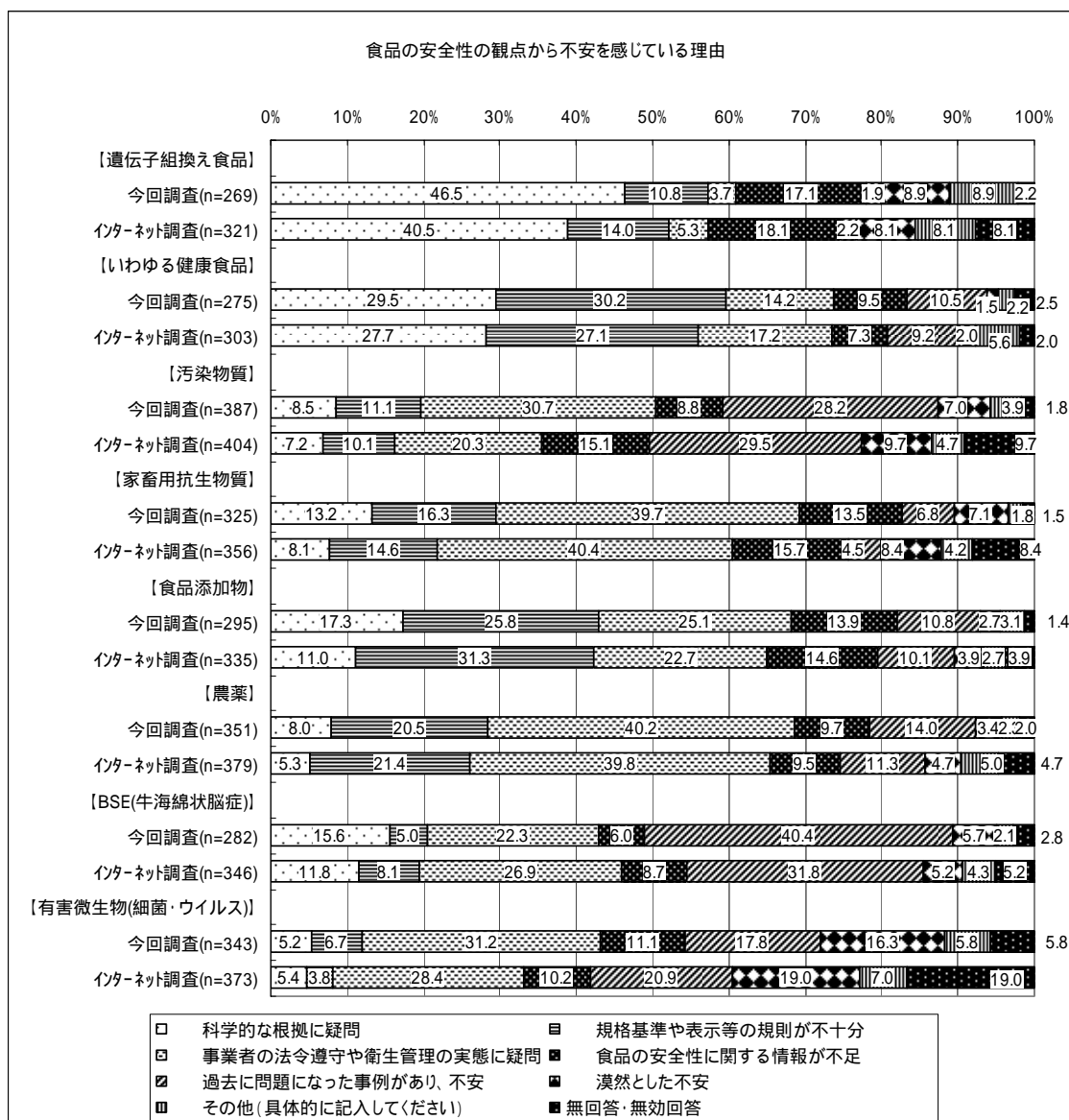
右の括弧内の数字は、それぞれの要因について0~5の6段階で回答したリスクの大きさを得点とみなし、その得点を平均したもの

食品の安全性の観点から不安を感じている理由（問3）

食品の安全性について不安を感じている理由は、要因ごとに相違

「遺伝子組換え食品」については5割弱、「いわゆる健康食品」については約3割が、不安の理由は「科学的な根拠に疑問」と回答

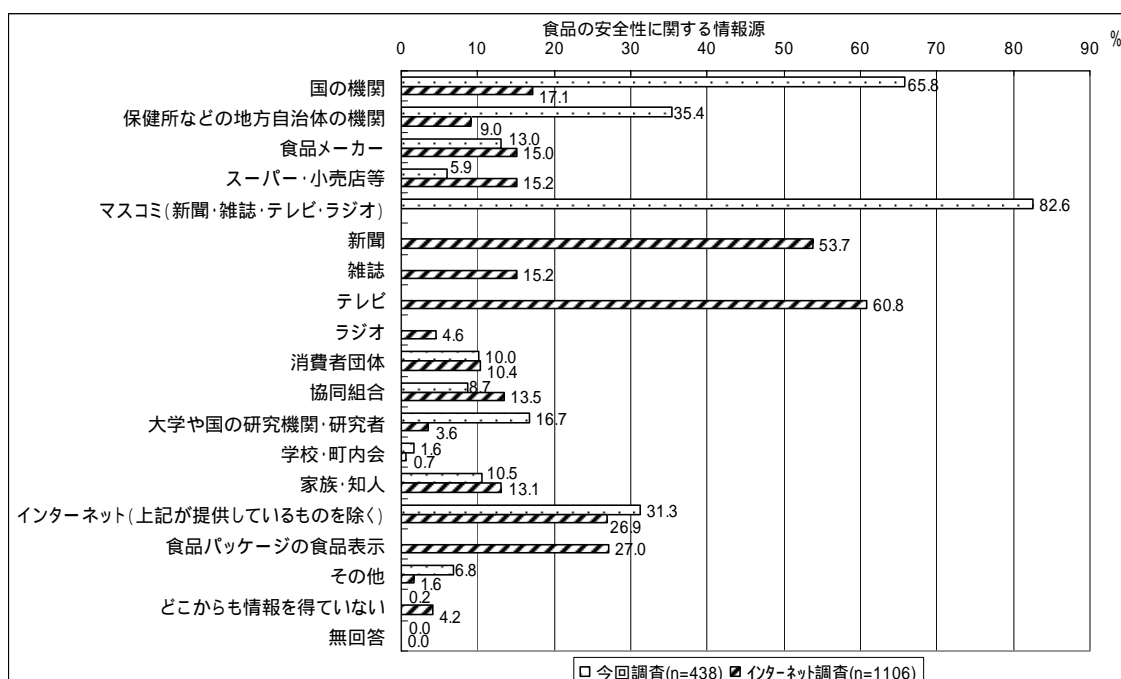
今回調査の結果とインターネット調査結果には、大きな相違はない



2) 食品安全に関する情報の入手先について(問4)

食品安全に関する情報の入手先の第一位は、今回調査、インターネット調査ともに「マスコミ(新聞・雑誌・テレビ・ラジオ)」

食品安全モニターを対象とする今回調査は「国の機関」、「保健所などの地方自治体の機関」から情報を入手している人が相対的に多い。一方、インターネット調査対象者は「マスコミ(新聞・雑誌・テレビ・ラジオ)」を情報入手先としている割合が顕著に高く、情報入手先をマスコミに大きく依存



(注)・今回調査では「新聞」、「雑誌」、「テレビ」、「ラジオ」の4つすべてを含め「マスコミ(新聞・雑誌・テレビ・ラジオ)」の選択肢としたが、インターネット調査では4つ各々を選択肢としていたため、各々の結果を掲載。

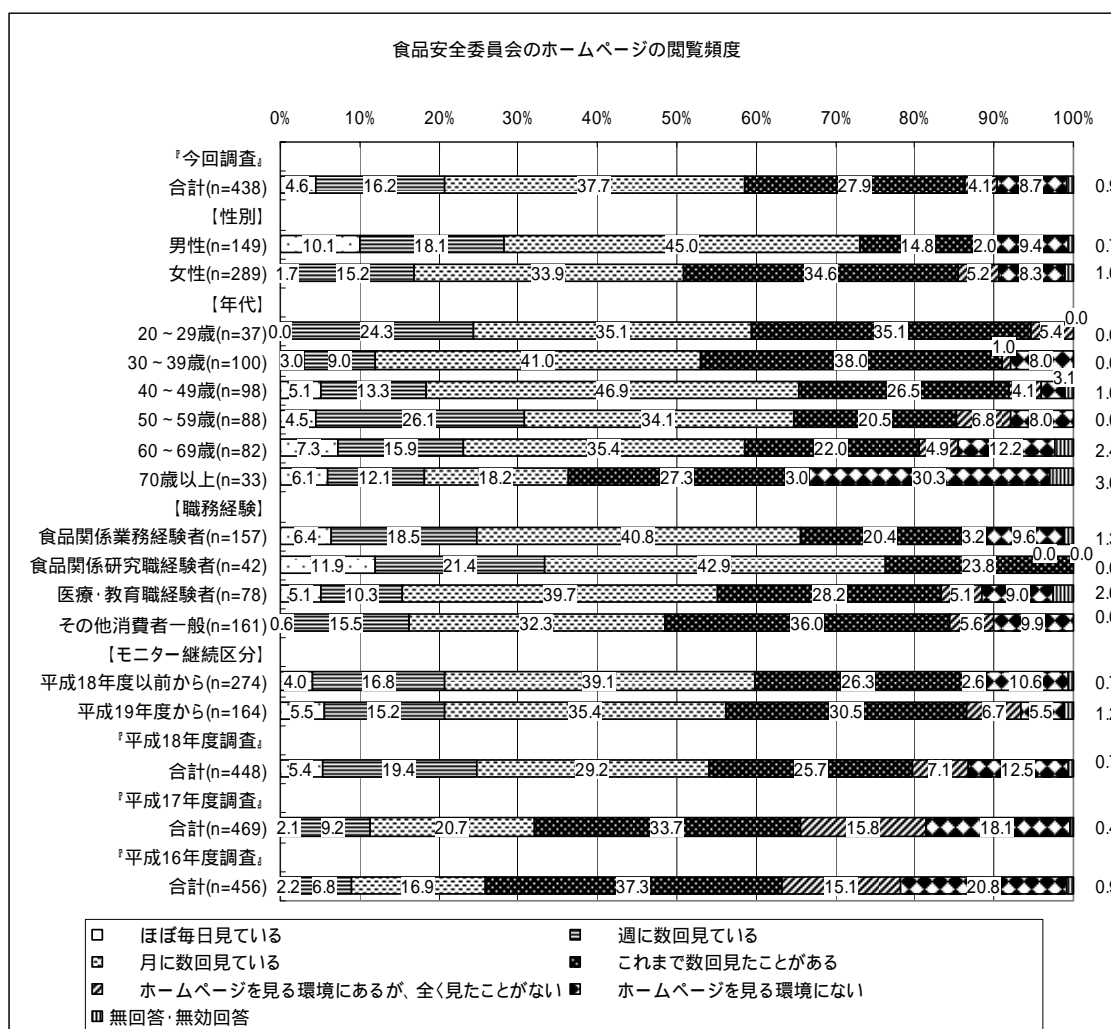
・今回調査では「食品パッケージの食品表示」については、選択肢としていない。

3) 食品安全委員会のホームページ等について

【ホームページ】

ホームページの閲覧頻度（問5）

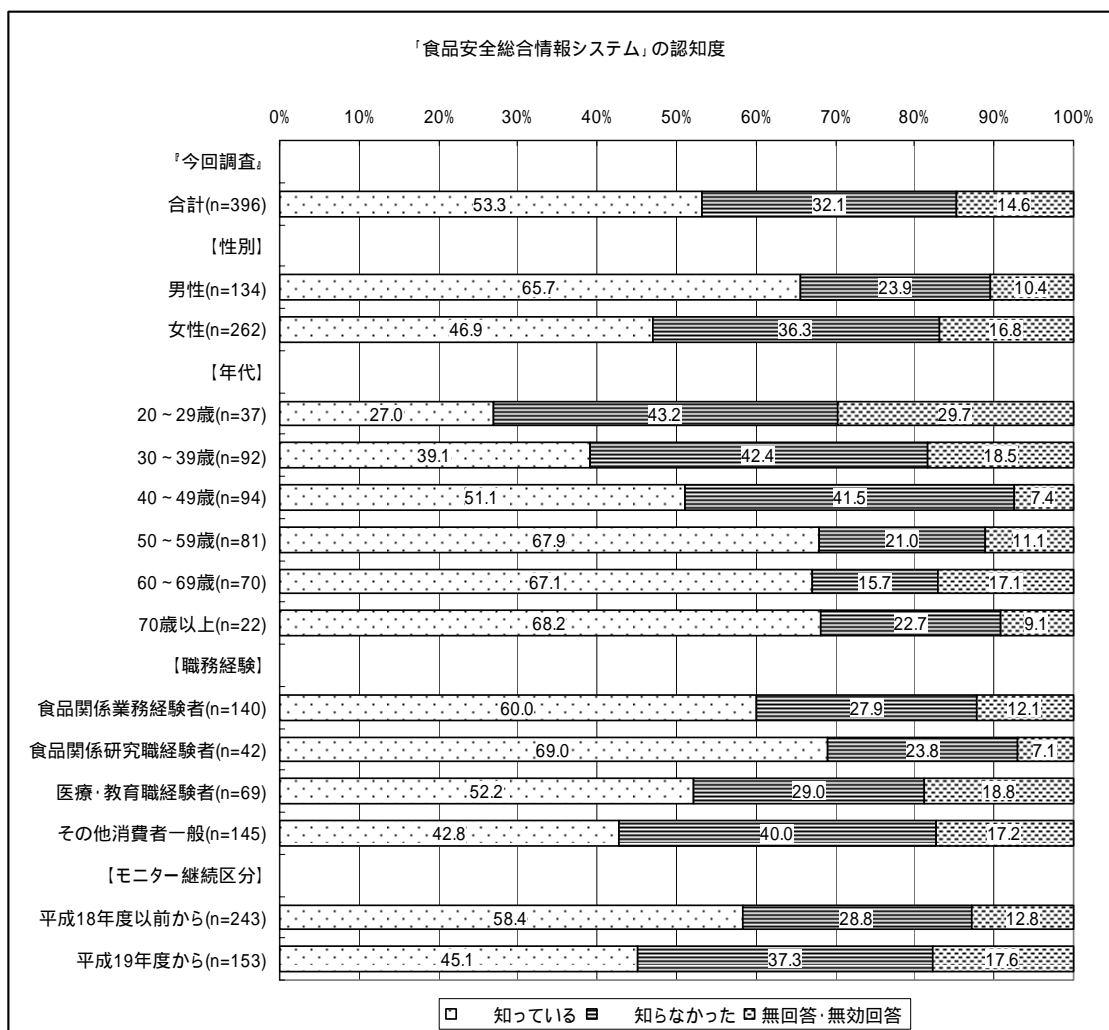
- ◆ 食品安全委員会のホームページ閲覧頻度は、調査を重ねるごとに増加傾向
（16年度調査及び17年度調査：6割強。18年度調査：約8割。今回調査：9割弱）
- ◆ 閲覧している人について性別で差はないが、一定の頻度で閲覧している割合は男性の方が高い
（男性：7割強。女性：約5割）
- ◆ 閲覧している人の割合は49歳以下でほぼ同等で、それ以上は年代順に減少している。一定の頻度で閲覧している人は、40～49歳、50～59歳で割合が高い



【食品安全総合情報システム】

食品安全総合情報システムの認知度（問6）

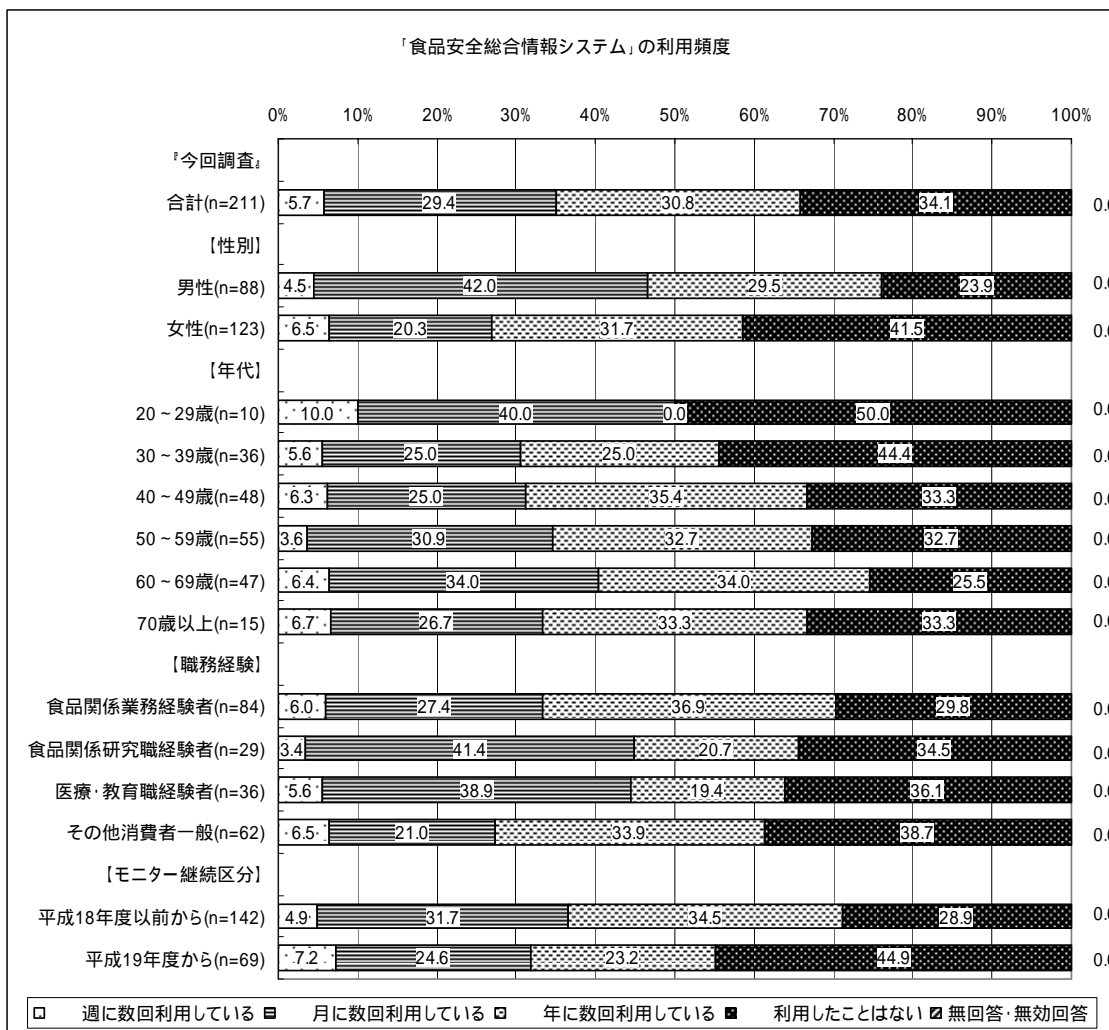
- ◆ 食品安全総合情報システムの認知度は、5割強
- ◆ 年代別でみると50歳代以上の認知度は各7割弱で比較的高く、職務経験でみると食品関係研究職経験者及び食品関係業務経験者の認知度が高い



食品安全総合情報システムの利用頻度（問7）

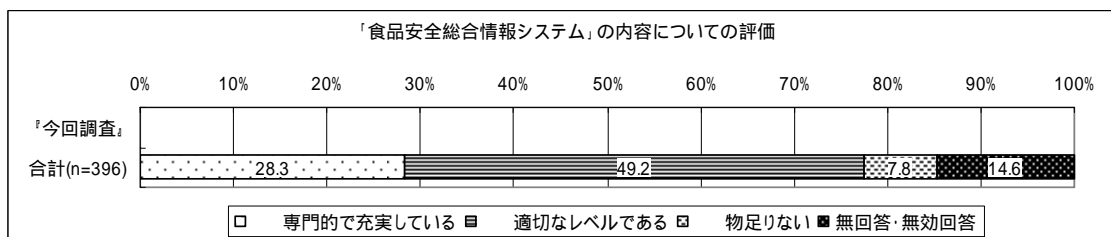
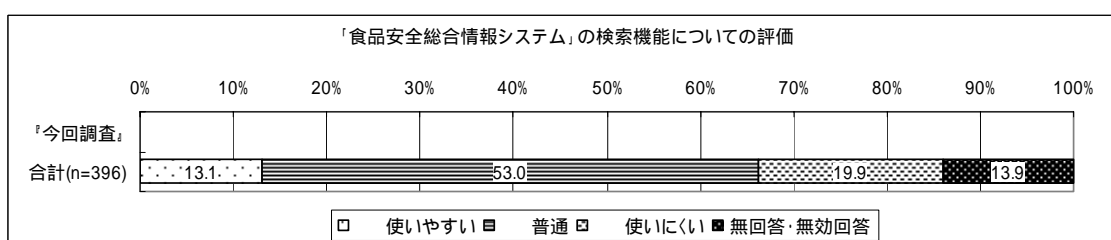
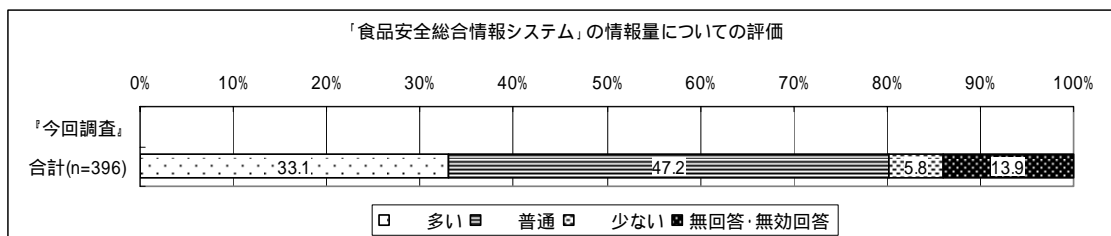
食品安全総合情報システムを知っている人のうち、利用経験のある人の割合は、
7割弱

- ◆ 食品安全総合情報システムの利用頻度は、性別では男性、モニター継続区分では過去にモニター経験がある人が高い傾向



食品安全総合情報システムの評価（問8）

食品安全総合情報システムの評価は、いずれの観点からも「普通」が最も多いが、情報量については「多い」、検索機能については「使いにくい」、内容については「専門的で充実している」が次いで多い



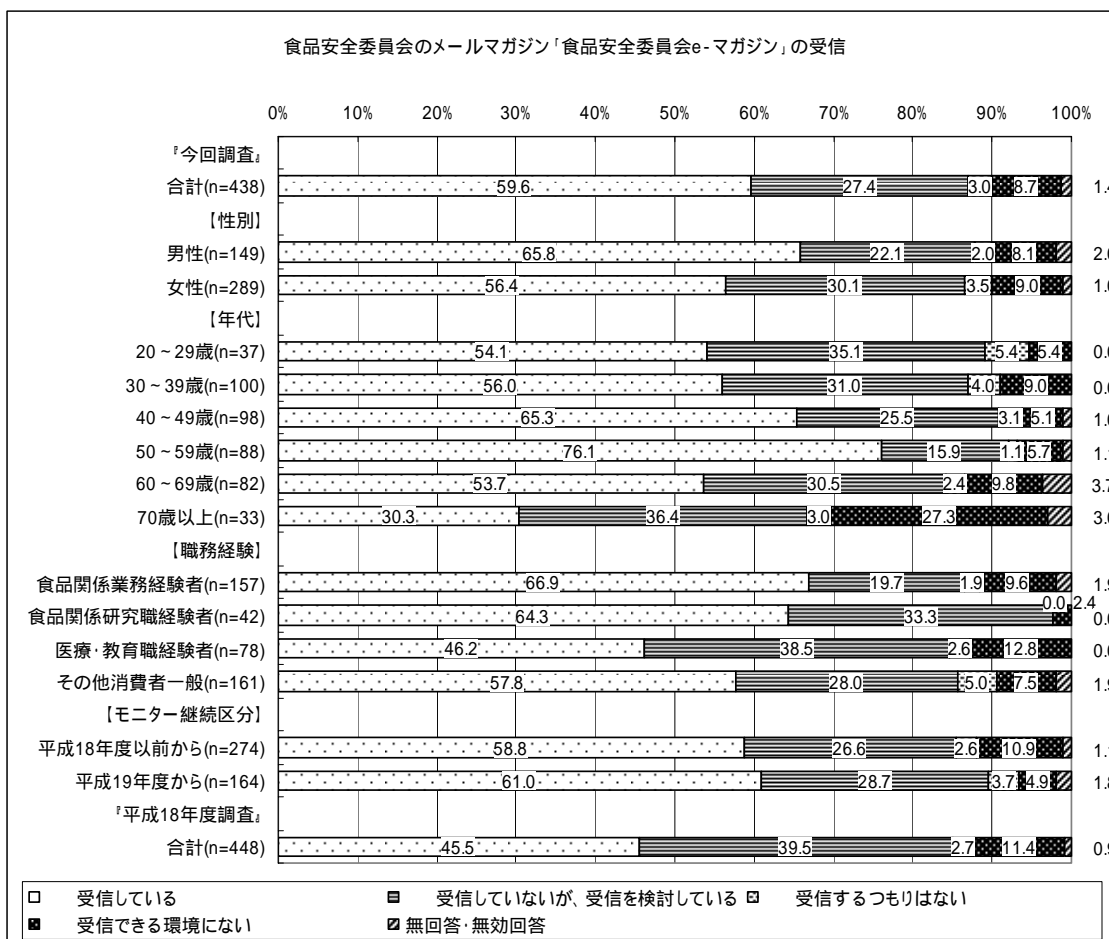
【メールマガジン】

「食品安全委員会 e - マガジン」の受信（問10）

「食品安全委員会 e - マガジン」の受信は6割弱

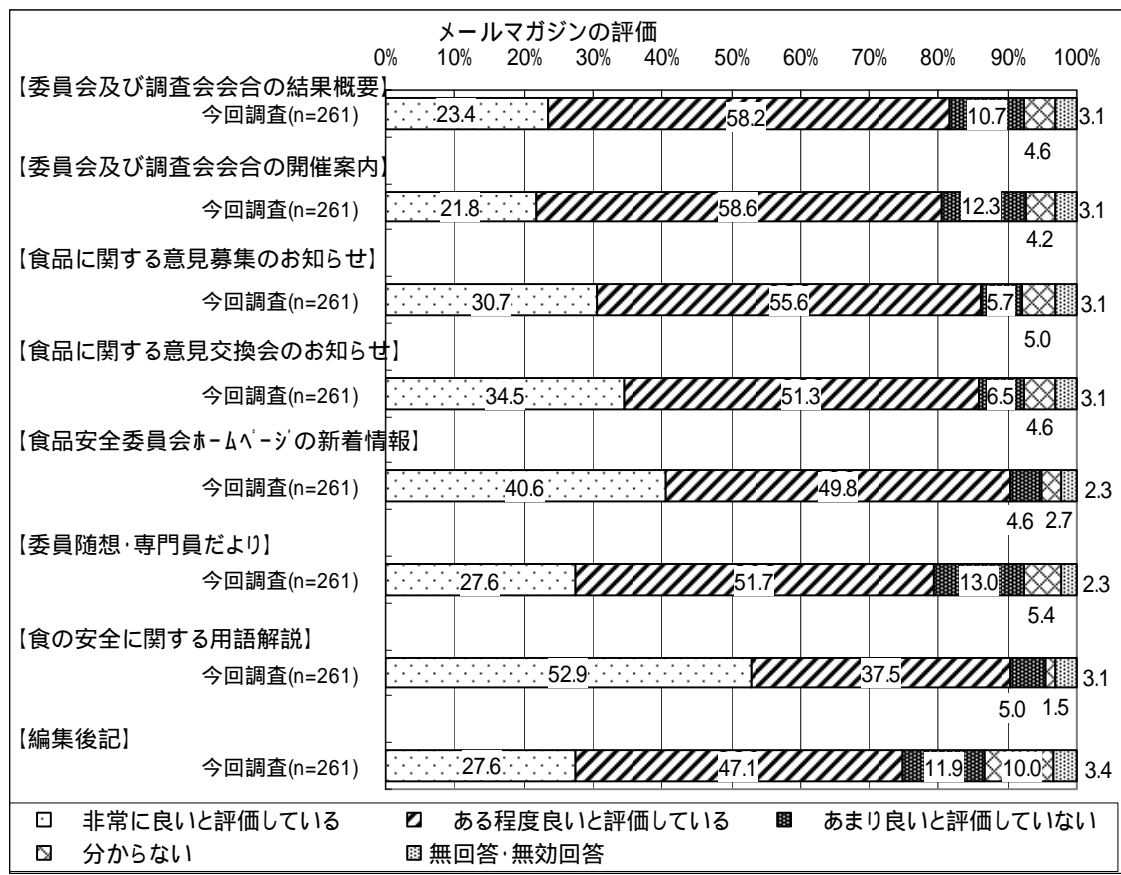
（18年度調査では約4割5分）

年代別では50歳代、職務経験では食品関係業務経験者、食品関係研究職経験者の受信割合が高い



「食品安全委員会 e - マガジン」の評価（問 1 1）

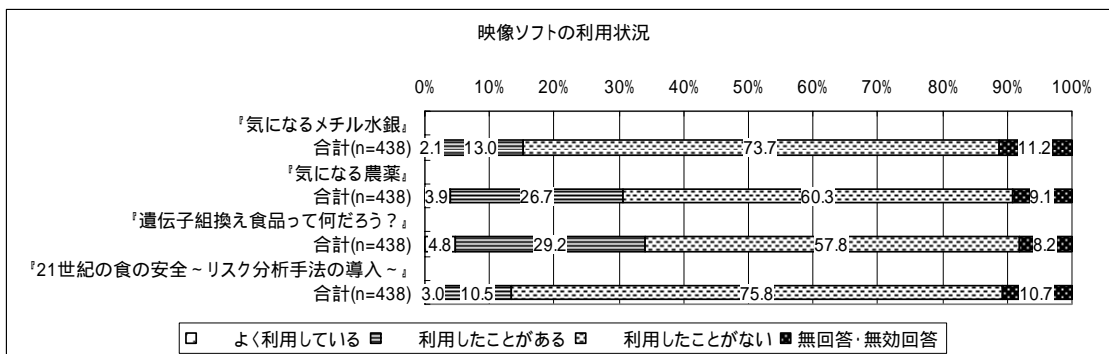
「食品安全委員会 e - マガジン」を受信している人のメールマガジンに対する評価は、一般的に良い



【映像ソフト】

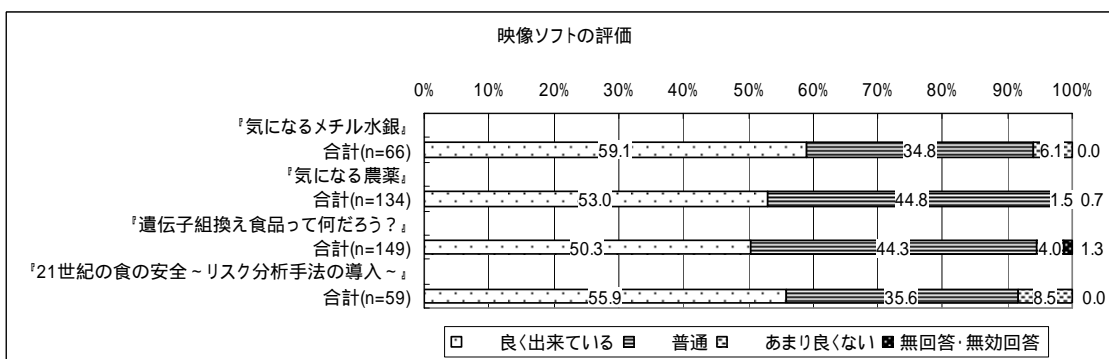
映像ソフトの利用状況（問13）

映像ソフトの中で、利用されている割合が比較的高いものは「遺伝子組換え食品って何だろう？」及び「気になる農薬」で共に3割強

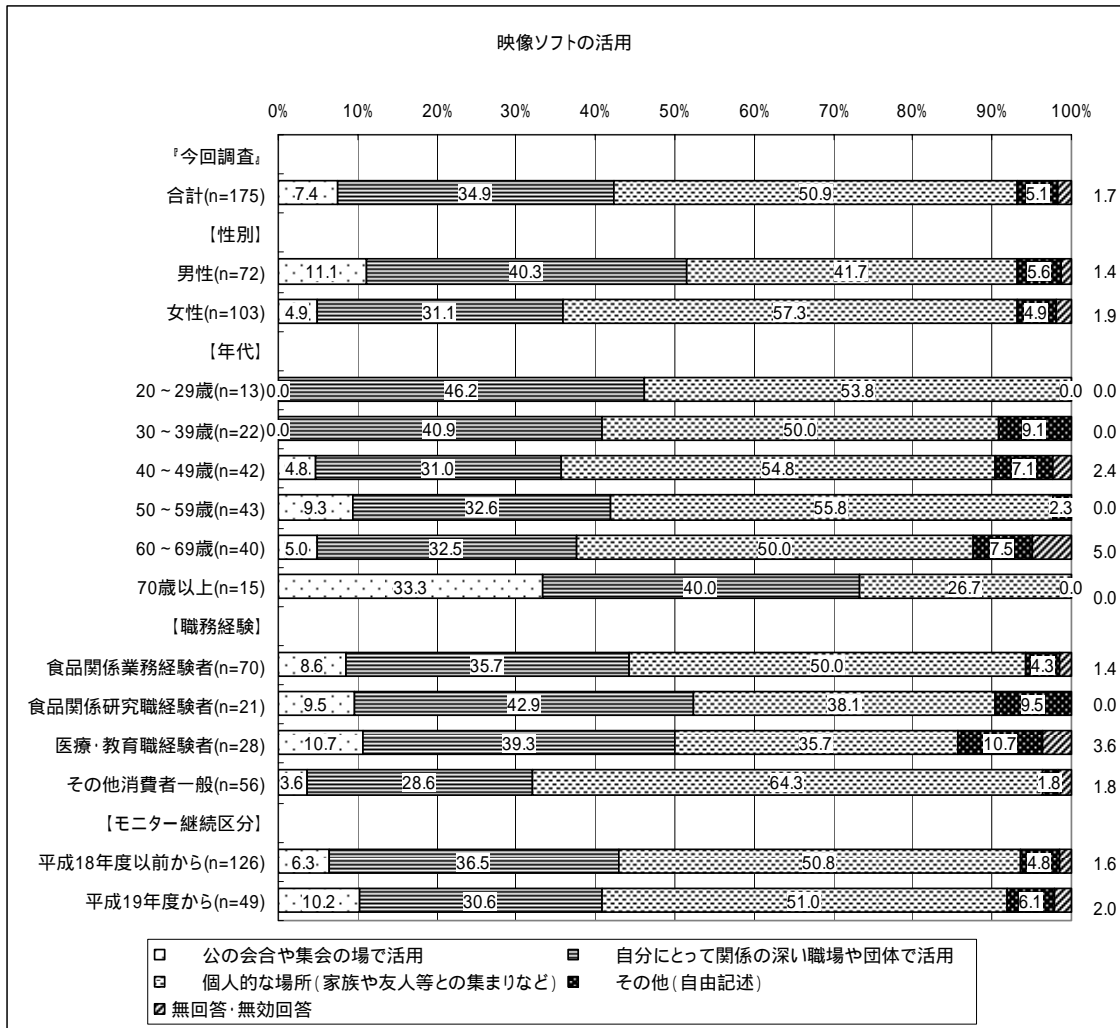


映像ソフトの評価（問14）

映像ソフトを利用した人の評価は、全体的に高い

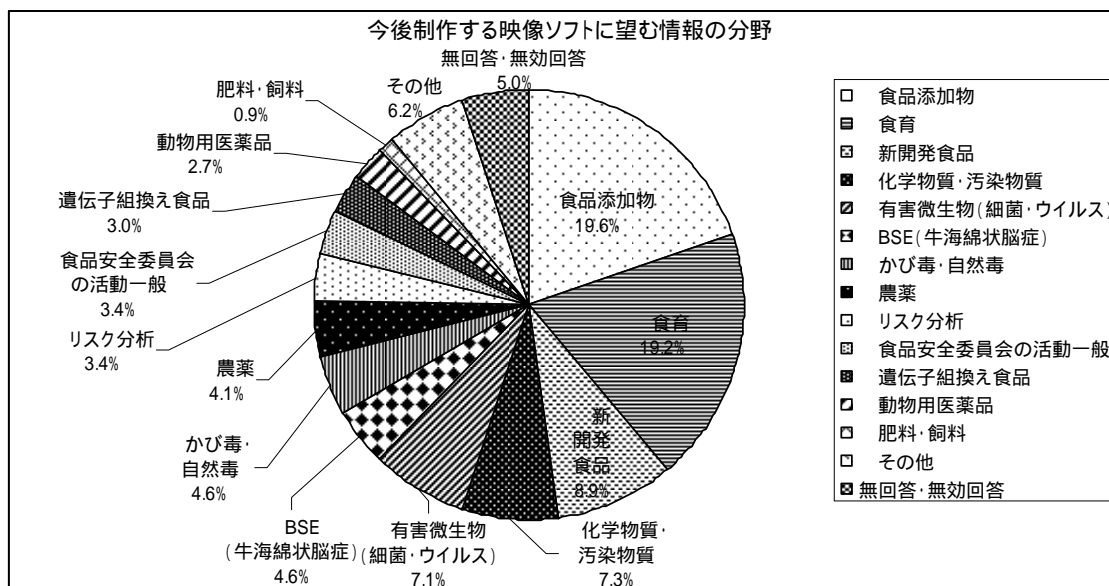


映像ソフトの活用方法（問15）
公の場所よりも身近な場所での活用が主



映像ソフトに望む情報の分野（問17）

◆ 要望が比較的高い分野は、「食品添加物」及び「食育」で、ともに約2割

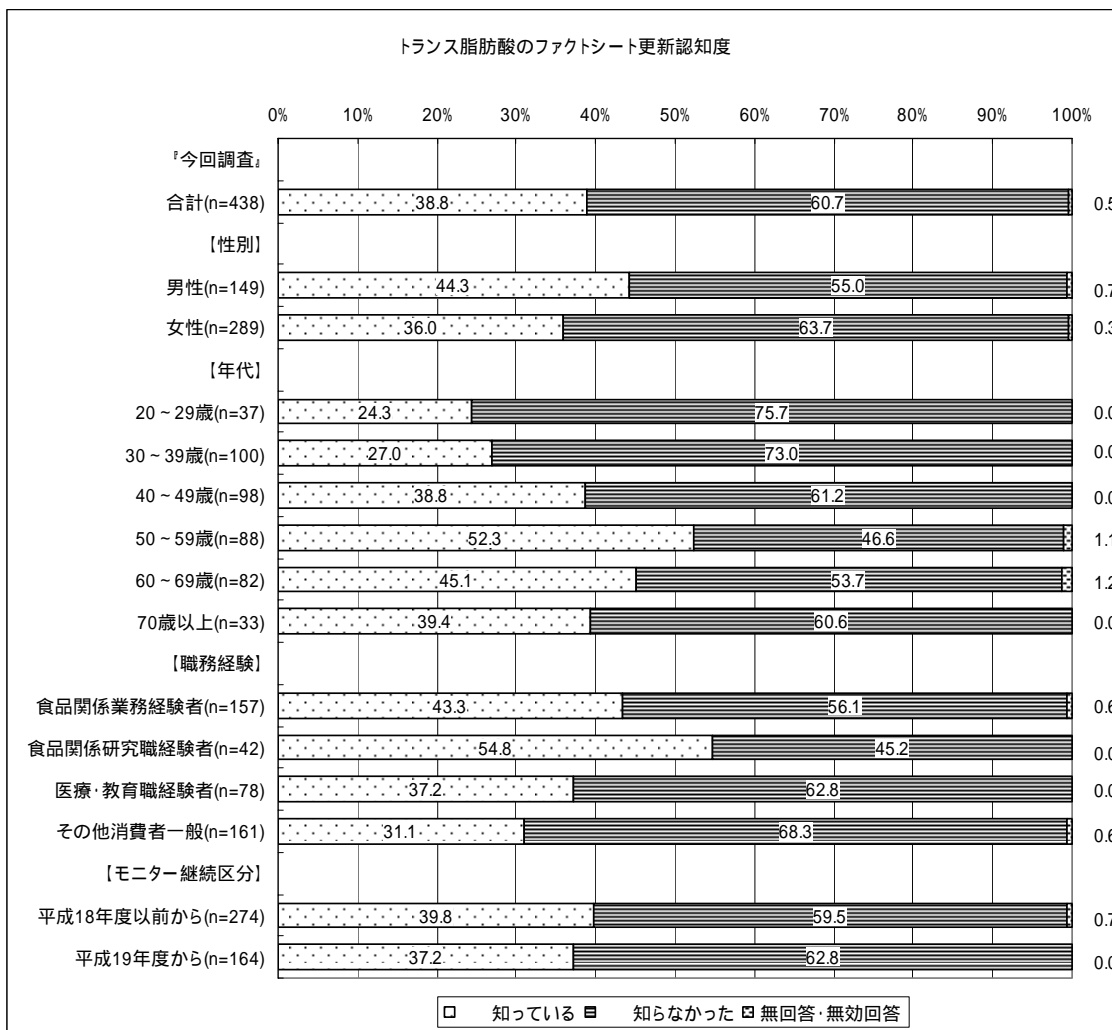


4) トランス脂肪酸のファクトシートについて

ファクトシート更新の認知度 (問18)

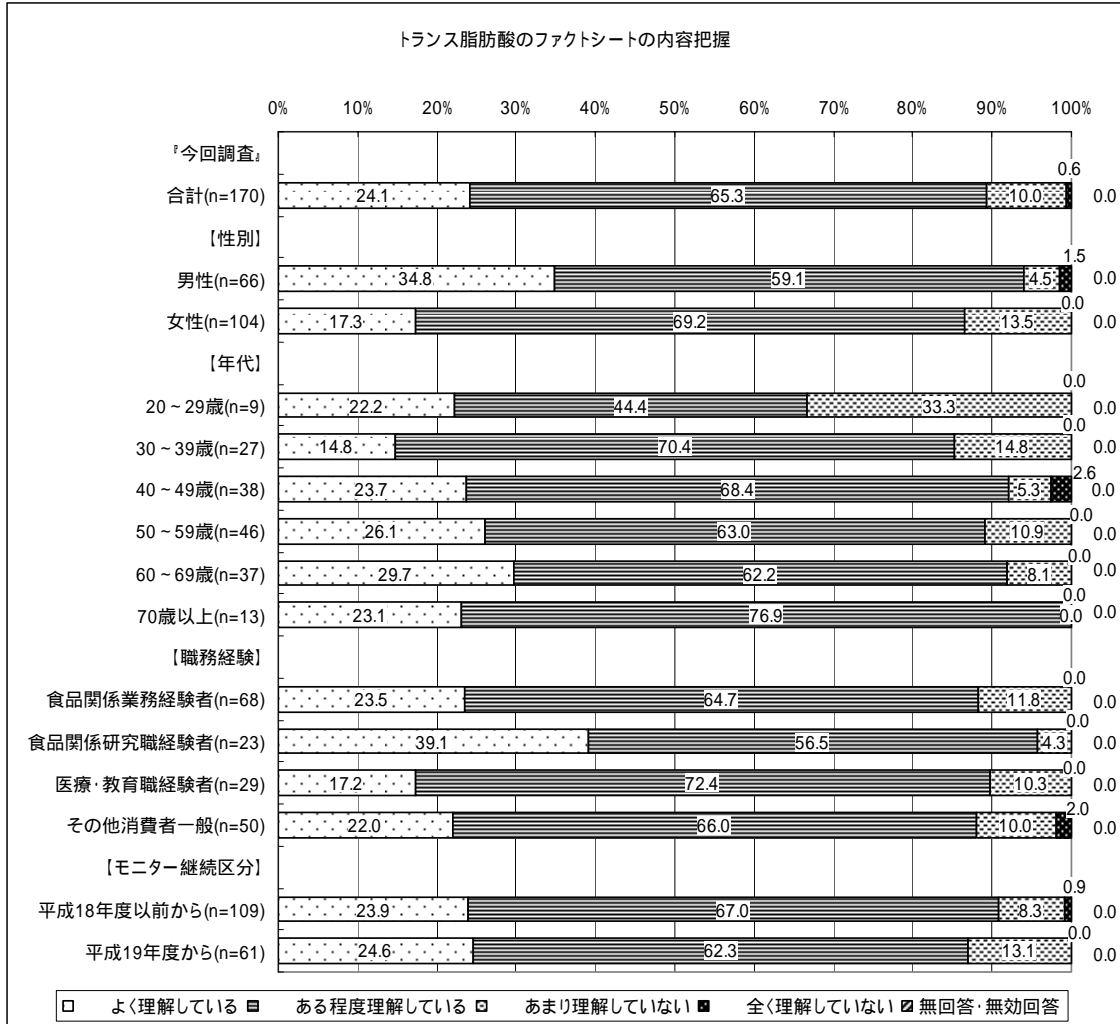
トランス脂肪酸のファクトシートの更新の認知度は4割弱

5割以上が認知しているのは、年代では「50～59歳」、職務経験では「食品関係研究職経験者」



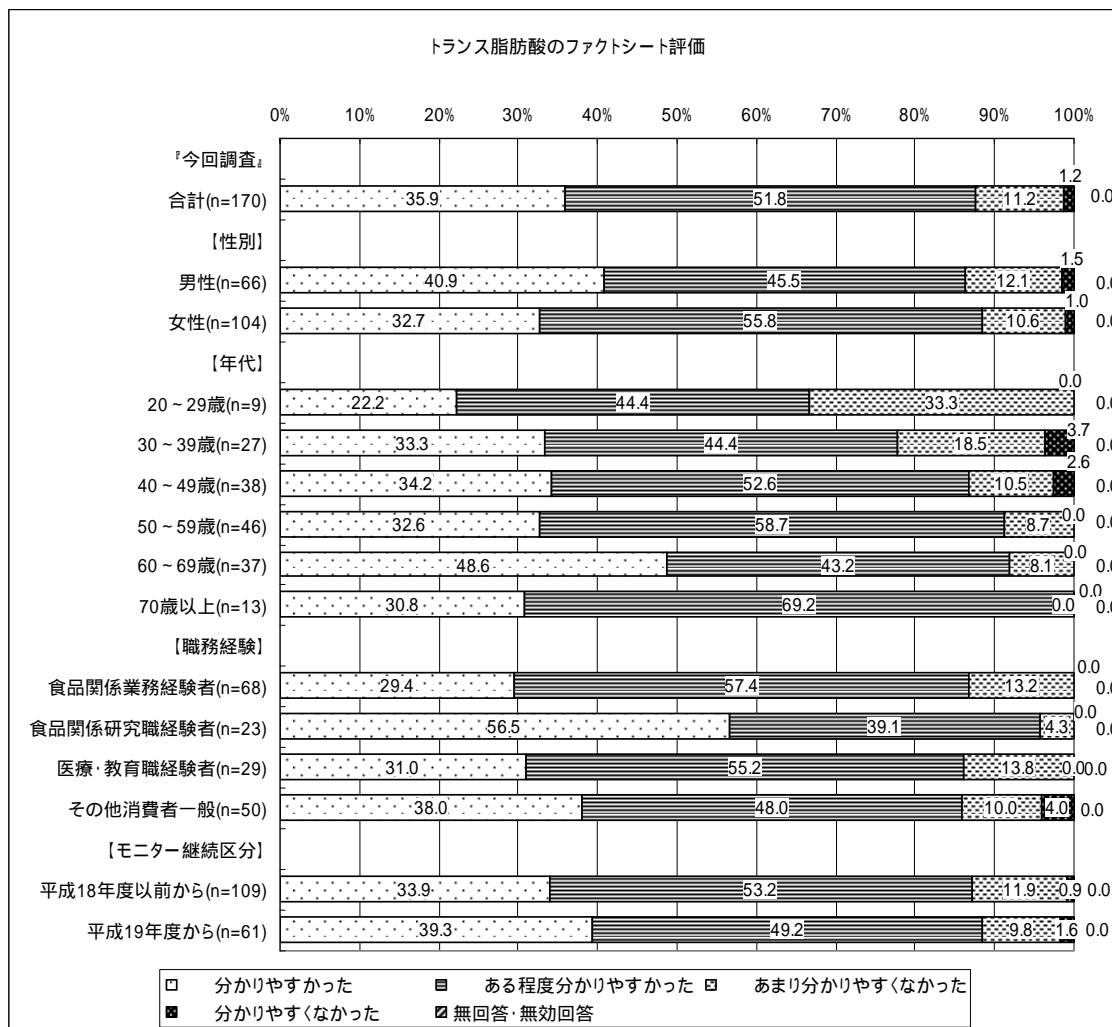
ファクトシートの内容把握（問19）

トランス脂肪酸のファクトシートの更新を認知している人の9割弱の人が、「よく理解している」、「ある程度理解している」と回答



ファクトシートの評価（問20）

トランス脂肪酸のファクトシートの更新を認知している人の9割弱の人が、「分かりやすかった」、「ある程度分かりやすかった」と評価



【別添】

1. 調査目的

食品安全委員会では、消費者の方々から食品の安全性に係る情報や意見をいただくため、本年4月に新たに平成19年度食品安全モニターを470名の方々に依頼した。今回、当該モニターを対象に『課題報告』としてアンケート形式の調査を実施し、438名の方々から有効回答を得たところである。なお、このうち約6割は、これまでもモニターを経験された方で、残りの約4割が平成19年度から初めてモニターになっていただいた方々である。

一部設問については、全国の20歳代以上を対象に実施したインターネットアンケート調査「食品の安全性に係るリスクコミュニケーション等に関する調査」(平成19年3月実施)(以下、「インターネット調査」という。)、16年度食品安全モニター課題報告「食の安全性に関する意識調査」(以下、「16年度調査」という。)、17年度食品安全モニター課題報告「食の安全性に関する意識調査」(以下、「17年度調査」という。))及び18年度食品安全モニター課題報告「食の安全性に関する意識等について」(以下、「18年度調査」という。))における調査結果との比較も行った。

調査項目は、次の4項目である。

1. 食品の安全性に係る危害要因等について
(食分野の安全性に係る不安感の程度、不安を感じる理由等)
2. 食品の安全性に関する情報について
(食品の安全性に関する情報源)
3. 食品安全委員会のホームページ等について
(ホームページ・食品安全総合情報システム・メールマガジン・映像ソフトの閲覧・購読状況と、それらに対する意見・要望)
4. トランス脂肪酸のファクトシートについて
(トランス脂肪酸のファクトシートの認知・閲覧状況)

2. 実施期間

平成19年6月29日～7月24日

3. 対象

食品安全モニター 470名

有効回答数 438名 (有効回答率: 93.2%)

1) 食品安全モニターの回答者数の内訳

男女別：

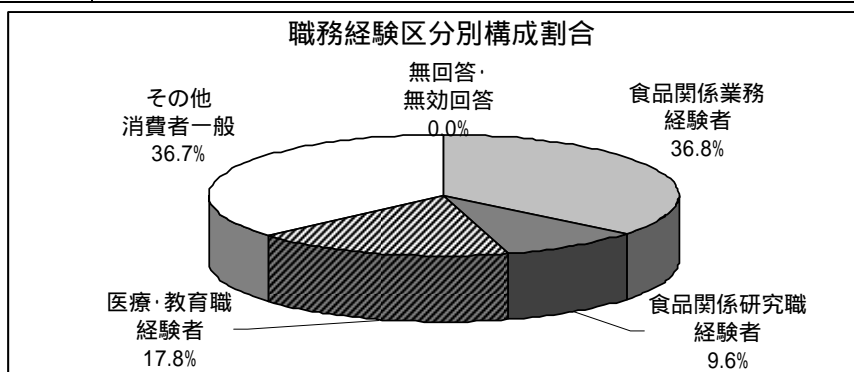
	回答者数	割合
全体	438 人	100.0%
男性	149 人	34.0%
女性	289 人	66.0%

年齢別：

	回答者数	割合
全体	438 人	100.0%
20～29 歳	37 人	8.4%
30～39 歳	100 人	22.8%
40～49 歳	98 人	22.4%
50～59 歳	88 人	20.1%
60～69 歳	82 人	18.7%
70 歳以上	33 人	7.5%

職務経験区分別：

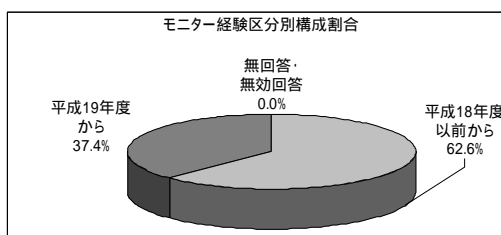
食品関係業務経験者	・現在もしくは過去において、食品の生産、加工、流通、販売等に関する職業（飲食物調理従事者、会社・団体等役員などを含む）に就いた経験を5年以上有している方 ・過去に食品の安全に関する行政に従事した経験を5年以上有している方	157 人
食品関係研究職経験者	・現在もしくは過去において、試験研究機関（民間の試験研究機関を含む）、大学等で食品の研究に関する専門的な職業に就いた経験を5年以上有している方	42 人
医療・教育職経験者	・現在もしくは過去において、医療・教育に関する職業（医師、獣医師、薬剤師、看護師、小中高校教師等）に就いた経験を5年以上有している方	78 人
その他消費者一般	・上記の項目に該当しない方	161 人



	男女別		年代区分別			全体
	男性	女性	20～39歳	40～59歳	60歳以上	
食品関係業務経験者	80人	77人	45人	61人	51人	157人
	51.0%	49.0%	28.7%	38.9%	32.5%	100.0%
食品関係研究職経験者	27人	15人	10人	17人	15人	42人
	64.3%	35.7%	23.8%	40.5%	35.7%	100.0%
医療・教育職経験者	16人	62人	28人	27人	23人	78人
	20.5%	79.5%	35.9%	34.6%	29.5%	100.0%
その他消費者一般	26人	135人	54人	81人	26人	161人
	16.1%	83.9%	33.5%	50.3%	16.1%	100.0%

モニター継続区分別：

- 過去においても食品安全モニターに依頼されていた方
（以下、「経験モニター」という） 274人
- 平成19年度から、食品安全モニターに依頼された方
（以下、「新規モニター」という） 164人



2) インターネット調査の回答者数の内訳

男女別：

	回答者数	割合
全体	1,106人	100.0%
男性	529人	47.8%
女性	577人	52.2%

年代区分別：

	回答者数	割合
全体	1,106人	100.0%
20～29歳	159人	14.4%
30～39歳	194人	17.5%
40～49歳	169人	15.3%
50～59歳	206人	18.6%
60歳以上	378人	34.2%

2. 調査結果

1) 食品の安全性に係る危害要因等について

食分野の安全性に対する相対的な不安の程度（問1）

問1 日常生活を取り巻く安全の分野のうち、自然災害、環境問題、犯罪、交通事故などの分野に比べて、食の安全の分野に対するあなたの不安感は相対的にどの程度の大きさですか。（一つ選択）

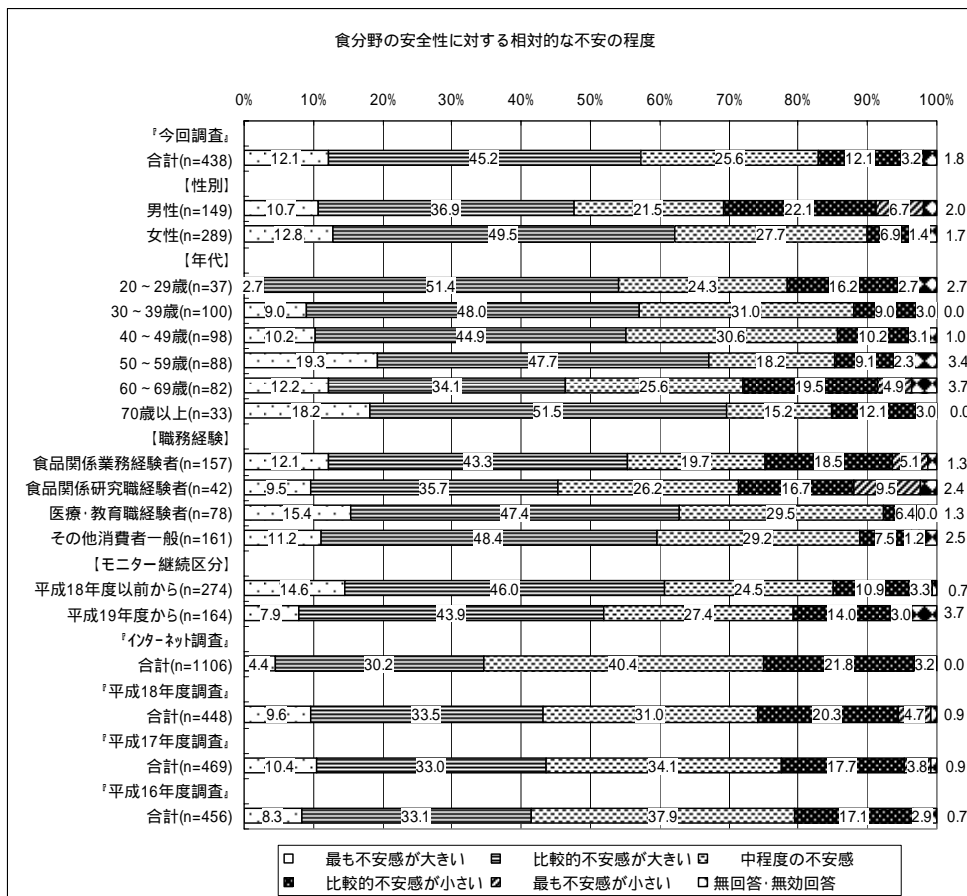
- ◆ 16年度調査、17年度調査及び18年度調査（以下、「過去3回調査」という。）の結果に比べて、他分野よりも食分野の安全性に係る不安感が大きいと指摘している人が増え、全体の6割弱

（過去3回調査では共に4割強）

- ◆ インターネット調査結果に比べて、今回調査の方が、食分野の安全性に係る不安感が大きいと回答

自然災害をはじめとする日常生活を取り巻く安全の分野の中で、食分野の安全性に対する相対的な不安の程度は、「最も不安感が大きい」、「比較的不安感が大きい」とする回答割合の合計は57.3%で、今回調査で初めて過半数を超えた。

今回調査の対象者である食品安全モニターより、インターネット調査対象者の方が食分野の安全性に係る不安感が大きい傾向であった。



食の安全性の観点から感じている不安の程度（問2）

問2 以下の八つの要因それぞれについて、食品の安全性の観点からあなたが感じている不安の程度を記入してください。（一つ選択）

また、以下の八つの要因以外に不安を感じているものがあれば、併せて「9 その他」に具体的な要因名を記入してください。

さらに、以下の八つの要因のそれぞれについて、あなたが感じている健康・生命に対するリスク（健康への悪影響が発生する確率と影響の程度）の大きさを記入してください。（一つ選択）

- ◆ 食分野の安全性に係る不安感の程度は、過去3回調査の結果同様、汚染物質が最も高い
- ◆ 「BSE（牛海綿状脳症）」について不安を感じている人は6割5分で、過去3回調査の結果に比べて、大きく減少
（過去3回調査では共に7割5分）
- ◆ 今回調査とインターネット調査の結果を比較すると、「いわゆる健康食品」以外で、インターネット調査の方が不安の程度は高い

食の安全性の観点から感じる不安の程度について、最もその程度が高かったのは、過去3回の調査結果同様、汚染物質であった。

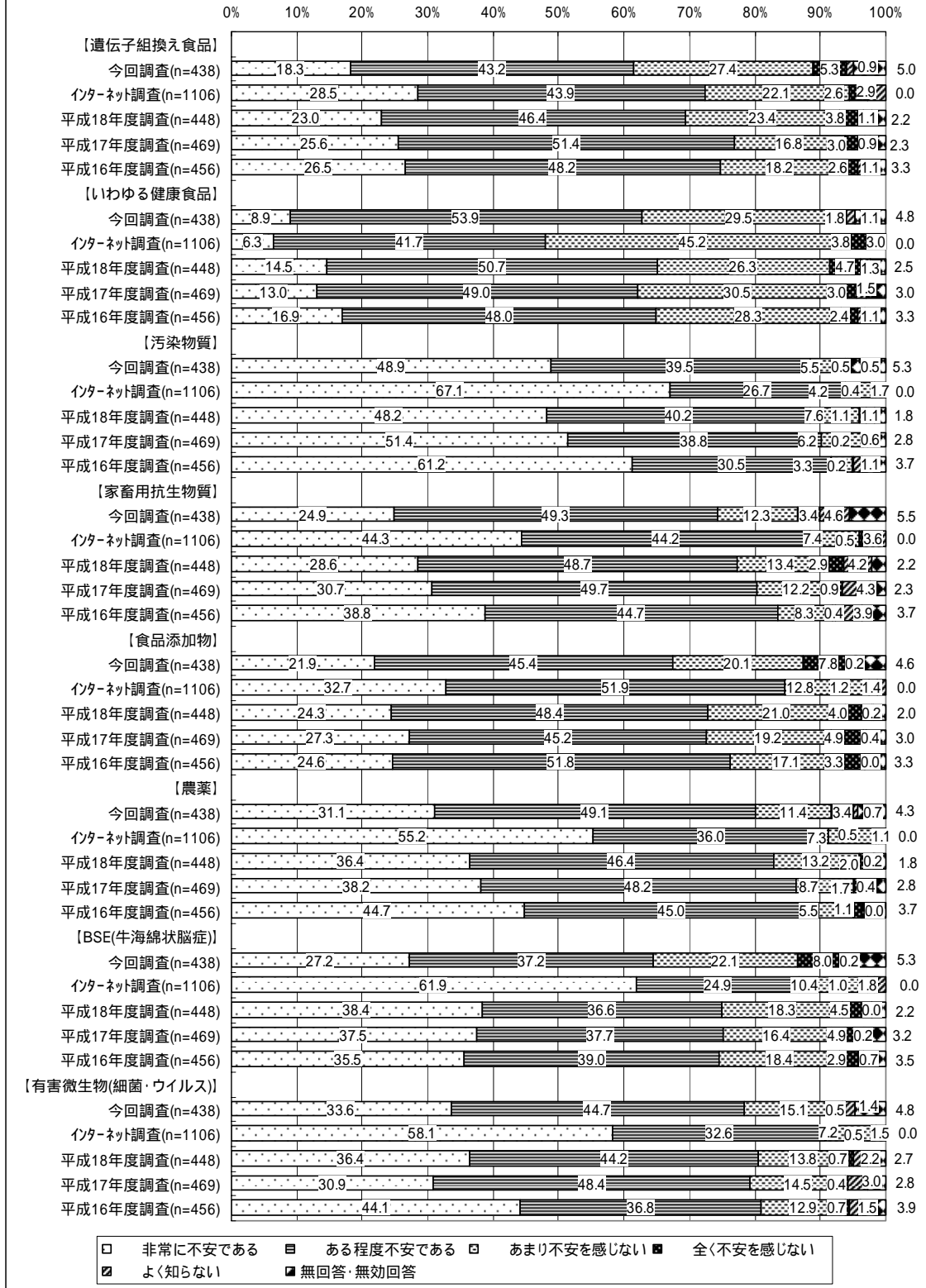
「遺伝子組換え食品」、「家畜用抗生物質」、「農薬」では、モニター調査を重ねるにつれ、「非常に不安である」と回答する割合が減少している。

前年度まで「非常に不安である」とする回答割合が増加傾向であった「BSE（牛海綿状脳症）」においては、「非常に不安である」とする回答割合が18年度調査結果より10%以上減少した。

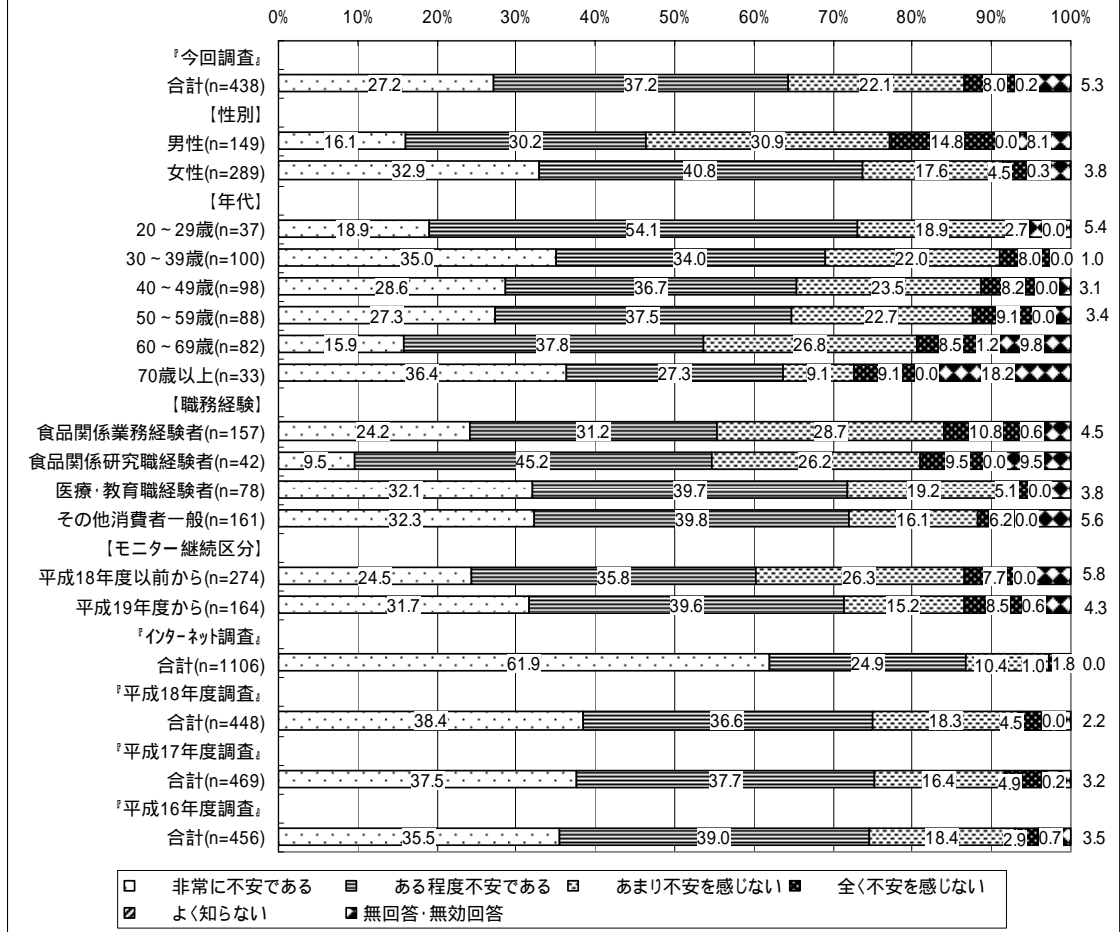
インターネット調査結果と今回調査の結果を比較すると、「いわゆる健康食品」を除く全ての要因において、インターネット調査結果の方が「非常に不安である」の回答割合が高かった。

「BSE（牛海綿状脳症）」について、「非常に不安である」とする回答割合が多かったのは、性別では「女性」、職務経験では「その他消費者一般」と「医療・教育職経験者」、モニター経験においては「新規モニター」であった。

食の安全性の観点から感じている不安の程度



食の安全性の観点から感じている不安の程度(BSE(牛海綿状脳症))



食の安全性の観点から感じているリスクの大きさ（問2）

8要因の中で、リスクが最も大きいとする評価は「汚染物質」で、次いで「有害微生物（細菌・ウイルス）」、「農薬」、「家畜用抗生物質」、「BSE（牛海綿状脳症）」の順で続く

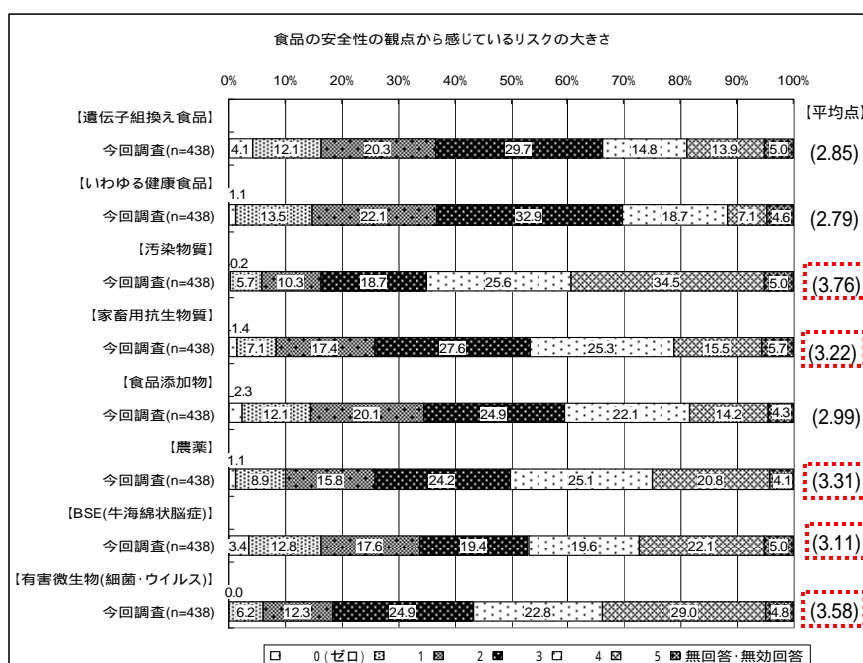
食品の安全性の観点から感じている「不安の程度」と「リスクの大きさ」については、相関がある

「いわゆる健康食品」以外は、男性よりも女性の方がより大きなリスクを感じている傾向

職務経験では「その他消費者一般」が感じているリスクの大きさは、8要因中5要因で最も大きい

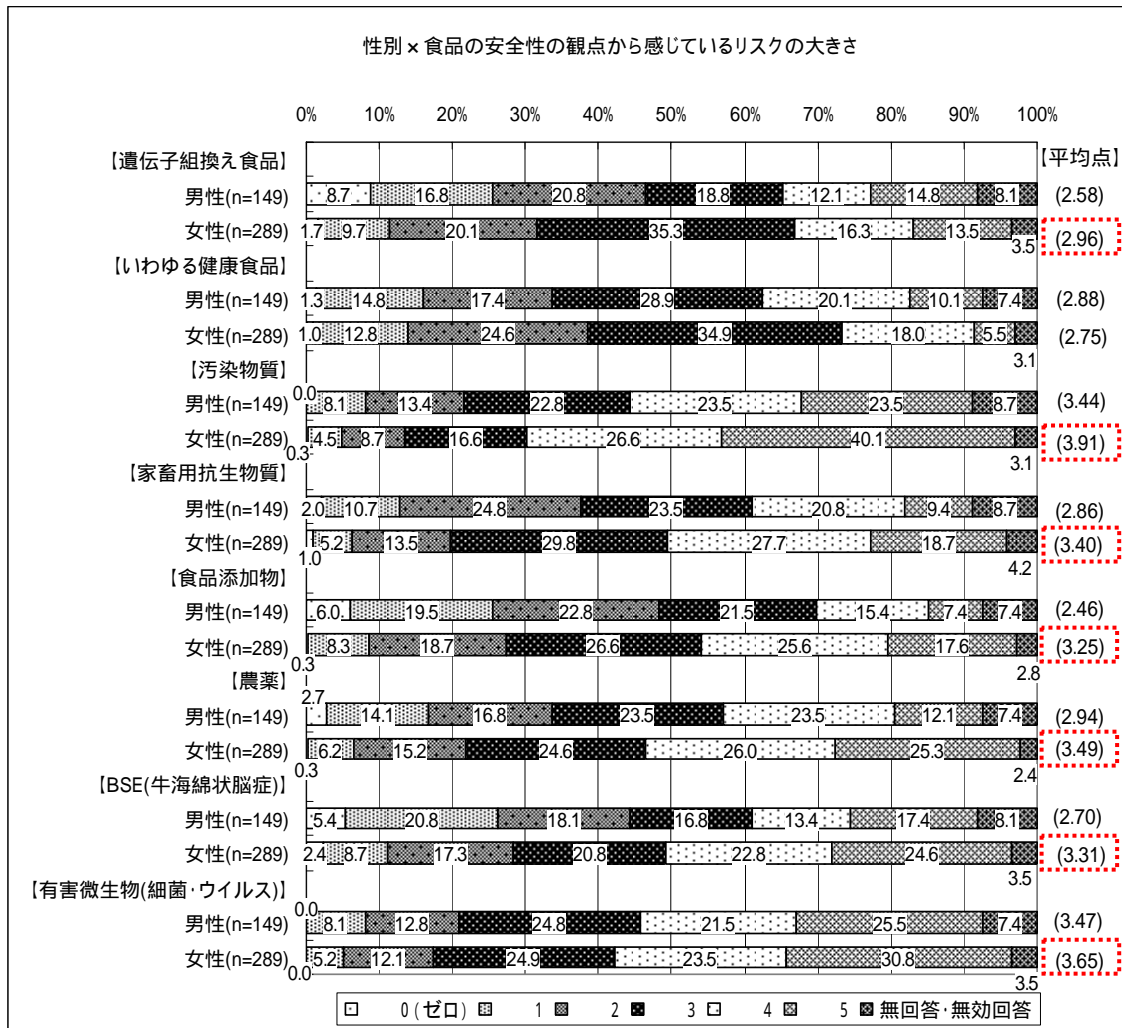
感じているリスクの大きさを「0」（リスクを感じていない）から「5」の6段階で質問した結果では、「汚染物質」の平均点が3.76で、最も大きなリスクを感じている結果であった。次いで「有害微生物（細菌・ウイルス）」が3.58、「農薬」が3.31、「家畜用抗生物質」が3.32、「BSE（牛海綿状脳症）」が3.11であり、この結果は、食の安全性の観点から感じている「不安の程度」と相関があった。

性別では「いわゆる健康食品」以外で、女性の方が男性よりリスクを大きく感じ、職務経験別では「その他消費者一般」が8要因中5要因（「遺伝子組換え食品」、「家畜用抗生物質」、「食品添加物」、「農薬」、「BSE（牛海綿状脳症）」）で、リスクを最も大きく感じている結果であった。

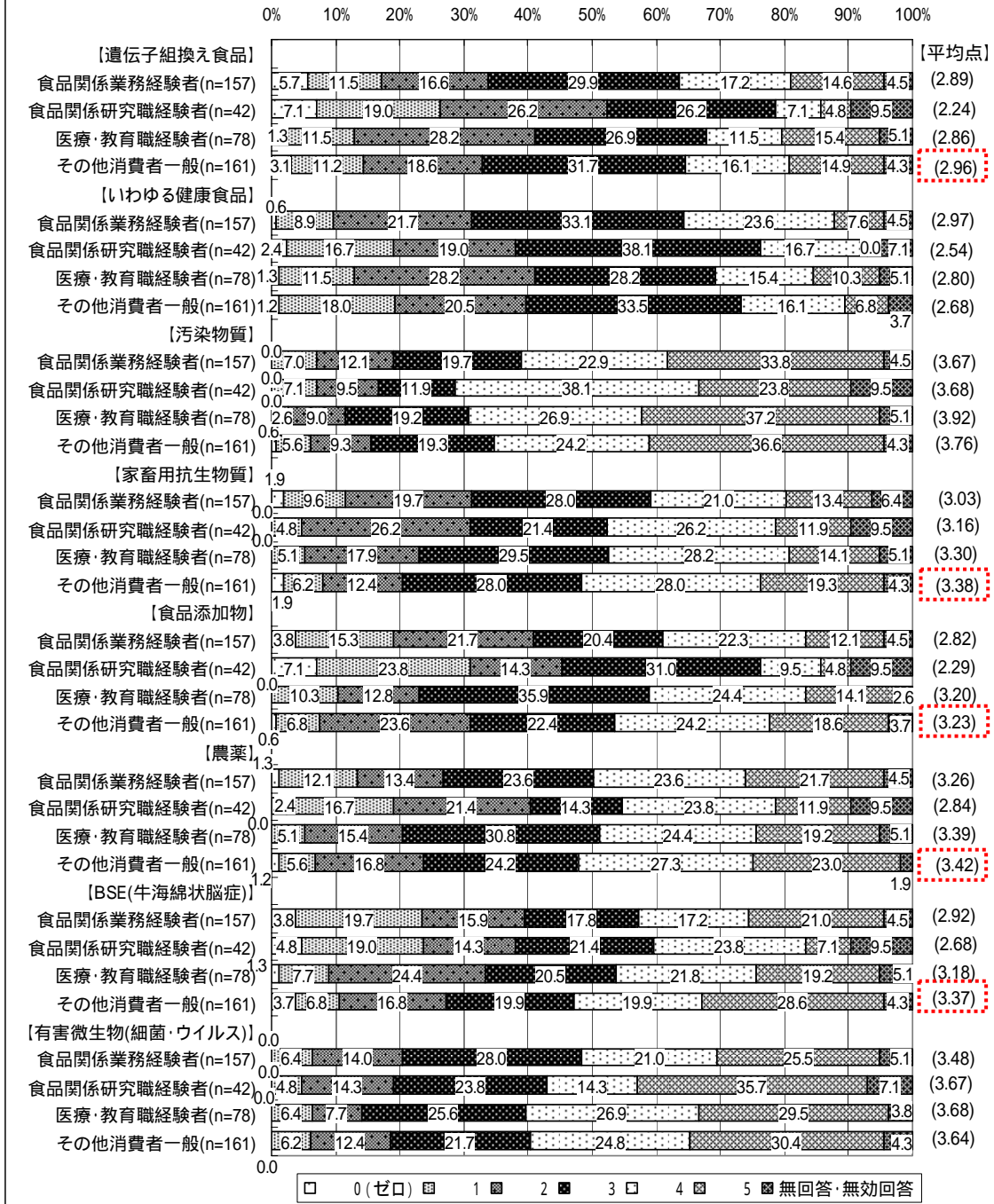


右の括弧内の数字は、それぞれの要因について0～5の6段階で回答したリスクの大きさを得点とみなし、その得点を平均したものの

性別 × 食品の安全性の観点から感じているリスクの大きさ



職務経験区分 × 食品の安全性の観点から感じているリスクの大きさ

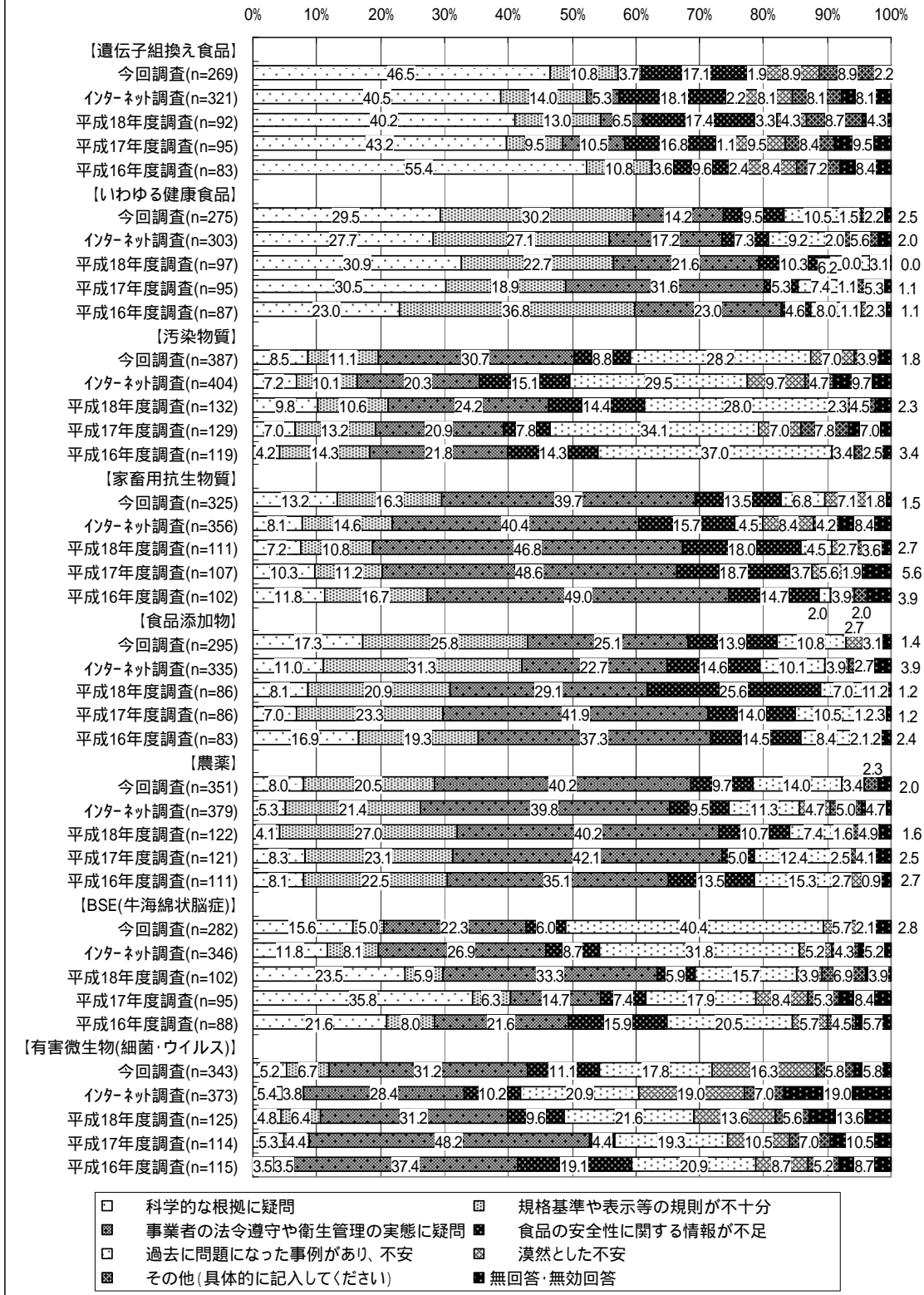


食の安全性の観点から感じている不安の理由（問3）

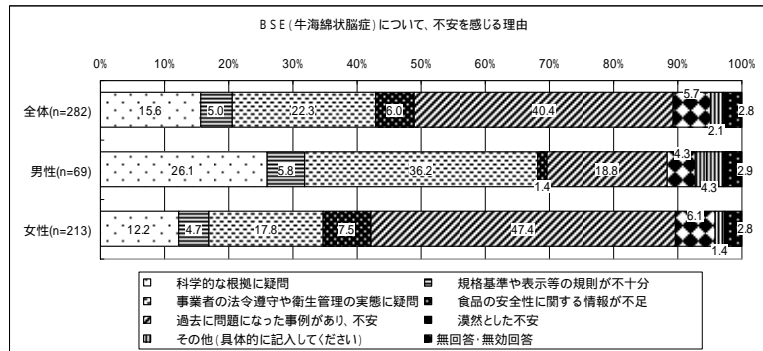
問3 問2において、あなたが不安を感じるとした要因(八つの要因のうち「非常に不安である」又は「ある程度不安である」を選択した要因及び「9 その他」であなたが記入した要因)についてお聞きします。
それぞれの要因ごとに不安を感じる理由を記入してください。(一つ選択)

- ◆ 食の安全性について感じている不安の理由は、要因ごとに相違
「遺伝子組換え食品」については5割弱、「いわゆる健康食品」については約3割が、不安の理由は「科学的な根拠に疑問」と回答
- ◆ 今回調査の結果とインターネット調査結果には、大きな相違はない
全般的な傾向としては、調査の時期や調査対象者による大きな相違はなかった。八つの要因別に、不安を感じる理由の回答割合が高かった理由とその割合は次の通りであった。「遺伝子組換え食品」では「科学的根拠に疑問」で46.5%、「いわゆる健康食品」、「食品添加物」では「規格基準や表示等の規則が不十分」で30.2%、25.8%、「汚染物質」、「家畜用抗生物質」、「農薬」、「有害微生物(細菌・ウイルス)」では「事業者の法令遵守や衛生管理の実態に疑問」が30.7%、39.7%、40.2%、31.2%、「BSE(牛海綿状脳症)」では「過去に問題になった事例があり、不安」が40.4%であった。
「BSE(牛海綿状脳症)」について性別の比較をすると、「過去に問題になった事例があり、不安」への回答が男性の18.8%に対して、女性は47.4%で過半数に近い割合を占めている一方、「科学的な根拠に疑問」では男性の26.1%に対して女性が12.2%、「事業者の法制遵守や衛生管理の実態に疑問」では男性の36.2%に対して女性が17.8%と、いずれも男性の回答割合の方が2倍以上高かった。

食の安全性の観点から感じている不安の理由



- 科学的な根拠に疑問
- ▣ 規格基準や表示等の規則が不十分
- ▨ 事業者の法令遵守や衛生管理の実態に疑問
- 食品の安全性に関する情報が不足
- 過去に問題になった事例があり、不安
- ▣ 漠然とした不安
- ▨ その他(具体的に記入してください)
- 無回答・無効回答



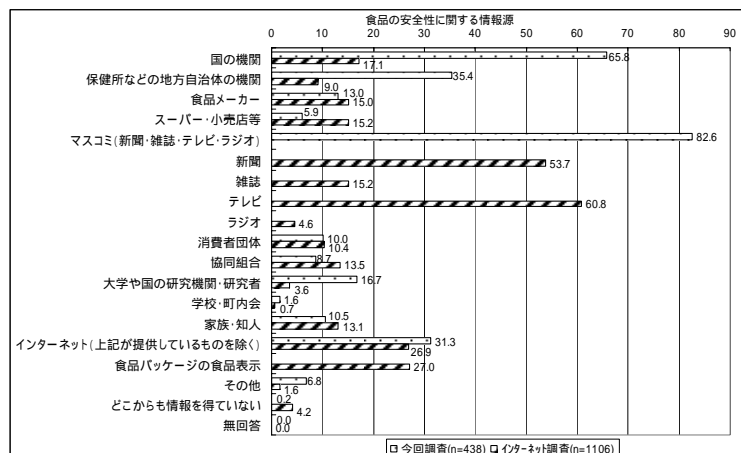
2) 食品の安全性に関する情報について

問4 あなたは、食品の安全性に関する情報をどこから得ていますか。多く得ている順に三つ選んでください。(三つ選択)

食品安全に関する情報の入手先の第一位は、今回調査、インターネット調査ともに「マスコミ(新聞・雑誌・テレビ・ラジオ)」

食品安全モニターを対象とする今回調査は「国の機関」、「保健所などの地方自治体の機関」から情報を入手している人が相対的に多い。一方、インターネット調査対象者は「マスコミ(新聞・雑誌・テレビ・ラジオ)」を情報入手先としている割合が顕著に高く、情報入手先をマスコミに大きく依存

今回調査、インターネット調査結果共に、食品の安全性に関する情報は「マスコミ」から得ているという回答が最も多かったが、食品安全モニターは、インターネット調査対象者よりも「国の機関」、「保健所などの地方自治体の機関」から多く情報を入手している結果であった。



(注)・今回調査では「新聞」、「雑誌」、「テレビ」、「ラジオ」の4つすべてを含め「マスコミ(新聞・雑誌・テレビ・ラジオ)」の選択肢としたが、インターネット調査では4つ各々を選択肢としたため、各々の結果を掲載。

・今回調査では「食品パッケージの食品表示」については、選択肢としていない。

3) 食品安全委員会のホームページ等について

【ホームページ】

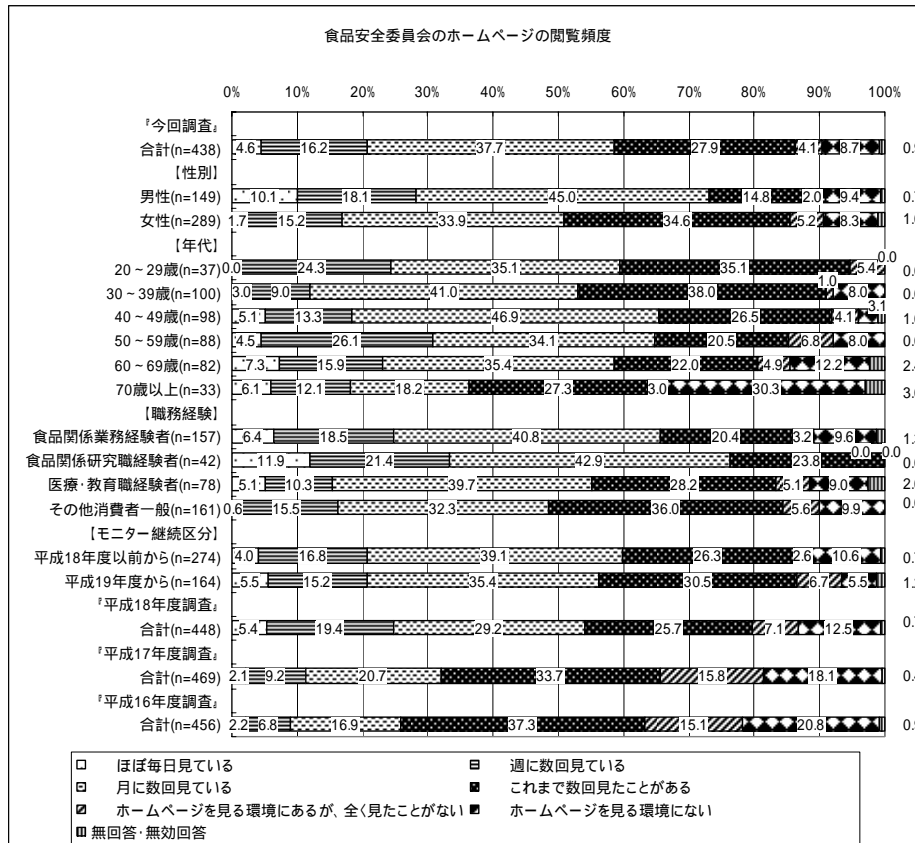
食品安全委員会のホームページ閲覧頻度

問5 あなたは食品安全委員会のホームページをどの程度御覧になっていますか。(一つ選択)

- ◆ 食品安全委員会のホームページ閲覧頻度は、調査を重ねるごとに増加傾向
(16年度調査及び17年度調査：6割強。18年度調査：約8割。今回調査：9割弱)
- ◆ 閲覧している人について性別で差はないが、一定の頻度で閲覧している割合は男性の方が高い
(男性：7割強。女性：約5割)
- ◆ 閲覧している人の割合は49歳以下でほぼ同等で、それ以上は年代順に減少している。一定の頻度で閲覧している人は、40～49歳、50～59歳で割合が高い

食品安全委員会のホームページを「ほぼ毎日見ている」、「週に数回見ている」、「月に数回見ている」、「これまで数回見たことがある」の回答割合の合計は86.4%で、調査を重ねるごとに増加している。

定期的な閲覧状況として「ほぼ毎日見ている」、「週に数回見ている」、「月に数回見ている」の回答割合の合計は女性の50.8%に対し男性が73.2%で、男性の方が閲覧頻度が高く、年代別では「40～49歳」が65.3%、「50～59歳」が64.7%であった。



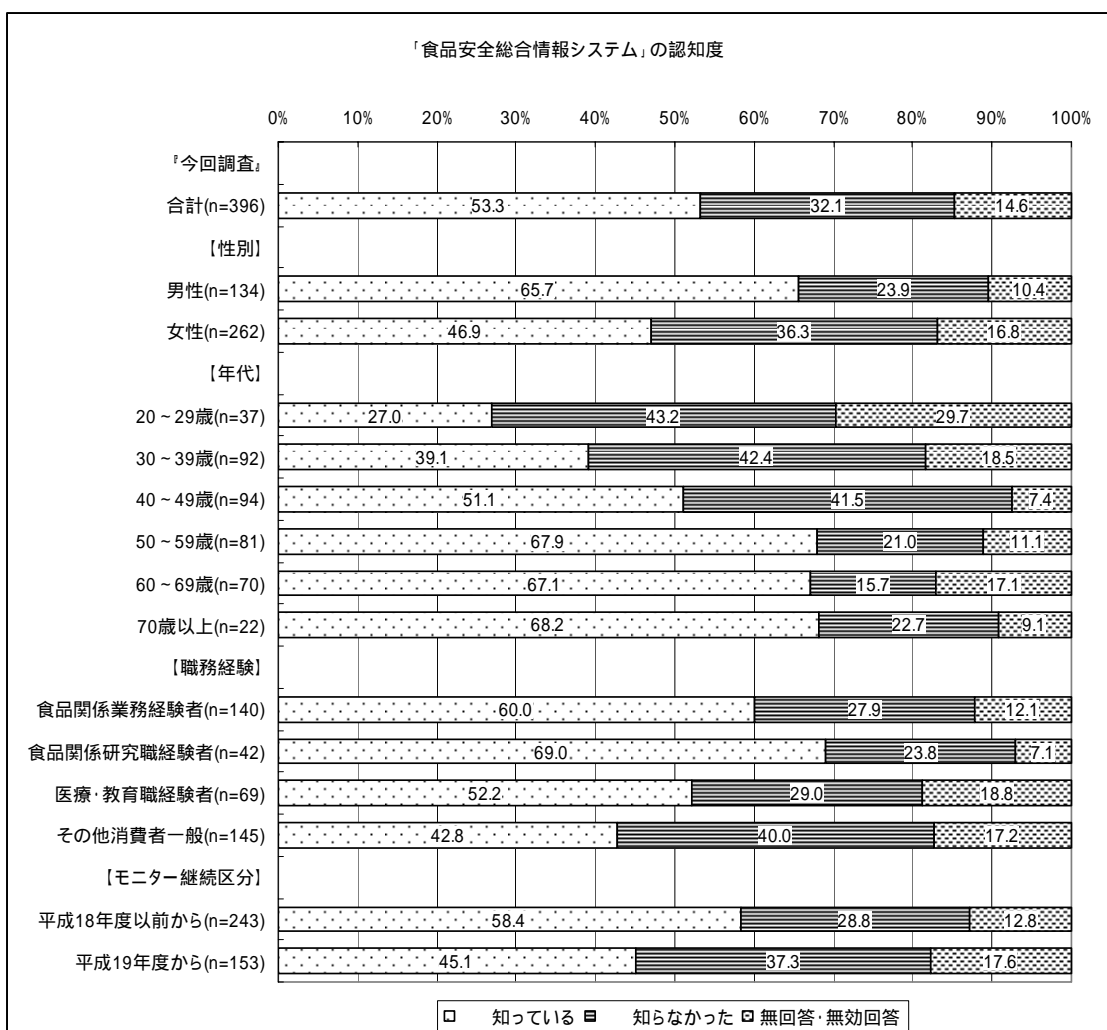
【食品安全総合情報システム】

食品安全総合情報システムの認知度

問6 問5で「ほぼ毎日見ている」から「ホームページを見る環境にあるが、全く見たことがない」のいずれかを選択した方にお聞きします。当委員会は広く国民に食品安全に関する情報を提供する目的で「食品安全総合情報システム」を整備し、ホームページから検索できるようにしています。あなたは本システムを知っていましたか（一つ選択）

- ◆ 食品安全総合情報システムの認知度は、5割強
- ◆ 年代別で見ると50歳代以上の認知度は各7割弱で比較的高く、職務経験で見ると食品関係研究職経験者及び食品関係業務経験者の認知度が高い

食品安全総合情報システムの認知度は、53.3%であった。認知度が高いのは、年代別では「50～59歳」以上の年齢層、職務経験区分では「食品関係研究職経験者」、「食品関係業務経験者」であった。



食品安全総合情報システムの利用頻度

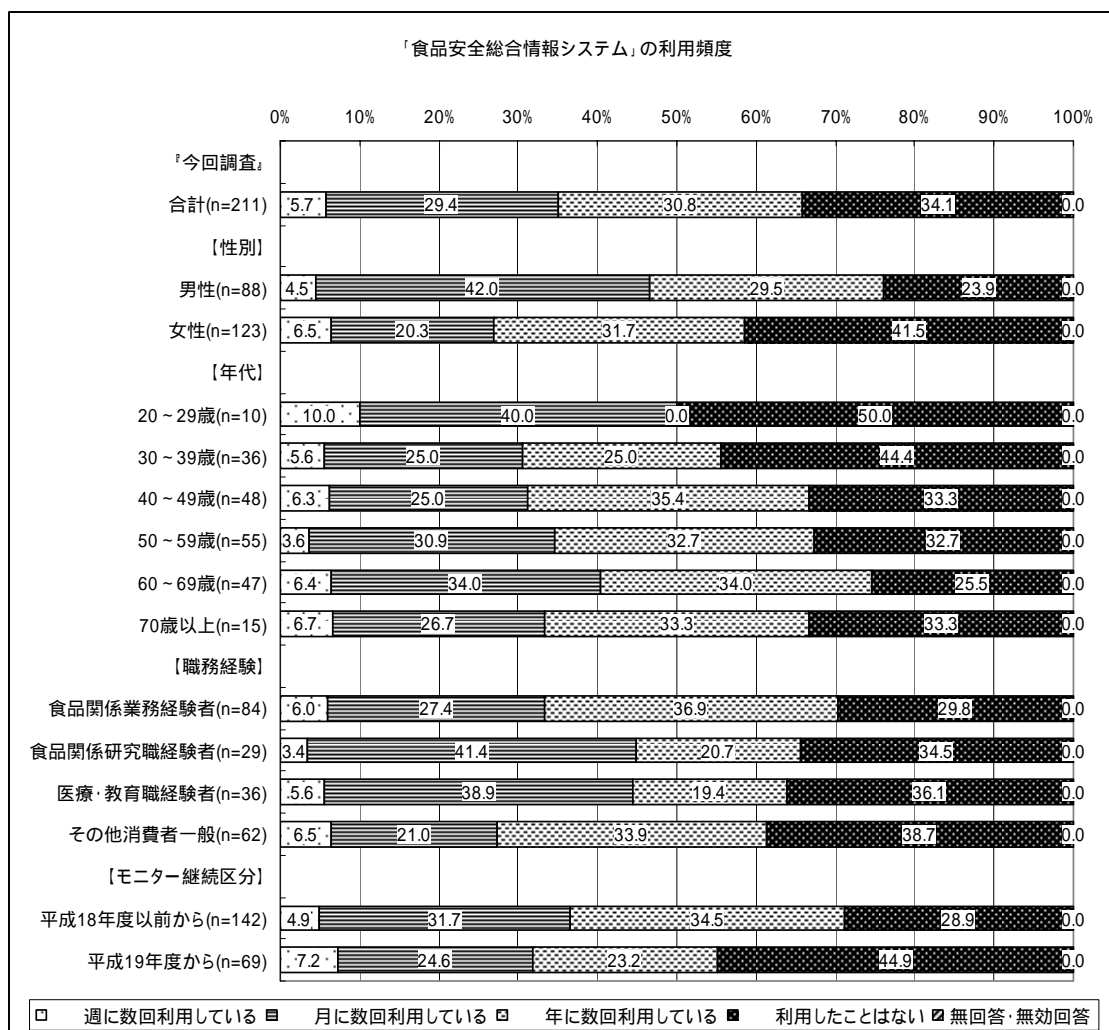
問7 問6で「知っている」を選択した方にお聞きします。あなたは「食品安全総合情報システム」を利用したことがありますか。(一つ選択)

食品安全総合情報システムを知っている人のうち、利用経験のある人の割合は、7割弱

- ◆ 食品安全総合情報システムの利用頻度は、性別では男性、モニター継続区分では過去にモニター経験がある人が高い傾向

一度でも利用したことのある利用経験者の割合として、「週に数回利用している」、「月に数回利用している」、「年に数回利用している」の合計は65.9%であった。

利用経験者の割合は、性別では男性が76.0%、女性が58.5%で、男性の方が多く、年代では60～69歳が74.4%で最も高く、継続モニターは71.1%で新規モニターの55.0%より高かった。



食品安全総合情報システムの評価

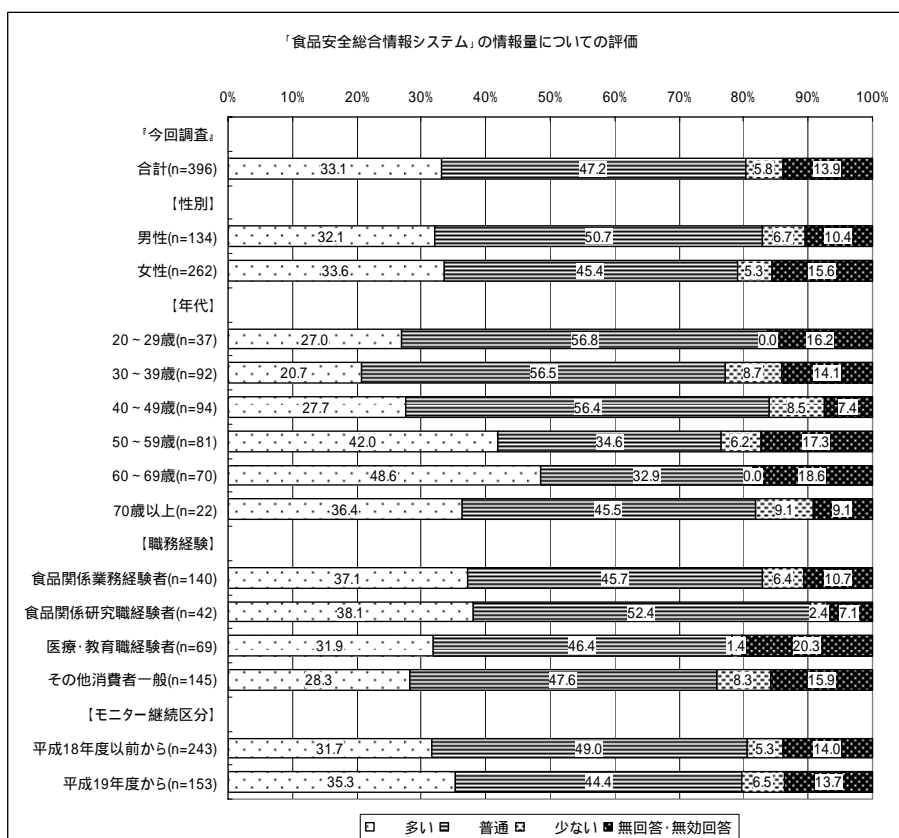
問8 「食品安全総合情報システム」を御覧いただいた上、お答えください。本システムは、利用された方の御意見、御感想を参考にして、改善を図ることとしておりますが、本システムの情報量、検索機能及び内容について、あなたの評価はいかがですか。（一つ選択）

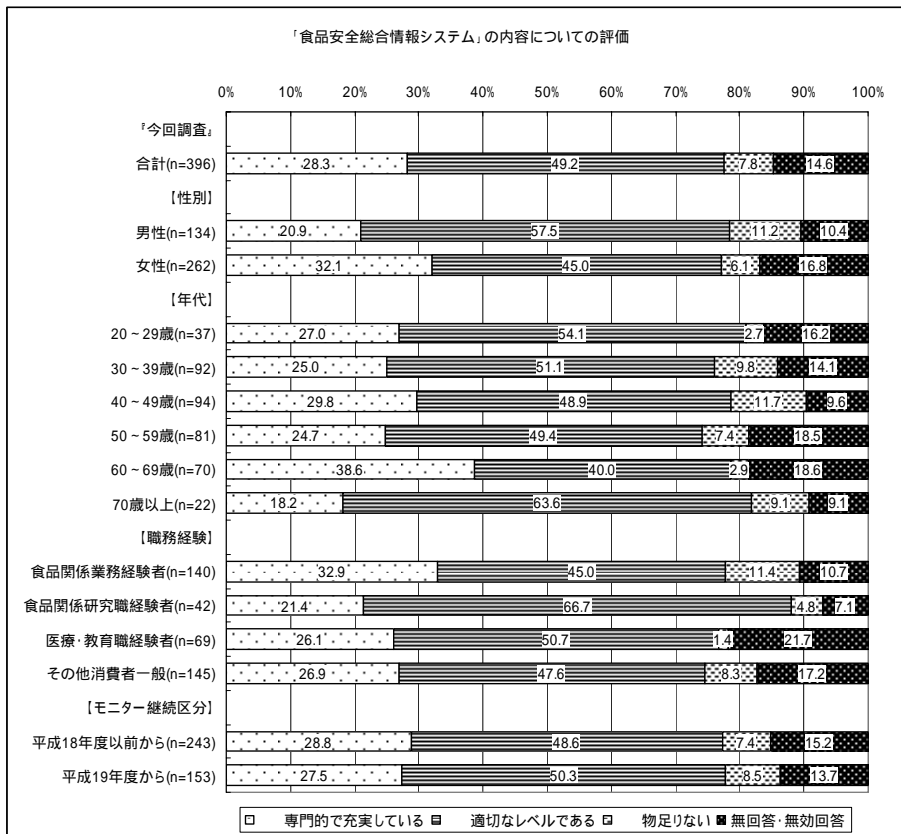
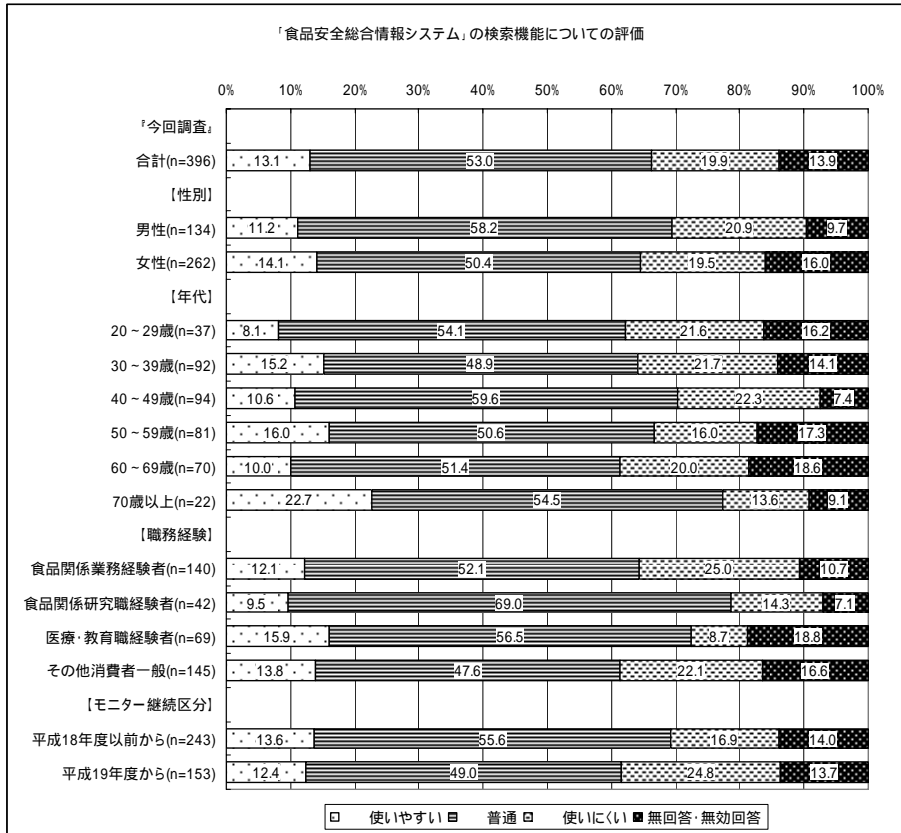
食品安全総合情報システムの評価は、いずれの観点からも「普通」が最も多いが、情報量については「多い」、検索機能については「使いにくい」、内容については「専門的で充実している」が次いで多い

食品安全総合情報システムの情報量について、「普通」の回答割合は47.2%、「多い」は33.1%であり、「少ない」は5.8%であった。

検索機能では、「普通」の回答割合は53.0%で過半数を超えるが、「使いにくい」が19.9%で、「使いやすい」の13.1%を若干上回った。

内容については「適切なレベルである」の回答割合は49.2%で、「専門的で充実している」が28.3%で、「物足りない」の7.8%より大きく上回った。





食品安全総合情報システムへの意見

問9 今後、「食品安全総合情報システム」にあるとよいと思う情報、機能等について、ご意見があれば、回答欄に出来る限り具体的に記入してください。

食品安全総合情報システムについて寄せられた意見等（134名、自由記述）の概要については、以下の通り。（個別意見については別添参照）

（1）情報量について（回答者数5名）

情報量が多い意見が目立ち、また公的機関、学術誌とのリンクを求める意見もあった。

（2）使いやすさ、検索機能など（回答者数27名）

「キーワード検索」に関して、非常に助かる、あいまい検索が出来るとよい、慣れるまで使い方がわかりにくい、探したい言葉を入れてもヒットしないという意見があった。

検索機能について、検索だけでなく、項目別の選択枠、五十音順などに分けて欲しい、過去の類似情報の一覧表示等の要望があった。

（3）内容について（回答者数48名）

最も多かったのは、内容が専門的すぎるということであった。

食品関係業務経験者からは、一般消費者が興味や関心を持てる情報提供の要望、言い回しが難しいという意見が多かった。

一般消費者からは、一般向けの情報をふやしてほしい、専門用語を避けわかりやすい解説を希望するといった意見もあった。

その他、食に関するものの全ての情報を希望する、マスコミで話題になったことへの早期情報提供等の要望も挙げられた。

（4）見やすさについて（回答者数19名）

19件のうち4件が、「食品安全委員会のホームページのトップページにある食品安全総合情報システムへのリンクボタンが見つげづらい」であった。

全般的には、一般消費者に向けた発信を意識していないという趣旨の内容が多く、情報量が多すぎる、内容の難易度が表示されているとよいといった意見があった。

（5）その他・不具合など（回答者数15名）

ブラウザの「戻る」ボタンの制御に関する意見がほとんどで、中でもすぐにエラー表示になりメニュー画面に戻ってしまうので使いづらいというものが多かった。

（6）その他・感想など（回答者数20名）

現状のままでよい、とても役に立っているという意見が寄せられた一方で、一般への周知、外部組織へのリンク強化の要望があった。

【メールマガジン】

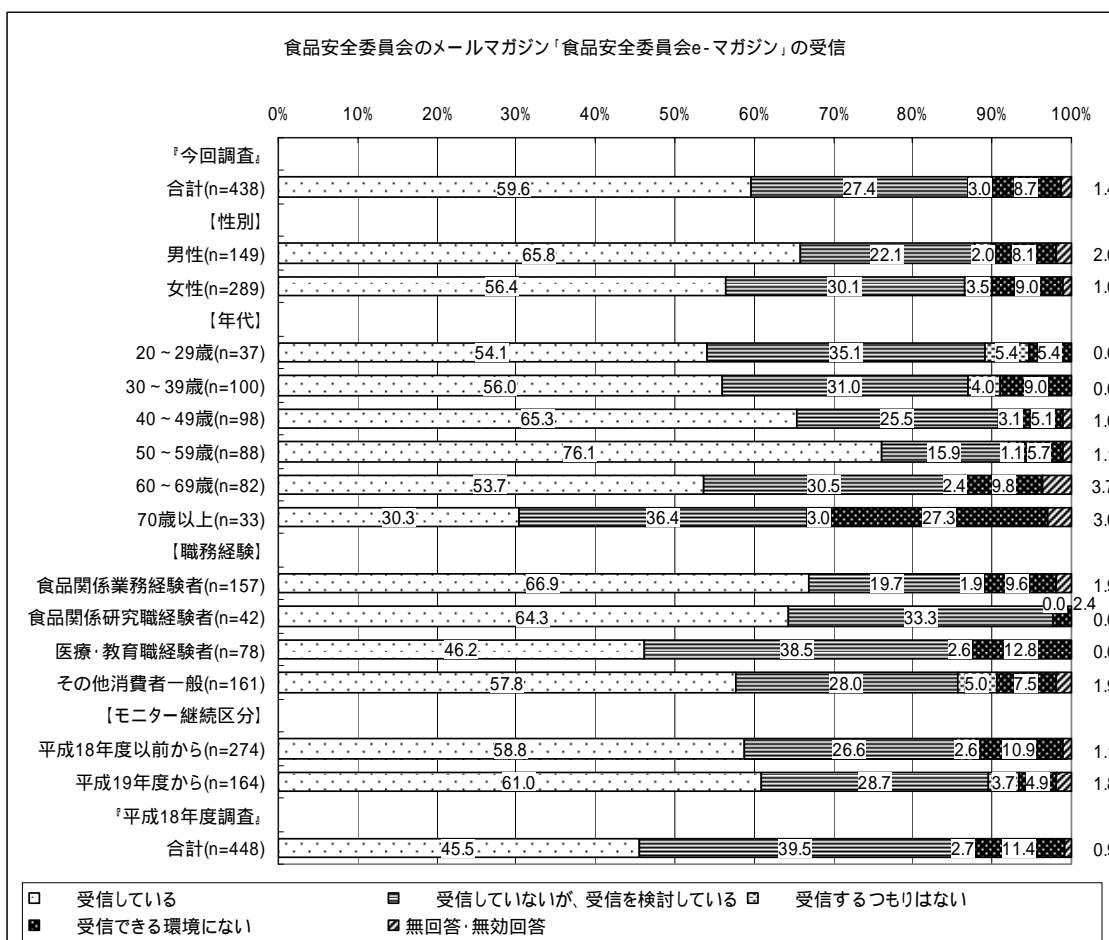
食品安全委員会のメールマガジン受信

問 10 あなたは、現在、食品安全委員会のメールマガジン「食品安全委員会 e - マガジン」を受信していますか。(一つ選択)

- ◆ 「食品安全委員会 e - マガジン」の受信は6割弱
(18年度調査では約4割5分)
- ◆ 年代別では50歳代、職務経験では食品関係業務経験者、食品関係研究職経験者の受信割合が高い

「食品安全委員会 e - マガジン」の受信者は 59.6%で、18年度の調査結果から 14.1%増加した。

年代別に見ると、若年層から中高年層になるほど受信している割合が高くなり、「40～49歳」で65.3%、「50～59歳」では76.1%となっている。「60～69歳」、「70歳以上」では逆に割合が落ち込んでいるが、この年代では「受信できる環境にない」という回答割合が他の年代に比べて高い。



食品安全委員会のメールマガジンへの評価

問 11 問 10 で「受信している」を選択した方にお聞きします。「食品安全委員会 e - マガジン」では、以下の項目に掲げる情報を提供しておりますが、それぞれの項目について、あなたの評価はいかがですか。（一つ選択）

「食品安全委員会 e - マガジン」を受信している人のメールマガジンに対する評価は、全般的に良い

「食品安全委員会 e - マガジン」の 8 評価項目全てにおいて、「非常に良いと評価している」と「ある程度良いと評価している」の回答割合の合計は 7 割を超えた。

最も評価が高かった項目は、「食の安全に関わる用語解説」で「非常に良いと評価している」は 52.9%であった。



食品安全委員会のメールマガジンへの意見

問 12 問 10 で「受信している」を選択した方にお聞きします。当委員会のメールマガジンについて、改善すべき点など御意見があれば、回答欄に出来る限り具体的に記入してください。

食品安全委員会のメールマガジンについて寄せられた意見等（137名、自由記述）の概要については、以下の通り。（個別意見については別添参照）

(1) 内容についての意見 (回答者数 49 名)

現在の内容で充分であるという意見がある一方、内容が難しい、内容が多岐にわたっていてわかりにくいという意見が目立ち、専門的すぎる、一般消費者の関心事を中心とすべき、専門用語を減らした方がよい、という意見があった。

ホームページと重複する内容は不要、即時性の強い話題をテーマにした記事があると良い、分野別の情報発信を希望するといった意見もあった。

(2) 情報量についての意見・情報発信量 (回答者数 16 名)

ほぼ全ての意見において、情報量が多すぎる、長すぎるという記述が見られた。

具体的には、1回あたりの内容を減らして配信回数を増やした方がよい、項目ごとにまとめてみてはという提案もあった。

(3) 情報量についての意見・掲載方法 (回答者数 12 名)

ニーズの高い順に並べ替える、HTML形式のメールを使い絵や図を使用する、専門家向けと一般向けに分けて配信することの要望等があった。

(4) 見やすさについての意見・全体 (回答者数 31 名)

文章量が多すぎて読みづらい、見やすさに工夫をしてほしいという意見が目立った。リンクの多用、HTML形式メールといった要望もあった。

(5) 見やすさについての意見・デザイン構成レイアウト (回答者数 12 名)

簡潔で分かりやすいという異見がある一方、項目の記載順序について、あまり難しい話題を先頭に持ってこない方がよいのでは、という意見が複数挙げられた。

そのほか、目次の項目で内容がある程度把握できるようにして欲しい、印刷を考慮してレイアウトをして欲しい等があった

(6) その他・情報掲載のタイミング (回答者数 2 名)

定期的に情報が得られるので良いが、より時事に即した内容の希望という主旨であった。

(7) その他・周知方法 (回答者数 2 名)

メディアへの情報発信の方法を工夫して欲しい、印刷物として地域の回覧板などで回してもらうのはどうか、といったものであった。

(8) その他・感想その他 (回答者数 13 名)

メールマガジン自体の登録方法や利用に関する意見が主だった。携帯電話で着信できるとよいという要望もあった。

【映像ソフト】

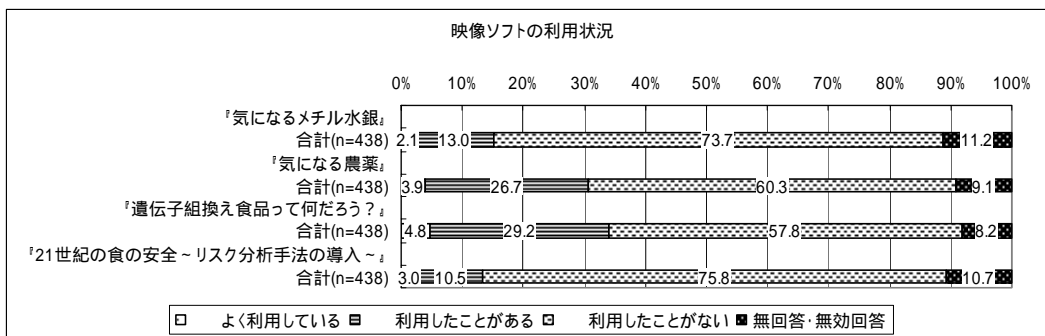
映像ソフトの利用頻度

問 13 当委員会では、平成 18 年度から、食品の安全性に関する知識の普及啓発を目的として以下の映像ソフトを制作し、DVDとして無料で配布している外、一部についてはホームページで一般にも公開しております。

あなたはこれらの映像ソフトをどのくらい利用していますか。(一つ選択)

映像ソフトの中で、利用されている割合が比較的高いものは「遺伝子組換え食品って何だろう?」及び「気になる農薬」で共に3割強

『遺伝子組み換え食品って何だろう』は「よく利用している」と「利用したことがある」の回答割合の合計は34.0%で、一度でも利用した経験の割合が最も高かった。続いて『気になる農薬』、『気になるメチル水銀』、『21世紀の食の安全～リスク分析手法の導入～』の順であった。

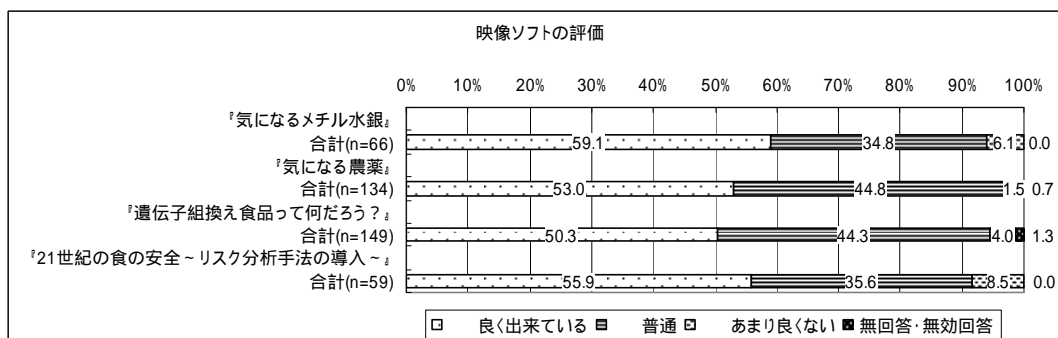


映像ソフトの評価

問 14 問 13で「よく利用している」又は「利用したことがある」のいずれかを選択した映像ソフトについてお聞きします。これらについて、あなたの評価はいかがですか。(一つ選択)

映像ソフトを利用した人の評価は、全体的に高い

すべてのソフトにおいて、「良く出来ている」の回答割合は過半数を超え、「普通」の回答割合も3～4割であった。

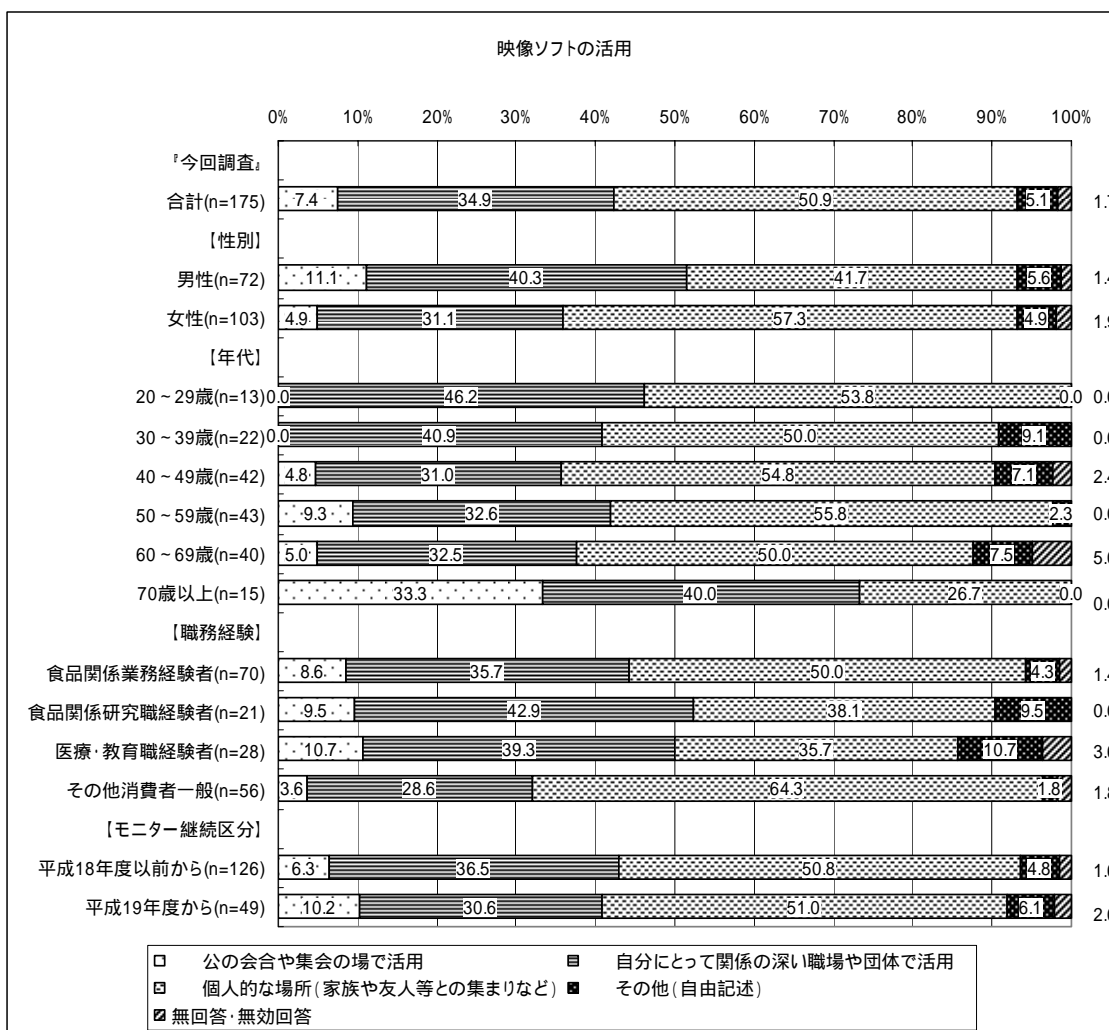


映像ソフトの活用

問15 問13で掲げる映像ソフトを一つでも利用されたことがある方にお聞きします。当委員会の作成した映像ソフトについて、どのように活用されていますか。(一つ選択)

公の場所よりも身近な場所での活用が主

映像ソフトの活用の際は、「個人的な場所(家族や友人等との集まりなど)」の回答割合が最も多く34.9%となっている。また「男性」及び「食品関係研究職経験者」では、「自分にとって関係の深い職場や団体での活用」の回答割合が多い傾向だった。



映像ソフトの改善点

問 16 問 13 で掲げる映像ソフトを一つでも利用されたことがある方にお聞きします。当委員会が制作する映像ソフトについて、改善すべき点など御意見があれば、回答欄にできる限り具体的に記入してください。

映像ソフトの改善点について寄せられた意見等（93名、自由記述）の概要については、以下の通り。（個別意見については別添参照）

（1）内容について（回答者数 64 名）

分かりやすく良いという意見、内容についてももう少し詳しく踏み込んだ内容でも良いという両方の意見が挙げられた。対象を明確に絞った方が良いという意見もあった。

（2）配布方法について（回答者数 14 名）

配布数を増やして欲しいという意見が多数で、次いで、ホームページで見られる動画をダウンロード出来るようにして欲しいという意見も複数挙げられた。

（3）その他・感想（回答者数 15 名）

現状のままで良いという意見が目立つ。その他、内容をまとめた資料を配布して欲しい、ソフトの種類を増やして欲しい、著作権をはずして欲しいというものがあつた。

映像ソフトを望む分野

問 17 皆様にお聞きします。あなたは、当委員会が今後制作する映像ソフトについて、どのような分野の情報を望まれますか。（一つ選択）

◆ 要望が比較的高い分野は、「食品添加物」及び「食育」で、ともに約 2 割

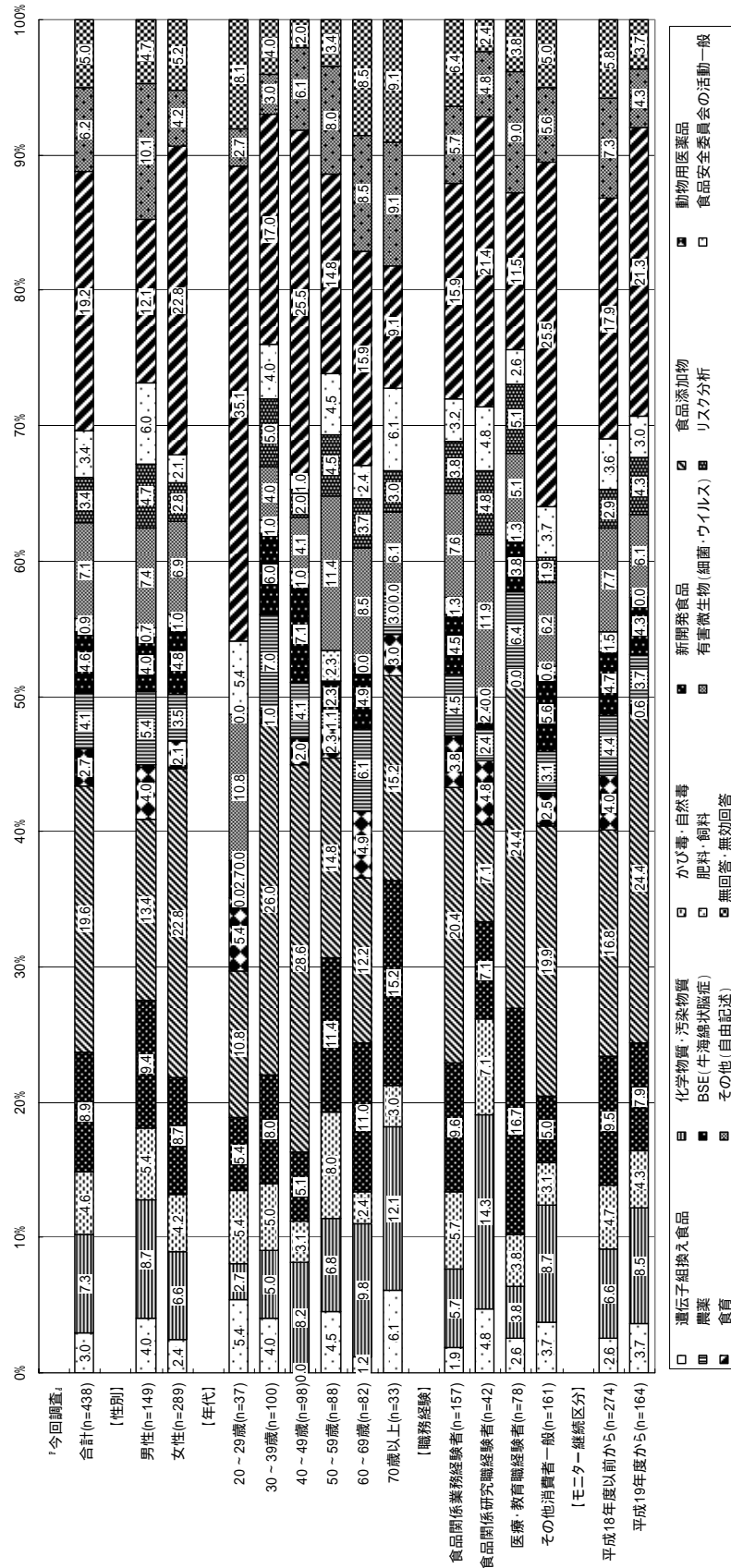
要望する映像ソフトについては、「食品添加物」及び「食育」が、それぞれ 19.6%、19.2%の回答割合であつた。

「食品添加物」については、性別では「女性」、年代別では「30～39 歳」、「40～49 歳」、職務経験では「食品関係業務経験者」において高い回答割合であつた。

「食育」については年代別の「20～29 歳」で 35.1%となっている。

3 番目に要望が多い分野は「新開発食品」で、回答割合は 8.9%であつたが、年代では「70 歳以上」、職務経験別では「医療・教育職経験者」が、それぞれ 15.2%、16.7%の回答割合で、要望が多かつた。

今後制作する映像ソフトに置く情報分野



4) トランス脂肪酸のファクトシートについて

ファクトシート更新の認知度

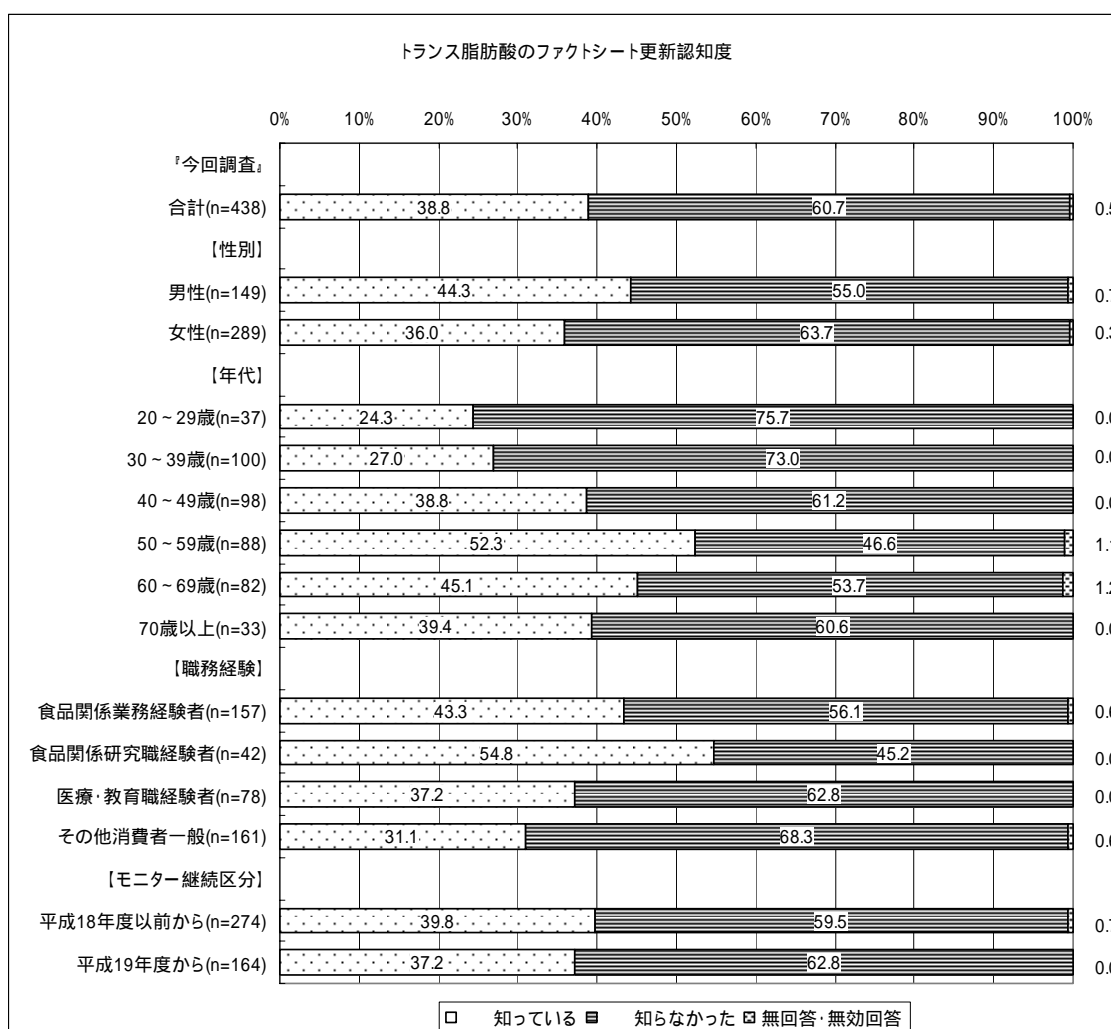
問 18 本年6月21日、食品安全委員会はトランス脂肪酸のファクトシート(以下「ファクトシート」といいます)を更新しましたが、このことをご存知でしたか。(一つ選択)

トランス脂肪酸のファクトシートの更新の認知度は4割弱

5割以上が認知しているのは、年代では「50～59歳」、職務経験では「食品関係研究職経験者」

トランス脂肪酸のファクトシートの更新の認知度は4割弱であった。

性別では「男性」、年代では「50～59歳」、職務経験では「食品関係研究職経験者」の認知度が高い結果であった。

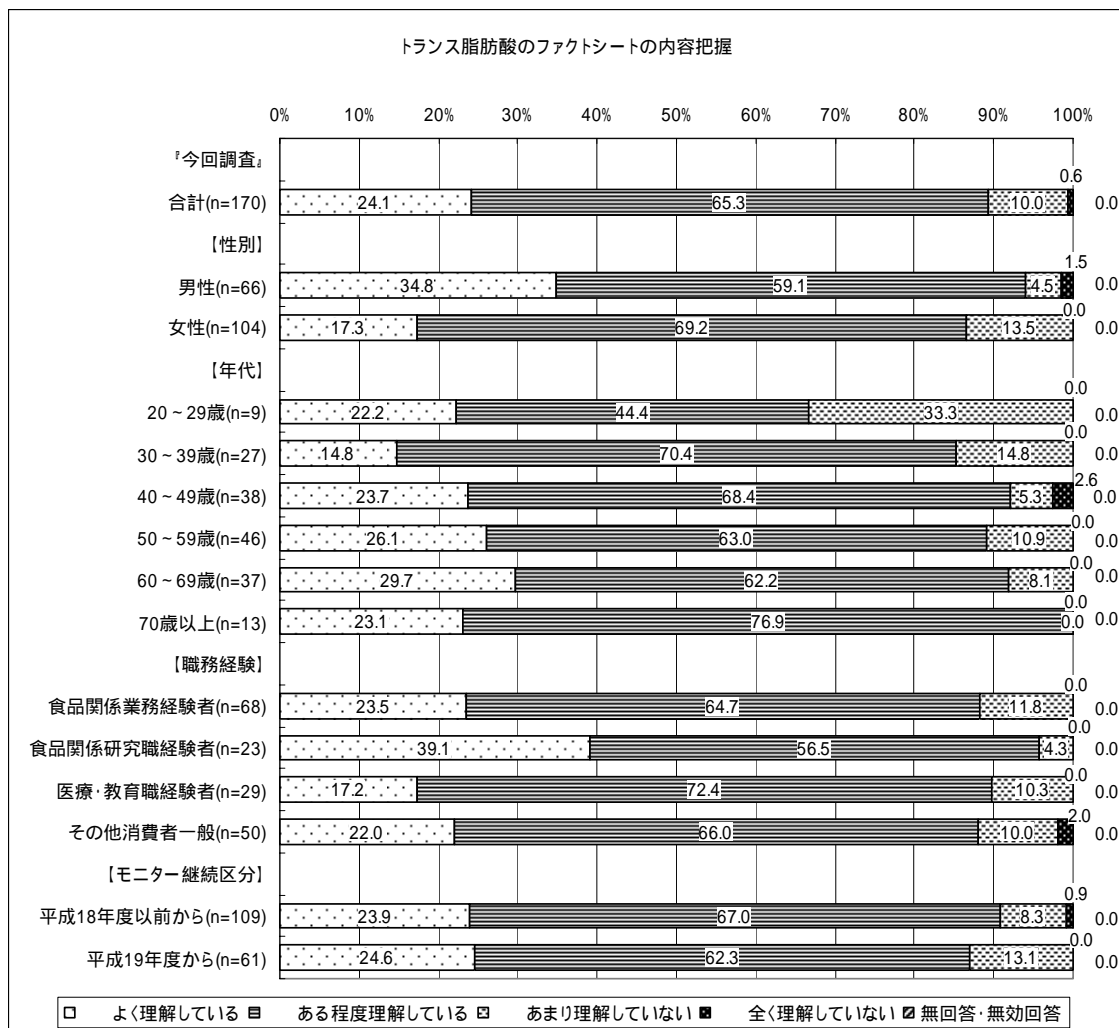


ファクトシートの内容把握

問 19 問 18 で「知っている」を選択した方にお聞きします。更新後のファクトシートの内容について、あなたはどの程度把握していますか。(一つ選択)

トランス脂肪酸のファクトシートの更新を認知している人の9割弱の人が、「よく理解している」、「ある程度理解している」と回答

トランス脂肪酸のファクトシートを「よく理解している」の回答割合は24.1%、「ある程度理解している」は65.3%で、合計89.4%であった。

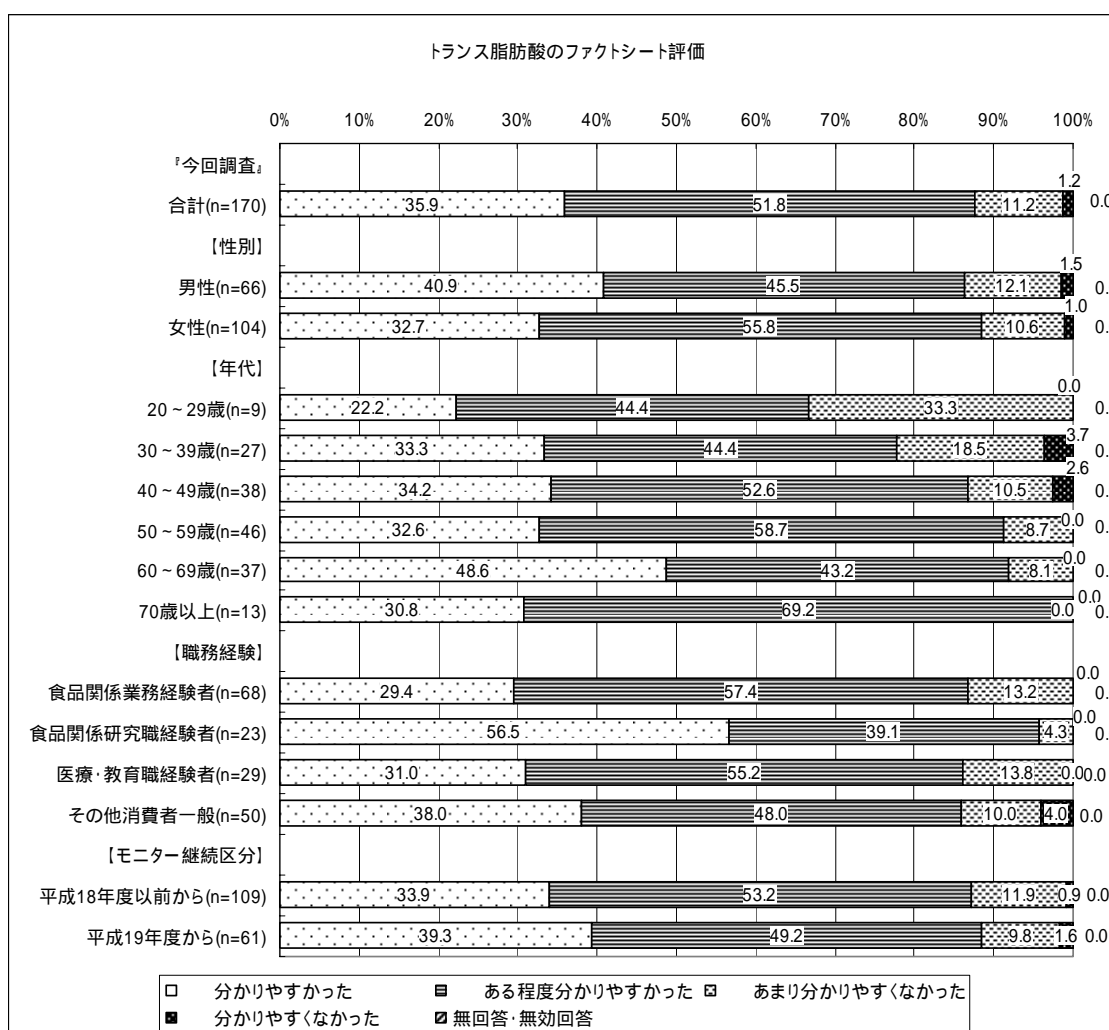


ファクトシートの評価

問20 問18で「知っている」を選択した方にお聞きします。更新後のファクトシートの分かりやすさについて、あなたの評価はいかがですか。(一つ選択)

トランス脂肪酸のファクトシートの更新を認知している人の9割弱の人が、「分かりやすかった」、「ある程度分かりやすかった」と評価

トランス脂肪酸のファクトシートを「分かりやすかった」と回答した割合は35.9
「ある程度分かりやすかった」は51.8%で、合計87.7%であった。



【自由記述回答】

八つの要因以外に不安を感じているもの

問2 以下の八つの要因それぞれについて、食の安全性の観点からあなたが感じている不安の程度を次の中から一つずつ選び回答欄に該当する番号を記入してください。また、以下の八つの要因以外に不安を感じているものがあれば、併せて「9 その他」に具体的な要因名を記入してください。

(回答者数=119人)

職務経験	性別	年齢	回答
食品関係業務 経験者	男性	30～39歳	中国の製品
			一部食品メ-カ-のいいかげんな管理体制
			日本企業がタッチしない外国産食品
		40～49歳	こんにゃくゼリー
			原料などの表示
			歯みがきペ-スト
			中国産の食品
			中国からの輸入食品
		50～59歳	食品を提供する側(企業、JA、地方公共団体を含む)の姿勢
			偽装表示
		60～69歳	中国・朝鮮半島の廃棄処理物のずさんさから発生する海域汚染
			製造業者の知識、モラルの欠如
			輸入食品
			食品用容器包装・器具(中国製)
			トランス脂肪酸
			中国産食品とおもちゃ
			輸入食品
			重金属(Hg、As、Pb、Cd等)
			異物混入
		飲料水	
		70～79歳	中国製品
			中国産食品及び原材料
			輸入食品(中国製)
女性	20～29歳	合成甘味料	
		中国からの輸入食品	

職務経験	性別	年齢	回答
			中国産食品
		30～39歳	食品の虚偽表示
			製品情報表示偽装
			輸入食品
			食生活事情と幼児の関係
			食料の量
			食品衛生・原料
			中国で作られて輸入されてくる食品の質
			偽牛肉コロッケ事件のような加工そのもの
			中国からの輸入食品
			使い捨て容器などの石油化学製品
			国内で製造、加工される加工食品の原産地表示
			40～49歳
		ホルモン剤(漁業、畜産業において)	
		50～59歳	食品の表示関連
			食物生産者および食品化工に関わる人々の食品への意識
			水
			クローン
			輸入食品
			自然水・水道水の安全性
		60～69歳	偽装表示
70～79歳	輸入野菜		
食品関係研究 職経験者	男性	30～39歳	中国産製品
		40～49歳	輸入食品
		60～69歳	中国からの食品、食材
		70～79歳	自然食品 中国原産輸入食品
医療・教育職 経験者	男性	30～39歳	表示
			食品会社のモラルについて不安を感じます
		40～49歳	中国製品
			製造及販売認可のない健康食品、(特に国外品)
	60～69歳	中国製の加工食品	
	70～79歳	食品の原料輸出国名の記載	
	女性	20～29歳	中国産・中国製の食品

職務経験	性別	年齢	回答
		30～39歳	食品偽装
			異物混入・偽装表示
		40～49歳	食品の表示
			環境ホルモン(容器から溶け出すもの等)ラップ・カップラーメン容器・給食食器
			日本国内での食料自給率の低さ
		50～59歳	養殖用抗生物質・養殖用飼料
			鶏インフルエンザ
			加工食品
			昨今話題の食品の偽装表示
		60～69歳	輸入食品に関するチェック機関の人員不足
			食品表示と中味(現物)との正合性
			偽装表示食品
			うその表示
		70～79歳	製造過程および流通過程における衛生状態(人的要因)
			食品包装容器
			成長促進などのホルモン剤
その他消費者 一般	男性	30～39歳	輸入食品(特に中国から)
			食品原材料のトレーサビリティ
		40～49歳	輸入食品、加工食品
			一般加工食品
		60～69歳	アレルギー物質
			残留農薬(輸入食品)
	不当表示		
	中国産の輸入食品の残留農薬		
	女性	20～29歳	輸入品
			離乳食のビン詰食品
			人為的な偽装
			中国の食品の安全性
			表示されている内容と異なるモノが混入していること
			輸入食品
			輸入食品
30～39歳		輸入品	
		輸入食品	
	食品の産地表示		

職務経験	性別	年齢	回答
		40～49歳	異物の混入、食品会社への信頼
			偽装表示をされた食品
			アレルギーをひき起こす食品
			ミートホープ社など食品加工会社の偽装
			水に対するチツ素量
			食品業界のモラル
			流通や、消費者が購入してから口に入るまでの過程
			保健機能食品類・サプリメント類
			中国産食品における使用禁止物質の意図的な添加
			虚偽、偽装
			輸入食品
		50～59歳	中国野菜
			中国からの輸入食品
			生産者・食品に関係する事業者の安全に対する意識
			食品表示(特にアレルギー関係)
			輸入食品
			輸入食品
			食品加工業者の不正
			中国からの輸入食品
			輸入食品
		60～69歳	中国産食料品(輸入もの)
			キムチ・ひき肉・まぐろ(ペースト状)
			調理済みの食品の販売の仕方
			ダイオキシン
			輸入されている果物
		70～79歳	環境ホルモン

不安を感じる理由

問3 問2において、あなたが不安を感じるとした要因(八つの要因のうち「非常に不安である」又は「ある程度不安である」を選択した要因及び「9 その他」でああなたが記入した要因)についてお聞きします。

それぞれの要因ごとに不安を感じる理由を次の中から一つずつ選び、回答欄に該当する番号を記入してください。

(1) 遺伝子組換え食品について、不安を感じる理由 その他(具体的に記入)

(回答者数=29人)

職務経験	性別	年齢	回答
食品関係業務 経験者	男性	50～59歳	生態系への影響が心配
			科学的に安全であると証明されていないから
		60～69歳	次世代に影響が出るのではないか
		70～79歳	人類が未だ摂取した経験が少ないため
	女性	30～39歳	誤って自然界に広まった時の悪影響が心配
			環境(食物連鎖)への影響はないのか?不安に思います
			基本的に問題はないと思うが、アレルギー発症のデータがないので
		事例がないため、将来への不安	
40～49歳	DVDを見て安心感があった		
50～59歳	長期にわたる結果が出ていない		
食品関係研究 職関係者	男性	40～49歳	現時点の安心でしかない部分は……
	女性	30～39歳	将来、作物が遺伝子組換えのものばかりになってしまうのでは…と不安
		50～59歳	環境・生態系への影響が不明だと考えるので 突然変異があるか、どうか長いスパンでの影響が判明していない
医療・教育職 経験者	男性	30～39歳	輸入食品etcの基準値が守られているのか、不法表示がないのか不安です この食品が出まわってから年月があまりたっていない
		50～59歳	更なる科学的検証
その他消費者 一般	女性	20～29歳	臨床データが少ないので、本当に安心・安全なのか不安を感じる
			まだ人体への影響が明らかになっていない
		30～39歳	子孫へ影響すると思われる
	40～49歳	研究が進んでいるのに、全く市場に出ていないことが信じられない(表示以外に) 最近出てきたもので今後、どのように人体影響を及ぼすかわからないから	
		食品そのものより、生態系をこわすのではないかと不安	
		除草剤に強く、育てやすいという反面、人体に入ってから時間が経過してどうなるのか、不安があります	
		人を検体としてできないので、未知の部分の不安	
		わが国以外に、モラルについて疑問のある国においての研究、開発、使用に不安がある(日本国内の研究、開発にはあまり不安を感じないが)	
	50～59歳	ずっと先にどのような影響が出るかわからない	
		本当に環境への影響がないのか	
60～69歳	種の壁を越えての品種改良はどう考えても不自然であると思う		

(2) いわゆる健康食品について、不安を感じる理由 その他(具体的に記入)

(回答者数=8人)

職務経験	性別	年齢	回答
食品関係業務 経験者	男性	50～59歳	過剰摂取は禁。食べない
		60～69歳	中国製等に毒物等が入った例 利用者の自己管理に問題
	女性	50～59歳	過剰摂取のリスクなどが不安。誇大宣伝等違法が多い
医療・教育職 経験者	女性	30～39歳	口にしないでおこうと思えば可能
その他消費者 一般	男性	50～59歳	新聞広告等に誇大に宣伝されていると思うので
	女性	40～49歳	消費者が使用法を守らない事も多い 頼る人が増えていることに対する不安

(3) 汚染物質について、不安を感じる理由 その他(具体的に記入)

(回答者数=16人)

職務経験	性別	年齢	回答
食品関係業務 経験者	男性	40～49歳	事業者により管理がバラバラ。暴力団の関係もあると聞く
		60～69歳	残土処理後の田畑使用作物に マスコミ等が過度に危険をあおる傾向があるため
	女性	40～49歳	(事業者の法令順守や衛生管理の実態に疑問)または (過去に問題になった事例があり、不安)でもあるが輸入品(特に中国産)信頼できない
		50～59歳	すでに食物連鎖において負が発生
食品関係研究 職経験者	男性	20～29歳	産業(工業etc...)の発展により、大気・水質等の汚染については、常にリスクがある。全く汚染されていないものを探すことの方が難しいのでは
		30～39歳	特定できない場合は危害がある
		40～49歳	原料の汚染は想定外のものに対する検査方法が未確立
	女性	60～69歳	起きうる環境の変化によってもたらされるので
医療・教育職 経験者	男性	30～39歳	注意しようとしても避けることが困難 知らないうちに汚染されており、選びようが(避けようがない)
		50～59歳	土壌汚染、食物連鎖等による食品の汚染は防ぐのが難しいと思う
その他消費者 一般	女性	30～39歳	不確実性が高いので、将来的な影響が予測不能 子孫へ影響すると思われる
			発覚・対応が後手に回り、口にした後、知る可能性大
		40～49歳	規定内であればよいと思う。中国はあまり信用できない

(4) 家畜用抗生物質について、不安を感じる理由 その他(具体的に記入)

(回答者数=7人)

職務経験	性別	年齢	回答
食品関係業務 経験者	男性	60～69歳	使用状況が見えない。耐性菌の発生等
食品関係研究 職経験者	男性	60～69歳	医療用抗生物質の効果に対する影響
	女性	60～69歳	基本的な家畜に関する情報が乏しいので、納得のできる情報が欲しい(そうしたら不安も少ない)
医療・教育職 経験者	女性	40～49歳	これらを使用 食する 病気になった時抗生物質を人が飲んでもこの影響で効かない?
その他消費者 一般	女性	30～39歳	人間が病気になった時、薬が効かなくなる
		40～49歳	規定内であれば良いと思う。中国はあまり信用できない
			人にどういう影響が出るか

(5) 食品添加物について、不安を感じる理由 その他(具体的に記入)

(回答者数=11人)

職務経験	性別	年齢	回答
食品関係業務 経験者	男性	50～59歳	日本の物であれば法令を守っていると思う
			安全性が確認されていれば問題ない
		60～69歳	個々の添加物には問題ないかもしれないが、数種が混合すると?
医療・教育職 経験者	女性	30～39歳	長期間摂り続けた場合はどうなのか不安
その他消費者 一般	男性	60～69歳	添加物同士の化学変化(反応)
			成分が人の健康に害する恐れが多い
	女性	20～29歳	添加物の本を見て不安。書籍のタイトル「食品の裏側」
			ガンなどの病気の誘発
		30～39歳	欧米で禁止されている物質で日本では許可されているものは、どちらが正しいのか、わからない
			複合された場合の不安
40～49歳	一括表示、キャリアオーバー等、業者の都合優先のようで、全ての情報が表示されない。不透明さに不安を感じます		

(6) 農薬について、不安を感じる理由 その他 (具体的に記入)

(回答者数=12人)

職務経験	性別	年齢	回答
食品関係業務 経験者	男性	60～69歳	使用状況が見えない
食品関係研究 職経験者	男性	70～79歳	農水省、食品安全委員会職員の回答が不完全で不安感が大きい
	女性	50～59歳	外国に頼る日本の食糧事情から、次世代への影響が心配な為 国内産の農薬は安全だという知見をえたから。野菜などに使用されている
		60～69歳	安全委員会よりの情報、農薬に関する意見交換会に参加した情報、知識は不安を少なくしてくれた
その他消費者 一般	女性	30～39歳	ガンなどの病気の誘発 中国・タイなどの外国の野菜・果物を買えません
		40～49歳	(野菜)を購入する際、それに使用された農薬が何であるかまで分からない
			規定内であればよいと思う。中国はあまり信用できない
			使用基準が守られているか。またその影響と検査体制
			農業生産の場において使用禁止になった農薬が、家庭用では今だに使用OKというダブルスタンダードの存在が不安です
		農家の声が反映されていない	

(7) B S E (牛海綿状脳症) について、不安を感じる理由 その他 (具体的に記入)

(回答者数=9人)

職務経験	性別	年齢	回答
食品関係業務 経験者	男性	20～29歳	中国産牛肉が一部流通しているため
		50～59歳	マスコミに大きく取り上げられすぎている気がする
			国内のピッシング、米国は飼料規制
			米国産牛肉の検査・管理への不信、不安
食品関係研究 職経験者	女性	50～59歳	BSEの疑いのある牛肉がチェックされなくなると、大変不安に思う
		60～69歳	情報が信頼できるので、不安は減少した
医療・教育職 経験者	女性	50～59歳	更なる科学的検証
その他消費者 一般	女性	40～49歳	リスクが低いことは十分に知っているのだが、もし人間がBSEにかかったら恐ろしいという恐怖感がある
			やはり、もう少し年月をかけて研究していくべき課題

(8) 有害微生物 (細菌・ウイルス) について、不安を感じる理由 その他 (具体的に記入)

(回答者数=22 人)

職務経験	性別	年齢	回答
食品関係業務 経験者	男性	20～29 歳	鳥インフルエンザ
		50～59 歳	ノロウイルスが心配。対策が必要 カビのアフラトキシンの様に具体的な有害物質
	女性	30～39 歳	制御しきれないものだから
			ウイルスの感染力の強さ
		40～49 歳	自己管理で予防できる確率が高いから
		50～59 歳	特にノロウイルス後がたたない 将来、人類の最大の適になると思う
食品関係研究 職経験者	男性	20～29 歳	汚染(感染)ルートが様々であり、日々その種類も増え続けている。常に危険にさらされていることは間違いない
		60～69 歳	変異株に対する研究が十分でない(予測困難)
	女性	60～69 歳	細菌・ウイルスは事前にチェック出来ない新種も出現、不安である
医療・教育職 経験者	男性	30～39 歳	一般人の認知度が低い
	女性	30～39 歳	注意しようとしても避けることが困難
		60～69 歳	目に見えないものなので、細菌、ウイルスが環境等の変化でリスクが大になっていくこと
その他消費者 一般	女性	20～29 歳	実際にウイルス性の食中毒に思った事があるから
		40～49 歳	未知の有害微生物が変異により生ずる不安
			国内において不安は小さいが、中国は危険
			発生して問題になる前の対処が難しいから 対象が多すぎ、調べられていないから不安
		50～59 歳	発生原因や伝染経路、予防法や対処法が明確ではないところ
60～69 歳	感染すれば重篤になる場合があるので		

(9) その他について、不安を感じる理由 その他 (具体的に記入)

(回答者数=27 人)

職務経験	性別	年齢	回答
食品関係業務 経験者	男性	30～39 歳	実際なところ使用原料、表示などを含めていい加減にしていると思う、消費者側の立場になって考えていない 特に中国産の食品について、使用基準を満満たさないものが多く見つかったので

職務経験	性別	年齢	回答
		60～69歳	日本の海岸に大量の医療廃棄物が漂着しており、海域の汚染、海産物への汚染による人体への影響を考えると改善が急務と考えます
			有害物質を法定外、常識外(モラルに反する)の使い方をすることによるリスク
			途上輸出国の衛生順守が低く、かつ輸入検疫体制の不十分
		70～79歳	中国の法制度及び業者のモラル等に最大の不信感をもつ
	中国で十分なるコンプライアンスがあるか疑問		
	女性	20～29歳	最近、お菓子などに良く使われているが、実態が分からないから
		30～39歳	平均寿命が短くなっている傾向がある中、近未来の子供たちの病気などが不安
輸入に頼りすぎている。食料自給率が低いのに輸入に対して厳しいように感じる			
60～69歳	違法を承知で製造するメーカーがあとを絶たないことへの不安が募る		
医療・教育職 経験者	男性	60～69歳	中国製は製造会社が法令を守らないケースが多い
		70～79歳	原料の原産国を明示する必要性を強く感じている。アメリカ、カナダ、中米などで製品になる前段階の中国産原料に問題が生じている
	女性	40～49歳	現在、日本は食品の大半を輸入に頼っている。外国における安全基準がまちまちで、特に中国などでは考えられないような事例も発生している
		60～69歳	消費者が自分の食生活に合った選択ができない(リスク等考えて)
		70～79歳	いわゆる医療用でなく健康食品に関しては、極めて専門的にも不明確であるにも関わらず、一般消費者とくに若齢者には信頼され食事の重要性が健康食品に置きかわったかのように考えられ、弊害が大きい。食事の重要性(生理学的)が失われる原因にもなっている。食事がおざなりになり精神的、身体的影響が大きい
			油類の樹脂容器・アルコール類の容器(温度や年月によりプラスチック成分の一部が溶ける、又は内容の変性を促すのでは?)
			自然界の生態系を狂わせ、人間に及ぶおそれの心配
その他消費者 一般	女性	30～39歳	今、中国からの輸入食品が問題になっているので
		40～49歳	人によっては、アナフィラキシーショック状態になる場合があり、生命にかかわる
			過大広告とみられるPRが多く、どれだけ科学的な根拠があるか客観的な判断が不可能で、健康に不適切な食生活を改善させない等のデメリットが多すぎる
	50～59歳	知らない間に摂取することの不安	
	60～69歳	中国産かん詰、干し魚、ウナギ、えびなどの大腸菌検出問題	
		残飯、くず野菜、など不潔なものを混入している。ミートホープ事件のように混入物がわからず、賞味期限切れや牛でなく豚を入れておきながら牛表示などの不正	
		不特定多数の人が通る所にオープン棚を置き、不衛生又危険を感じる	
日本は世界一のダイオキシン汚染国であるため、かつての騒ぎは遠のいているが、その是非がまだ学者間で論争になっているため			

職務経験	性別	年齢	回答
		70～79歳	少子化に関連していると思えてなりません。原因の調査、今後の対策、対処を希望

食品の安全性に関する情報源

問4 あなたは、食品の安全性に関する情報をどこから得ていますか。多く得ている先から順に三つ選んで下さい。

(1) その他(具体的に記入)

(回答者数=29人)

職務経験	性別	年齢	回答
食品関係業務 経験者	男性	30～39歳	講習会(企業主催)
		40～49歳	国際的な研究機関
			父親(元九大医学部教授)
		50～59歳	書籍
		60～69歳	NPO法人食料協ニュース
	70～79歳	食品安全委員会資料	
	女性	30～39歳	専門紙などから
40～49歳		講演会	
食品関係研究 職経験者	男性	30～39歳	CODEX、EFSA、FDA、USDA等
		60～69歳	技術大会
	女性	30～39歳	会社(勤め先)
		40～49歳	図書館で本を借りて読む
		60～69歳	食品安全モニタ - からの資料
医療・教育職 経験者	男性	30～39歳	論文・学術誌等
		50～59歳	学術雑誌、学術図書
		70～79歳	不特定の口コミから
	女性	30～39歳	栄養士の会報や講習会
		40～49歳	職場
		50～59歳	食品安全委員会ホームページ
		60～69歳	栄養士の生涯教育・野菜ソムリエの研修会等
その他消費者 一般	男性	50～59歳	生活協同組合
	女性	20～29歳	学術論文
		30～39歳	アレルギー - の子を持つ母親の会など 栄養士の学習研修会等

職務経験	性別	年齢	回答
		40～49歳	母が東京都で働いているので。母から
		50～59歳	栄養士会・アレルギーの会
			学養士会会員の情報
		60～69歳	食品安全委員会の情報
			本

「食品安全総合情報システム」への要望、意見

問9 今後、「食品安全総合情報システム」にあるとよいと思う情報、機能等について、ご意見があれば、回答欄に出来る限り具体的に記入してください。

(1) 情報量について

(回答者数=5人)

職務経験	性別	年齢	回答
食品関係業務 経験者	男性	30～39歳	色々な公的機関の情報システムと連結して情報量を増やしてほしい
		70～79歳	情報量が多く、これ以上については、専門的な見知からでないといけない
食品関係研究 職経験者	男性	50～59歳	会議情報は充実している。一方食品安全関連情報のそれは不足していると思われる。学術誌とのリンクを希望
その他消費者 一般	男性	60～69歳	情報量が多すぎます
	女性	20～29歳	情報量は充実していると思うが、うちの現在のパソコンの動作環境では、重いため検索に時間がかかってしまうのが難点です

(2) 使いやすさ、検索機能など

(回答者数=27人)

職務経験	性別	年齢	回答
食品関係業務 経験者	男性	30～39歳	詳しく検索できるので特にありません
		40～49歳	検索に際し、語句の「あいまい検索」機能があれば、使いやすくなると思います
			ブラウザのバックボタンが使えないのは不便。「検索キーワード」は組み合わせ等を数回変更しつつ使用するのが一般的だと思う
			最近の情報が早く検索できる機能(2～3日分はすぐわかる) + 情報としてお薦めHP(参考にできるHP等リンク) 検索方法をもっとわかりやすくしてほしい
		50～59歳	キーワード検索がわかりにくい。過去に投稿したテーマについて調べようと思ったが、わからなかった
			検索だけでなく、見出しの様なものがあれば、詳しい検索がし易くなる
キーワード検索は非常に便利が良い。ありがたく思っています			

職務経験	性別	年齢	回答
		60～69歳	検索目的に対しては、十分その情報、知識を吸収する事が可能な内容と思うが、課題の多さには、閉口？する。現状は自分の知識範囲と知りたい範囲に止まっている事には、正直残念にも思うが
			食品リスク評価及び管理施策の項の「評価品目による検索」が検索しやすいので、品目を増やしていただきたい
	女性	20～29歳	検索キーワードの他にも、大きく分類した項目別の選択枠があると、より使用しやすいのではないかと感じました
		30～39歳	検索を何度もやってもできなかった。入力の方がよくわからないので、説明を入れてほしい。最近の事件(偽牛肉コロッケ)について見たかったが、この言葉を入力しても検索できなかった
		60～69歳	消費者が簡単にキーワード検索できるよう、並べかえたらどうか
食品関係研究 職経験者	男性	50～59歳	このシステムを構築・メンテナンスは、当然としてパソコン・インターネットに精通した人担当していると思いますので、ある程度専門の人にとっては、他のシステムとほぼ同じ概念で作られていると思いますので、使いやすく内容も充実していますが、使ってもらう人を増やそうとした時[必要かどうかは別として]、HP初心者にとってはこのHPに入ってきた半数以上の人はあきらめてしまうように思います。使用方法が下の方にあると、詳しく説明されていますが、本当に調べたい項目がある人にとっては充分目的を達するでしょうが、初心者にとっては詳しく過ぎるような気がします。最初の検索で、何も該当しませんでしたとなると、また何か間違ったのかと不安になり、挫折する人も出てくるような気がします。入門の入門として、とりあえずキーワードひとつとORを選択して検索とすれば何か出てくると思いますので、数行の説明文と操作画面ひとつのコーナーは如何でしょうか
		60～69歳	海外機関の情報を見ようとしても、なかなか出てこない。操作が悪いのかもしれませんが、マニュアルを整備してほしい
		60～69歳	過去の類似情報をすみやかに探し出すシステム
		女性	30～39歳
医療・教育職 経験者	女性	40～49歳	検索しても出てこない時があったので、(更新のためか?)その旨の表示もほしい
	女性	50～59歳	食品安全総合情報システムは、特定分野に興味のある人向けには、有用である。こうした人はパソコン検索にも慣れている場合が多いので対象を限定するなら問題はないと思われる
その他消費者 一般	男性	40～49歳	食品安全総合情報のページ全体の検索機能があって助かります
		70～79歳	シソーラス用語集同様に渡されないと、思った通りのヒットがない感じ
	女性	20～29歳	子どもにも検索できるようにeasyバージョンを作ってほしい(調べ学習等利用)

職務経験	性別	年齢	回答
		40～49歳	機能や情報をふやす前に、今のシステムをより検索しやすくみやすいものに充実させるべきだと思う。食品安全委員会HPのトップページ内で、目にとまりにくい。「トランス脂肪酸、ファクトシート」が検索できないなどが、気づいた点である
			検索しづらい。容易に検索できると見やすいと思う
			内容は簡潔かつリンクetcでしっかり整備されている。しかし、自分が必要なものにとどりつくまでの検索がイマイチ。ボタンの押し方でエラーになったり、通常の検索エンジンのような使い勝手を望みます
			「プリオン」を用語集で検索しようとしても、うまく表示されませんでした。再検索をクリックすると、前回入力した情報すべてが消えてしまうので、同じ言葉を再入力しなければなりません。ちょっと面倒な気がしました
			今回初めて利用したので、検索の仕方が難しいように感じました。慣れれば大丈夫と思う。ホームページでは緑色が目立たないので、今まで気づきませんでした
		50～59歳	検索項目がある程度区分され、分類項目があると使いやすさが増すと考えます。幅広い方々の使用を望むので、より使いやすく、目にとまりやすい工夫を

(3) 内容について

(回答者数=48人)

職務経験	性別	年齢	回答
食品関係業務 経験者	男性	20～29歳	食に関心のある一般消費者にもわかるレベルの情報を提供してほしい
		40～49歳	もっと一般の国民・消費者が使ってみたくなる内容にすべき
			内容が科学的、客観的という面では評価できるが、モニターの人が普通の消費者に伝えるにはもう少しわかりやすい文言にする方がよい部分がある
			できる限り平易な言葉で表現してほしい。まだまだ専門用語やお役所言葉が多く、慣れていない人には難しく感じると思います
			直接食品とはかかわらないが、ペットフードの様に非常に食品と近い製品についての情報があるとよいです
		50～59歳	より具体的にわかりやすく
			鮮度です。マスコミに流れる情報(都市伝説も含め)の関連情報(解説)が必要
		60～69歳	海外(特にアジア)の情報を充実させて欲しい
			マスコミ関係、海外情報の充実
			基礎をわかりやすく知らず方法
			諸外国での情報があるとよい
		70～79歳	新聞・テレビ等のニュースになった問題を早急に取り上げて、その現状及び委員会としての処理対策等をお知らせ下さい

職務経験	性別	年齢	回答
	女性	30～39歳	特にないですが、わかりやすい説明をお願いします 専門的ではないもっと身近な食品の安全に関する情報(ニュース番組で見る様なちょっとした事件等)も検索できると良いと思います
		50～59歳	専門的で充実した内容で良いが、文章が難しすぎる部分があったり、言い回しで理解しにくい部分もありました 検索機能はもう少し細分化した方がよい。BSEに関してはヤコブ病の関連の項目を多く出して欲しい
食品関係研究 職経験者	男性	40～49歳	外国の安全施策や法律、行政の仕組、他国との連携の内容等について知りたい
		50～59歳	最近追加したデータというコーナーがあってもよいのではないかと
		60～69歳	重箱の片隅をつつくのではなく、優先順位をつけたテーマを分かり易く解説すること
	女性	70～79歳	海外においてもクレームの多い輸入食品例(生産国名、品目、内容、消費の被害状況等も含めた) 過去の食品にかかわる事件、事故等を整理し、二度と起さない対策をうつための資料に供しては如何か 一般の人には理解出来るか？
		50～59歳	人が食するものに関して全ての情報を希望します。例として機能水について 安全性に問題がないと判断される 仮に安全性に問題があったとしても 程度と考える・・・との評価が欲しい
医療・教育職 経験者	男性	30～39歳	食品安全モニターとしての仕事かもしれませんが、もう少し一般向けに作ってもどうか。専門にしている者としては、他の文献検索と変わらなく感じます
		40～49歳	健康食品メ-カ-の無認可品実名及エビデンス公開食品表示法も改訂されますが、消費者の立場で解りやすく
		50～59歳	項目毎に詳細な情報ソース(雑誌名・巻号・ページ等)を示して頂きたい
	女性	30～39歳	食に関する情報の出どころが分かり、知識を深めるのに便利だと思います。画面上で、新着のものが表示されるともっと良いと思います 図式として説明された一般向けの説明文が検索できるものが含まれていると良い
		40～49歳	詳しく専門的な内容が多く、途中で読むのがいやになってしまう。一般の人向け、中高生向けなどのページがあるとよいと思う。色をつけたり、図を使ったりして、わかりやすい言葉にして下さるとありがたいです 以前、食品安全モニター-をさせて頂いていた時にも感じていたことですが、ホ-ムペ-ジが堅苦しすぎると思う。民間企業のホ-ムペ-ジなどは色使いも派手で、いかにしたら興味を持って見てもらえるかということに腐心しているのがわかる タイムリ-な食の安全に対する話題。今なら、ミ-トホ-ブについての一連の流れなどを、より詳しくわかりやすく伝えて欲しい

職務経験	性別	年齢	回答
		50～59歳	東京以外で開催される食の安全についての情報(講演会・研修等)
		60～69歳	情報システムの中に、安全マーク商品に対して、再度時折安全である事を定期的にチェック出来るシステムを作ってほしい(今回の様なミ・トホ・ブ的誤りを見逃さなくなるのではないですか?)
その他消費者 一般	男性	30～39歳	最近、中国や韓国産の食品から、汚染が検出されていますが、(そのような情報が)わかるシステムのビデオを用意して欲しい
		50～59歳	中国の食品の検査体制等の正確な情報が欲しいです。(チェック体制)
		50～59歳	食品安全について海外、特に欧州でのめだった動きトピックス等海外情報のコナ-が欲しい
		60～69歳	有害物質の簡易スクリーニング法に関する情報
		70～79歳	食品安全委員会に寄せられる質問・意見のうち、関心が高いあるいは正しい理解を促す必要ありと判断される項目を、注目情報として別メニューとされてはいかがでしょうか
	女性	20～29歳	専門的な事も重要であるが、一般の誰が見てもわかりやすいよう、言葉(単語)を索引できるとよいのではないかと思う
		30～39歳	各国の食品の安全レベルの差が分かるとよいと思います
		40～49歳	企業の信頼性、評価
			業界(企業)がどのような努力をしているのかも見えるような情報が欲しいです
			日本の水道法の基準について、諸外国との比較
		50～59歳	食品添加物などについて、もう少し、一般の主婦が見ても理解しやすく、見やすい状態であれば良いと思う
			ミートホープの偽装事件のような内部告発があった場合、管理担当省庁の調査指導も重要であるが、警察等へも直ちに通報するシステムが必要であり、このようなケースが毎月何件位あるのか、その後どのように対処したかの統計速報情報をのせてほしい
			一般向けの情報をもっとふやしてほしい
	できるだけ専門用語を避け、わかりやすい解説を望む。検索のキーワードが短いものでヒットするように		

(4) 見やすさについて

(回答者数=19人)

職務経験	性別	年齢	回答
食品関係業務 経験者	男性	50～59歳	モニター-報告の検索の仕方で、その他検索条件に今ない項目を追加して、最初にもってきた方がシンプルで解り易い

職務経験	性別	年齢	回答
		60～69歳	委員会でのトップページで「このシステム」の案内表示をもっと目立つ色にするか、表示場所をDVD配布案内よりもっと上位に移す
		40～49歳	トップページにある“食品安全総合情報システム”のバナーが下にあるので、かなり探しにくかったです。内容については「専門的で充実している」は、充実しているという意味でなく専門的すぎるのがマイナスというイメージです。
			もう少し簡単に入っていける方法(ワンクリックで)があれば良いのだが、内容は解りやすく(自分のレベルにはあう)見やすいと思う
	50～59歳	文字表現が多すぎてわかりにくい部分もある。表や絵等で「読む」から「見る」情報になればよいと思う	
		読みにくい。意図している所がわからないので、内容を知る前にやめたい	
	食品関係研究職経験者	男性	20～29歳
女性		50～59歳	スペース量もあるせいか、表題が大きな区分で切られているようです。農薬の場合、その時に話題にのぼっている物があれば、その名前を表示する方が解りやすいと思います
医療・教育職経験者	男性	30～39歳	用語検索において、検索後に「詳細表示」した画面に、関係する画像やリンクが貼りつけてあると良いと思います
	女性	30～39歳	内容が多く充実しているが、一般の消費者からみると、あらかじめどのような情報がほしいのかイメージしていなければ欲しい情報にたどりつけなと思います。メニュー表記の用語も内容がイメージしにくいです
		50～59歳	内容の難易度がわかりやすく表示してあると良いと思います
その他消費者一般	男性	30～39歳	字が細かく、文章が長いので、見づらい
		20～29歳	難しくわかりにくい印象。色や文字をもっと大きくし、目に入るようにしてはどうか
			内容は専門的で充実していると感じるが、一般消費者には少し難しいし、情報量も多いと思う。字が小さくて見づらく感じる
			添加物の評価結果と概要を別のわくで書いてもらえると、わかりやすい
	女性	30～39歳	受付文書等PDF化しても意味ないのでは？検索機能はyahoo!やgoogleの方が慣れていて使いやすいので独自システムはやめて欲しい、内容はHTMLで簡潔に表示できるように望みます、見る気になりません
			トップページから探すとはかりにくい。「～ナビ」の様にしたら目がいくかも…
	40～49歳	もっと簡単にわかりやすく、楽しくなると使い易い。Q&Aに一覧がないので非常に使いづらい	
トップページで見つけにくいので項目をきちんと表示すべき			

(5) その他・不具合など

(回答者数=15人)

職務経験	性別	年齢	回答
食品関係業務 経験者	男性	40～49歳	検索画面で入力項目や内容に不備があった場合、「エラー発生」が表示され、メニュー画面に戻ってしまう。検索画面に戻す事はできないか？
		40～49歳	Explorerの戻るボタンを押してもどった時に、「処理が2重に呼び出されました」というエラーが出て使いにくい。よく検索される項目トップ100をランキングしてリンクを表示すると使いやすいと思います
	女性	60～69歳	メニューは開けるが、各項目を選択するとエラー発生メッセージが出て入れない。従い問8、問9は回答不可。コメントも出来ない。(貴御担当の方にTEL済)
食品関係研究 職経験者	男性	30～39歳	「戻る」ボタンを使用すると「エラー発生」になる状態を改善してほしい
	女性	50～59歳	食品安全総合情報システムを何度も利用しようとしたが、エラー発生というメッセージが出て利用できない、現在PCに問題はなく、原因を調べている、(アンケートはホームページより一部を見て回答)たまに検索画面ができることがあるが90%以上利用できない
医療・教育職 経験者	女性	50～59歳	ボタンをクリックしても、すぐエラー表示になる(入口の所で入りにくさを感じた)
その他消費者 一般	男性	60～69歳	私の操作ミスによるのかエラー画面になることが多く使用しにくかった
	女性	30～39歳	動作が遅くて使いにくいので、もう少しユーザビリティを上げてほしい。エラーが多いので、もっとシステム環境を整えてほしい
			エラーが出て全く使えなかった
			メニュー画面に戻らないとエラーになるが「戻る」ボタンも使用できるようになると、もっと使いやすいように思う
			検索画面等をクリックすると「エラー発生」となり、「食品安全総合情報システム」が使えませんでした
		色々、試してみようとするすと「処理が2重に云々」というエラー表示が出てきて、困惑する。(Yahooなどの一回で表示するシステムに慣れているため)	
50～59歳	メルマガジンのアドレスをクリックしても「食品安全情報システム」が開らなかった エラーが出て検索しにくい、検索方法についての説明画面が欲しい		

(6) その他・感想など

(回答者数=20人)

職務経験	性別	年齢	回答
食品関係業務 経験者	男性	60～69歳	実際の利用頻度が少く、現在意見を述べる迄に至っていません
			職務上極力利用しようとしているが、多岐・高度な面からとつきにくい。当方の能力にも問題あり
		70～79歳	もう少し使い込んでみないとわからない
	女性	30～39歳	今回初めて使ってみたので、とても便利だと思いました。今後活用させていただきます
			末端の食品消費者がもっと手軽に身近に利用できるようなになれば良いと思う
		50～59歳	国内外の学校、研究機関へのリンクがよりできるようにして欲しい
図書館に資料を置いたり、インターネットを見れるようにしてほしい			
食品関係研究 職経験者	男性	20～29歳	何よりも世間に周知することが大事だと思う
	女性	50～59歳	情報をリアルタイムでより速く正確なものがほしいと思う。いろいろな方面からの意見が必要
医療・教育職 経験者	男性	60～69歳	現状でよい
	女性	40～49歳	今のところ、良いと思います
		50～59歳	使用説明書に図解してほしい。図解すればわかりやすい 最新情報がわかるが、やはりマメにみないと自分の勉強にならない(自分の反省から)
その他消費者 一般	男性	40～49歳	様々な検索機能・様々な情報のリンク
	女性	30～39歳	このようなシステムがあることを知り、とても役立つので今後活用していきたい
			今のままで良いと思います
		40～49歳	専門家にはいいかもしれませんが、私には難しかったです
		60～69歳	あまり利用してないので、よくわからない
			スーパーの入口のメニュー板(実物を見てみて下さい)ほとんどのスーパーにあります。ここにカード形式で情報を是非！！
70～79歳	所属している消費者団体に情報を提供している		

メールマガジンへの要望、意見

問 12 当委員会のメールマガジンについて、改善すべき点など御意見があれば、回答欄に出来る限り具体的に記入してください

(1) 内容についての意見

(回答者数=49人)

職務経験	性別	年齢	回答
食品関係業務 経験者	男性	30～39歳	ちょっと内容が難しく分かりづらいですね。もう少し専門用語を減らしてもらえたらいい
			開催案内よりも、結果の概要を重視してほしい(委員会等)
			諸外国の食品安全委員会と類似した組織の動向等を、日本語で伝えて欲しい
		40～49歳	現在の内容で充分と考えます。継続的な配信をお願いします
			高度な専門家向けではなく、一般消費者の関心事を中心とすべき
			わかりにくい内容のときもあるので、一般向けにわかりやすい解説がほしいです
		50～59歳	食品に関する意見交換会の開催日時の発信について、お電話でも申し上げましたが、実施日の半年ぐらい前には公にしてほしいです
			食の不安報道の多い今、マスコミ報道への反応は当日来ます。即、対応できるような情報の案内の工夫が欲しいですね
			専門委員だよりを楽しみに読んでいるが、本音の部分をもっと強調してもよいのではないか。編集後記に工夫がほしい スタッフの近況報告など
		60～69歳	ホームページとの重複になるので、項目1～4は必要ないと思う。メールマガジン独自の話題を望む
			現在の私の生活では必要とすることは少いが、相当の専門性を持った情報であり、貴重である
			1.内容の要点を判りやすい文章、語句で記載願います。2.用語解説はニュース発生に応じてタイムリーに願います
	余りに高度・専門すぎる。機能、目的上仕方がないとも思うが、もう少し平均レベルの人がアプロ-チしやすいものになれば、利用も増えると思うが		
	70～79歳	委員会等の結果が多く具体的な意見等の内容が分かりにくい	
	女性	30～39歳	一般の方は入りづらく、やや難しく感じる
			会合の結果概要を読んでも、意味・内容がよくわからない。もっと分かりやすくしてほしい。編集後記は不要だと思う
			民間のe-マガジンとは違うので、編集後記で個性を出す必要はないと思います
			もう少し、分かりやすい言葉や表現を使った方が認知できる人が増えると思う
50～59歳		初めて見た時は、専門的すぎてよく分からないことが多いなと感じました。もう少し分かりやすい内容のものにできないのかなと感じました	

職務経験	性別	年齢	回答	
食品関係研究 職経験者	男性	50～59歳	メールだけ読んで完了し、有益な情報。7(食の安全に関する用語解説)は、これに当たる	
		60～69歳	内容が多岐に渡り、分りにくい 市民向けのセミナー等で、話題として提供できる最新情報等を多くお願いします	
		70～79歳	薬剤等の解説を本文の中に入れて、わかりやすくなると思います	
	女性	50～59歳	書式としては、このような物で良いと思います。詳細の部分を読むと解りやすく、モニターの報告は参考になります	
		60～69歳	新しい情報が受信でき、委員会への関心もより深まると思います。たくさんの人に受信してもらえたら良いと思います	
	医療・教育職 経験者	男性	40～49歳	1.2会合(食品安全委員会及び専門調査会)出席者の略歴(簡単でも良)発言者の氏名
60～69歳			食の安全に関する用語解説の充実	
女性		30～39歳	分野別に短くてもいいから、情報を流してほしい。逆に言えば、たとえばBSEについてなど希望するトピックスのみを受信するマガジンがほしい	
		50～59歳	全体的なイメージが堅苦しい感じがする。各委員会のメンバー紹介など、委員を身近に感じる工夫が必要	
		60～69歳	専門的委員会ではありますが、専門家以外の人でもメールが読めるので文字ばかりでなく映像で流せる部分は映像もとり入れ、分かりやすく(見やすく)していただければ、もっと活用しやすいです	
		70～79歳	薬品名等見慣れない単語でその特性、使用目的を知ることができ大変興味深い 編集後記の項目ですが、視点を「食品の安全性」にしぼって古今東西、さまざまな内容にされてはいいかでしょうか	
その他消費者 一般	男性	20～29歳	クイズなども加えて、楽しめるメールマガジンに出来ると良いと思います	
		40～49歳	ISO22000に関する内容を入れて欲しい	
		60～69歳	食の安全に関する用語解説を充実させてほしい。一般的に使用されていても正しく理解されていない用語が多い レベルダウンさせる	
	女性	20～29歳		半年ほど前から、週一回楽しく読ませていただいています。食品の安全が仕事とつながっている身としては、今ぐらいの内容で丁度良く、これからも受信していくつもりですが、これとは別に、もう少し一般向けのものもあっても良いかもしれない
				専門的な事も重要であるが、一般の誰が見ても分かりやすいよう、言葉(単語)を索引できるとよいのではないかと思う
		30～39歳	詳細がすぐわかるようにURLがのっている点がとてもいい、編集後記がとてもおもしろい 少し難しいような気がする	

職務経験	性別	年齢	回答
		40～49歳	かたい感じがする
			専門的で主婦には理解しきれない内容があります。(項目1:結果概要)など、もう少し簡単にまとめて頂けるとうれしいのですが
			私のような一般消費者には、ちょっとカタイイメージです。しかし毎回楽しみです。e-マガジンを読んで感想や質問や意見を入力できず、食の安全ダイヤルにメールする事が何度かありました。100字か200字程度の感想を入力できるコーナーがあるとありがたいです。編集後記に作者の本音や季節感があって、とても良い
			食の安全等の用語は、分かりやすく解説してほしい
			子供向けのものを作成して下さい。夏休みの研究とかにも使用できますし、食に関心が高まります
			きちんと整理されていていいと思うが、おもしろさには欠ける
		50～59歳	携わっている者には使い易く内容も充実だが、一般的にとっつきにくいのでは…
			ネットに求めるのは即時性、ホットな情報。会議についてだけでなく、「中国産」が話題になったらその科学的な解説など
		60～69歳	いつも同じような書き方なので興味がわきにくい。簡潔なのはいいが、具体性に乏しいように思うので、時に1つの点に絞って詳しく書く方法も検討してほしい
		70～79歳	意見交換会の議事録を早急に知りたい

(2) 情報量についての意見・情報発信量

(回答者数=16人)

職務経験	性別	年齢	回答
食品関係業務 経験者	女性	30～39歳	もう少し簡潔に短くした方が、分かり易いと思います
			情報量が多すぎるように思う。非公開の会合の開催案内まで掲載する目的は、何なのでしょう？対象者にもよるが、重要なトピックスを絞り込んだ方が読み手としては分かりやすい
		40～49歳	まだ登録したばかりなので、充分読み込んでいません、ただ量とポイントには気をつけていただきたい。メルマガは「サッとしか見ない物」だと思うので
		50～59歳	情報量が多すぎるので、もっと簡潔にしてもらいたい
医療・教育職 経験者	男性	30～39歳	かなり長文ですので、トピックスをまとめて欲しいと思います。現状では全ての文書に目を通すのは難しいです
	女性	30～39歳	内容は面白いですが、少し長いかもしれません
	情報量が多すぎて、読むのがおっくうになる。情報をもっと限定し、必要ならリンク先を参照できる形にした方が、親しみやすいのでは。委員会や会合も、日時とタイトルのみでよいと思う		

職務経験	性別	年齢	回答
		40～49歳	メールマガジンがあまりにも量が多く、項目ごとにまとめられたり、もう少し見易くなると良いと思います
その他消費者 一般	男性	30～39歳	1つのメールマガジンが長すぎる。1回あたりの内容を半分にして、配信回数を増やした方がよいのでは
		40～49歳	もう少し短かくまとめておいた方が読みやすい
		60～69歳	とてもよく出来ていると思います。ボリュームが多すぎて、全部読みこなせないという贅沢な悩みがあります
	女性	40～49歳	長過ぎて読みづらい
			情報量が多く、読むのが大変です
			量が多く見るのが大変
			情報量が多いと思います、自分の興味のある所しか、見てないですが、役に立っていると思います
60～69歳	情報量が多く満足している		

(3) 情報量についての意見 掲載方法

(回答者数=12人)

職務経験	性別	年齢	回答
食品関係業務 経験者	男性	60～69歳	文字だけでなく、音声や絵、写真等の活用も検討された方が良いと思います
	女性	30～39歳	HTML方式(?)というのか、字だけでなく、ホ-ムペ-ジの状態で届くと見やすいと思います
		50～59歳	お忙しいとは思いますが、意見交換の食品安全モニターからの報告、コメント順次はやく知りたいと思っています(月分にしないで)
食品関係研究 職経験者	男性	30～39歳	(小職は良いのですが)一般の方向けに、少し情報を絞った、いわゆるLight版のようなものがあると良いと思います
		40～49歳	読みにくい。一般の消費者は、まず今の形態では読まないと思う。リスクコミュニケーションの役割を考えたら、もっと分かりやすいものにすべき。メールマガジンも専門と一般の二本立てで出せば良いと思う
医療・教育職 経験者	女性	50～59歳	一度にみるとボリュームがあるので、お知らせと会議概要は分けていただくと分かりやすい
			一回あたりの情報量が多いので、発行頻度を増やしてコンパクトになると、もっと読みやすいと思います
その他消費者 一般	男性	60～69歳	議事の概要があって、詳細は添付を見る。この方法が見やすい
		70～79歳	オ-パ-ヘッドプロジェクター(OHP)を使って説明するようにつもりで表示し、詳細はクリックする形態が望ましい

職務経験	性別	年齢	回答
	女性	30～39歳	長くて要点や読みたいところを探すのが大変なので、もっと簡潔に読み手のニーズの高い順番に並びかえるとか、読み手に必要ない情報(一方的)はバッサリ切ってもよいのではないのでしょうか
			結果概要など、専門的に書いて頂いたものと、それを短く、知識のない方も理解できる文章があると、他の人に伝える時に、役立つように思います
	60～69歳	マンガや絵を多用して(その分情報量が減っても止むを得ない)見る気になる工夫を。できたら動画で そういう時代です、今は	

(4) 見やすさについての意見・全体

(回答者数=31人)

職務経験	性別	年齢	回答
食品関係業務 経験者	男性	40～49歳	最後の「絵?」「図?」の様なものが良く理解できません。必要なのでしょうか?あと、HTML化はしませんか?
			全体的に、もう少し分かりやすく見られるようにしてもらいたい
		50～59歳	見やすさの研究をしてほしい
		60～69歳	文章は簡潔に
			構成及び内容がパターン化・固定化し過ぎないようにして、トピックスなどの充実や図表化など、新鮮で興味の起るページを増やして欲しい
			項目が多過ぎる。トピックスな事項を重点的にメリハリを付けて下さい
	女性	30～39歳	こちらの受信環境も要因かもしれませんが、少し読みづらく感じます。HTML形式のメールマガジンになると、色分けやイラストなど可能でより良くなるのでは?と思いますが、メールに関しては素人なので・・・
			文章が箇条書きで、あまり見る意欲がわかないので、もう少し見やすくしてほしい
			何となく、とっつきにくいので、ザックバラに(分かりやすく)してほしい
			よくまとまっていて、読みやすいと思います。発行ペースも丁度良いと思います
		40～49歳	活字が多過ぎて、どれに的を絞って見たいのか、わかりづらい所がある
		50～59歳	やはり文字表現が多く、読むのが面倒になることもある
食品関係研究 職経験者	男性	20～29歳	もう少し見やすくなれば良いと思う
		60～69歳	もう少し美しく
	女性	30～39歳	どの年代を対象として作成されているのでしょうか?見る人は限られているような気がします。朝日新聞にシリズで掲載されていたように、活字の方が、多くの人の目にとまり、関心をもってもらえると思いますが
		50～59歳	いろいろな情報を得る事が出来、利用させてもらっている、できれば段落などの位置を合わせて、全体をわかりやすく見る事が出来ればありがたい

職務経験	性別	年齢	回答
医療・教育職 経験者	男性	30～39歳	表題に分類番号があると整理しやすい
	女性	40～49歳	ていねいに書かれていてよいと思うのだが、一目で見れなく、途中までしか読む 気になれない。一覧にして、リンクを貼る形にできないものか
			見にくい
	50～59歳	ホームページトップで概略を載せ、そのページ上にリンクを貼ってほしい。文字の 大きさ・字体・構成等々見やすさを考えて欲しい (1)目次は全体の把握にとても役立ちますが、実際にスクロールして、読みたい 記事を探そうとすると、途中で、見失うことがあります。 が、多用されている ので、レイアウトの仕方や、記号の使い方に、工夫してもらえると読み易いです。 (2)編集後記の横文字数がオ - パ - して、折り返しているの、考慮願います	
その他消費者 一般	男性	40～49歳	編集後記、絵文字は不要。又、6(委員随想・専門委員だより)、7(食の安全に関 する用語解説)もなくてよい。会合の結果などはハイパーリンクでなく、わかりやす く表示すること
	女性	20～29歳	カラーや写真などが見られるようなHTML版を作ってほしい
			ただ羅列された文章で面白味に欠けるのであまりメールを読む気がしない
			文字ばかりで読みづらい
			画像などもあったら見やすいと思う
			改行文字数少ない
			文字ばかりで(文字が多くて)、読みづらい
	文章だけでなくイラストもあるHTML形式にしてもらえると、読もうという気になる		
40～49歳	文字ばかりで、全部見るのは大変です		
50～59歳	編集後記に絵文字を入れる必要はないと思う		

(5) 見やすさについての意見・デザイン構成レイアウト

(回答者数=12人)

職務経験	性別	年齢	回答
食品関係業務 経験者	男性	50～59歳	見出しもあって見やすいですが、一行の文字幅を限定せず、もっと文字数を増や して、字の大きさも大きくしてほしい
		60～69歳	目次の項目で、もう少し内容が読み取れると、全項目をチェックしないでも関心の 高いものから先に見ることが出来るのでは
	現状簡潔で分り易く良い。黒字だけでなく色彩を使って内容を区別するともっと親 しみ易くなる		
女性	30～39歳	情報量は十分だと思います。文字ばかりなので見ていて疲れてしまいます。もう 少し工夫があると、もっと良くなると感じます(見出しをカラ - にし大きくする等)	

職務経験	性別	年齢	回答
		50～59歳	読者の読みたい内容の順に入れかえてほしい。結果報告は最後が良い。5「食品安全委員会ホームページの新着情報」、4「食品に関する意見交換会のお知らせ」、2「食品安全委員会及び専門調査会会合の開催案内」、3「食品に関する意見募集お知らせ」、1「食品安全委員会及び専門調査会会合の結果概要」、6「委員随想・専門委員だより」、7「食の安全に関する用語解説」、8「編集後記」の順が望ましい
食品関係研究 職経験者	男性	30～39歳	少々項目が分かりづらいので、もう少し工夫できないでしょうか
	女性	50～59歳	レイアウトを考えて下さると、もっと見易いのではないかと思います(印刷すると見にくい)
その他消費者 一般	男性	60～69歳	内容はかなり充実しており評価できますが、読みづらい。改行、1行あけ、文頭は一字下げ等、一見して読み易くする配慮をお願いします
	女性	20～29歳	編集後記などで、親しみやすくなっており、大変良いと思う。ただ、文字が小さいと、読みにくい人がいるかも
		40～49歳	知識・興味のあまりない一般の人が受信しても興味がわくよう、もう少し順序・見出しを工夫すると良いのではないか
			記載の順番を考えて欲しい。頭に専門的な事がありすぎて、後に書かれた情報まで行きつかない
50～59歳	毎回送られてくる内容の中で、重点的な物を先に掲載してほしい。タイトルが具体的にないと、より一層良いと思います		

(6) その他・情報掲載のタイミング

(回答者数=2人)

職務経験	性別	年齢	回答
食品関係業務 経験者	男性	60～69歳	定期的な配信であり、知りたい事、問題が報じられた事に多少タイムリー性に欠ける部分を感じるが、「速報」的な欄もあっても良いと思うが
その他消費者 一般	女性	40～49歳	定期的に情報が得られるのはとてもいいです

(7) その他・周知方法

(回答者数=2人)

職務経験	性別	年齢	回答
食品関係業務 経験者	男性	70～79歳	メディアに対する情報発信をもっと強力に出来る仕組みを工夫し、実行して欲しい
その他消費者 一般	女性	40～49歳	良い活動をなされているのに、一般の多くの人の目にふれる機会は少ない。配布印刷物を、都道府県から市町村に配り、町内会の回覧板で回すとよいと思う

(8) その他・感想その他

(回答者数=13人)

職務経験	性別	年齢	回答
食品関係業務 経験者	男性	30～39歳	予定枚数があるので入手できなかった
		50～59歳	キーワード検索がわかりにくい。過去に投稿したテーマについて調べようと思ったが、わからなかった
医療・教育職 経験者	男性	60～69歳	現時点ではありません
	女性	50～59歳	いつも感謝して見えています
その他消費者 一般	男性	30～39歳	私は、インターネットをできる環境ではなく、(仮にできて)意味がわからないことが多いので、(せっかくの情報が)生かせません。(もう少し)わかりやすい情報を流して欲しいと思います
		40～49歳	携帯電話での着信が可能になると良い
		50～59歳	特にありません。大変よくまとめられた「メ-ルマガジン」だと日頃より感心しています
	女性	30～39歳	このアンケートを見て受信しようと思いました
		40～49歳	モニターとしてメールアドレスを登録しているので、自動的にメールマガジンが受信できるようにしてほしい
			メールマガジンが悪いわけではありませんが、開催案内はどうしてあんなに間近にならないと掲載してくれないのでしょうか。少なくとも1weekくらい前には大まかな内容でもいれて欲しい
		50～59歳	モニター-2年めで、「メ-ルマガジンを申し込んで下さい」とお知らせいただいたので申し込んだところ、2部送られて来ました、案内に「2年目の人は継続して送ります」とか書いてほしかった
			最近インターネットでマガジンを見るようになったので、今の段階ではまだ慣れていないので、改善すべき点がよく判りません
60～69歳	同じことを2度記入なっているが？		

映像ソフトの活用方法

問 15 当委員会の作成した映像ソフトについて、どのように活用されていますか。
次の中から一つ選び、回答欄に該当する番号を記入してください。

(1) その他 (自由記述)

(回答者数=10人)

職務経験	性別	年齢	回答
食品関係業務	男性	40～49歳	配布が終了したので、自分しか見ていない

職務経験	性別	年齢	回答
経験者	女性	30～39歳	個人で見ただけ
			市役所の栄養士の方に活用されるようにと連絡を入れて、多くの方々に利用していただくようお願いしました
食品関係研究 職経験者	男性	40～49歳	大学での自分の講義
		70～79歳	今のところ活用する機会がない
	女性	60～69歳	食品衛生学の授業に用いている
医療・教育職 経験者	男性	60～69歳	自分が普及啓発するための参考資料として活用
	女性	50～59歳	現在3(個人的な場所(家族や友人等との集まりなど))だが2(自分にとって関係の深い職場や団体で活用)の利用予定
		60～69歳	興味ある女性達とサークルを作り勉強しています
その他消費者 一般	男性	60～69歳	とりあえず家族と見たいと思います

映像ソフトについての要望、意見

問16 当委員会が制作する映像ソフトについて、改善すべき点など御意見があれば、回答欄にできる限り具体的に記入してください。

(1) 内容について

(回答者数=64人)

職務経験	性別	年齢	回答
食品関係業務 経験者	男性	40～49歳	どうしても民放等の情報番組と比較されてしまうため、内容の理解度より、信用度に関心が行きやすいため、そこをどうするか考えた方が良い
			専門用語はできるだけ使わないで、平易な内容とすべき
			対象が幅広い為に、素人にはOKだが、ある程度分かっている人に、更に誤りやすい点などをアピールする目的では、使いにくいです。又表現に時々違和感を感じます
			各々のソフトの時間を延長して、もう少し詳しく説明してほしいです(短くても30分位はほしいです)
			メチル水銀のDVDしか見ていないので、他の2本は何とも言えませんが、内容は理解できました
		50～59歳	DVDの「21世紀の食の」はタイトルそのものが受けつけない。内容も他の3タイトルと比べ？とつきにくい
			もう少し専門的な部分があっても良いと思います。人心を安心させる為のDVDとしか取れない部分があるのが、気になります

職務経験	性別	年齢	回答	
			リスクコミュニケーション等の基礎的内容のみならず、例をあげてリスクコミュニケーションを行っている場を是非モデルとして見せてほしい	
		60～69歳	現在作成されているDVDは専門的な面だけに終始せず、非常に解り易いと思う。専門知識を意識すると、どうしても観る面から敬遠する傾向があるが、その意味でもパッケージデザインにも一考の余地があるとも思う	
			もう少し詳しく説明し、更に消費者に問題点、注意点を知らしめる工夫があっても良い	
			わかり易くできていると思います	
			一般出演者の拳動・発言には、演技過剰で不自然な違和感がないようにして欲しい(遺伝子組換え食品のDVDにつき)	
			映像時間の制限もあるのですが、もう少し専門的、科学的な部分もあって良いと思います。理解の直前で終了しているのは勿体無いと思います(3分延長して説明して欲しい)	
			1.きれいな事に終始。…ドロくさい内容も必要。2.過去のトラブル事例と対策を入れる	
			初心者の疑問に対し、解決しようとしている点は評価しています。ただ何かもの足りないというか、ツッコミが不足していて、逆に不安が増す点もある	
			反対する意見等を多くし、それぞれの件について説明する事が分かり易い	
			アニメ化した方が分かりやすい	
		70～79歳	食品添加物の映像ソフトを是非お願いしたい	
			よく出来ていたので、特に改善すべき点はない	
		女性	30～39歳	社内教育用の基礎資料として利用させていただきましたが、わかりやすくて良いという意見が多かったです
				周囲に理解しやすい内容でよいと思う。他のソフトも制作して下さい
			40～49歳	対象がどこなのか不明で、ポイント(一番言いたい事は何か?)がはっきりしなかった。(1回講習会で見ただけなので、そう思ったのかもかもしれないが…)
50～59歳	もう少し専門的であっても良いのではないのでしょうか			
	幼稚園等々の子供達にも見られる内容にしてほしい			
食品関係研究職経験者	男性	30～39歳	同封のハガキにも書きましたが、危険性のみが前面にでないように(利点をより明確に)した方が良い	
		40～49歳	学生の思想や意見は後日まとめて報告するが、自身で見て改善すべきと感じた点としては、ソフトによって作り方、内容の難・易がバラバラであること。センスの問題になるので書きにくいですが、映像の作り方はもっと外部の専門の意見を取り入れるべきと思う	

職務経験	性別	年齢	回答	
		50～59歳	問題のないレベルで作られていると感じます(コストはわかりませんが)	
		60～69歳	遺伝子組換え食品の安全性は理解できるのですが、環境への影響も含まれるので、その点もコメントが入れられると良いと思いました	
			もう少し技術的(科学的)に掘り下げた方が良いように思います	
			一般的な説明としては良いと思いますが、実際に問題になっている点は個別の具体的な例(例えばシジミの残留農薬等)であると思いますので、こういう点にもご配慮をいただけたら有難いと思います	
	女性	40～49歳	画質が若干悪いように感じました。(「気になるメチル水銀」のDVDについて)	
		50～59歳	意見の片寄りが感じられる。多方面からの意見がほしい	
			何となく解ったような気がするけれど……と言う感じで、子供達は眺めていました。映像化する時に、何か気を引くポイントがもう少しあればと感じたのですが	
			特にないが、アニメーション的な構成にすれば、楽しく見ることが出来るかもわからない	
	医療・教育職 経験者	男性	60～69歳	大変良く出来ている
			70～79歳	簡易な内容がよい 欲を言えば、ビデオにしても少しかみくだいたらベスト このようにテ - マごとに今後もDVD or ビデオにまとめて、現場を支援してほしい。
女性		30～39歳	遺伝子組換え～は小学生がターゲットなのは良いが、話の内容は理解しづらい。アレルギーの児童を設定しているのも、関連性がよく分からない。全くリスクはないのかと余計不安になった	
		40～49歳	問17で 委員会活動一般が挙がっている。委員会の活動について知りたい時は、このソフトをお借りするので～のソフトでは触れなくて良いと思う。その分を内容の充実に向けてもらいたい。(ソフトの紹介時に委員会の説明はする)身近な事例を多く取上げて興味関心をたくさんの方が持てる内容であってほしい	
		50～59歳	生産者の声を取り入れる工夫があってもよいと感じた(気になる農薬)	
			映像ソフト、ファクトシート等の食品安全委員会が作成した資料は、他の行政機関のものよりもわかりやすく、評価できます。消費者の視点で作成していただくようお願いいたします	
60～69歳		高校等で活用する時、フォローするための解説があると良い。例、なぜマウスで実験するのか。動物の実験と人体への影響との関連性等		
		映像ソフトでBSEについて、「気になる農薬」、ランクのものを作って欲しい。未来を作る子供達に、今から勉強し関心する心を育てたいので、よく勉強していますが、難しいのが多いです		

職務経験	性別	年齢	回答
		70～79歳	国内での食品安全性は確かなものか、当局の管理と業務の良心にかかっている事。国外からの輸入食品の水際監査が充分でないと、国民の健康を守れない事。・・・をふまえて、施策を信じつつも、尚、自衛すべきノウハウを啓蒙してくれるようなソフト
その他消費者 一般	男性	30～39歳	伝達内容/方法をもう少しやわらかく、面白くした方が見やすくなると思う
		40～49歳	「気になるメチル水銀」のみ見たが、内容がわざとらしい。NHKの「ためしてガッテン」などを参考にして、わかりやすく、自然な演出でつくるようにせよ。なぜ、食品モニターには無料で配布するようにしないのか？
		50～59歳	細い点では色々ありますが、もっと沢山の映像ソフトを見てみないか？ただどの視聴者層を対象にしているのかで、問題点は違ってきます
		60～69歳	私の関心の高い「BSE」、「添加物」関連のソフトをぜひ使って下さい。活用したいと思います
	女性	20～29歳	ある程度知識を持っている人向けと、全く知らない人向けにソフトが作られていたらいいなと思います
			ナレーターが棒読み。具体的な内容の情報量が浅い
			なぜ社会的に受け入れてもらえないのか？などの部分をもっと具体的に深く追求してほしい
		30～39歳	子供向けソフト(親子で見れる)の制作を希望します
		40～49歳	文章より映像なのでわかりやすい。良い
			内容はわかりやすいが、もう少し専門的な解説があれば良かった。中学生向け？と思えるような内容なので、対象にあわせて、何種類か作成しても良いのではないかと思う(ex小中学生向け、大人向け)
			特にありませんが、遺伝子組換えの最終コーナーで、プロッコリーのDNAを取り出す時に、声では「エタノール」と言っているのに、映っているのは「アルコール」と書かれた液体でした。どちらが本当かなと思いました。素人の私でも気付いたので、録画をやり直した方が良いかも知れません。DNAを取り出す実験自体は、子供にも大変人気があり、興味を持って見ていました。
			もっと踏みこんだ内容がほしい
		50～59歳	よいと思います。大変参考になります
食品安全委員会の活動一般の紹介と、各専門委員会の委員の紹介(専門分野や経歴も含めて)を一つのソフトにまとめてほしい(食品安全委とは何か、ということ等を皆に広めるために・・・)			
言葉使いが役所っぽく、心に入っていない。学童クラブや子供のサークルで使いたいと思うが、インパクトが足りず、飽きる様に思う			

職務経験	性別	年齢	回答
			食生活全体全体を見て、食品の安全のため、消費者は何をなすべきか等問題を提起してほしい
			もう少し、テーマを絞ってわかりやすい内容にしてほしい。会話等のぎこちなさの方に目がいってしまい、内容が理解しにくかった
			「気になるメチル水銀」は、内容としてはよく出来ているし、お魚全部が危険というわけではないというメッセ - ジも入っているが、見る方としてはどうしてもお魚が悪いようなイメージを持ってしまうので工夫が必要だと思う
			写真等多用され、導入部もドラマ仕立てで非常に入り易くなっている。児童にも説明がしやすく作られている
		70～79歳	「メチル水銀」については、導入部分をもっとさらっと流して頂いても、一般の人でも理解出来るのでは…。一週間に摂取可能量を魚種、重量を一覧表にして頂いたら見易いとも思いました

(2) 配布方法について

(回答者数=14人)

職務経験	性別	年齢	回答
食品関係業務 経験者	男性	30～39歳	予定枚数に達し、入手できなかった。動画配信の画面は小さすぎる。ダウンロード(高画質)できないか
		40～49歳	「政府広報オンライン」からの動画をすべての映像ソフトについて、公開を希望します
			DVDは、必要になった時に配布終了になっていたため、有償でもいいので継続的に入手できる様にしてほしい
		50～59歳	DVDの配布数を増やす。あまりにも少なすぎます
	60～69歳	「遺伝子組換え～」を見たかったが、依頼を忘れ、間に合わなかったのは残念 映像ソフト配布はよい仕組みである。ただ配布前か同時にホームページ上で見られるようにしてほしい。自分の勉強だけに使用したい時もある	
	女性	30～39歳	ホームページで動画を見ることはできますが、ダウンロードできないため、それを出来るようにしてほしい
医療・教育職 経験者	女性	40～49歳	配布量を増やしてほしい
その他消費者 一般	男性	30～39歳	映像ソフトは、(どのようにして)申込みれば良いのかわからないので、教えて欲しい
	女性	20～29歳	一般家庭にPRできるように、大手のレンタルショップでの借出を検討して下さい
		30～39歳	DVDが無料で配布されている事を存じませんでした。どんどんPRして頂ければ見る人も増えると思います

職務経験	性別	年齢	回答
		40～49歳	内容については申し分ないが、配布方法である。例えば食育を目的とする学校などに、積極的に配布または貸し出しをする仕組みをつくることを検討してはどうか すでに在庫がなく入手できない。メチル水銀なども、もう少し増刷してもらいたいです。ネットの公開ではとても見にくいですし・・・
		60～69歳	ビデオで配るのは反対！！HPに楽しめるよう工夫してupした方が効果的

(3) その他・感想

(回答者数=15人)

職務経験	性別	年齢	回答
食品関係業務 経験者	男性	30～39歳	その映像ソフトの内容を簡単にまとめた資料(配布用)を、PDFでソフトに添付していただくと説明しやすい
		50～59歳	どんどんやって下さい
			「気になるメチル水銀」と「21世紀の食の安全ーリスク分析手法の導入」について、ソフトがあれば婦人会等で活用したい
	60～69歳	特に改善すべき点はありません	
	女性	30～39歳	内容はとても良く出来ていると思います。対象となる年齢層などをもっとしぼり込んで、関わりの深い機関へ配布していくべきと考えます
40～49歳		ソフトがもっと多くの人に知らされ、観てもらえる機会を増やしたり、自治体というより公民館や学校単位でも見られるようにしてほしい	
食品関係研究 職経験者	男性	70～79歳	現状でよいのではないかと思います 食品安全委員会としては農水省等に対して、食品の安全についてしっかりとやってほしい。北海道のミ・トホ・ブKKの様にいいかげんな対応をしているのは困ります
医療・教育職 経験者	男性	70～79歳	次回映像ソフトの機会があれば、入手して見てみたいと思っております
	女性	50～59歳	わかりやすく一般に子供向けにもうまく作製されている。さらに知識を得たい人への窓口、案内等をつけ加えれば・・・
その他消費者 一般	女性	30～39歳	費用対効果や実際に活用された人からの改善点や意見を聞いただけでなく、それを生かして、本当に改善させて、PDCAをぐるぐる継続的に何回も回すこと ぜひ見たいです
			著作権をはずして欲しい
		40～49歳	活用した事はないですが、一度みてみたいと思う。配布数は十分にあるのでしょうか
		60～69歳	職場にもって行ったが、DVD対応の機器がなかった。ビデオがまだ一般的(公民館なども)パソコンに組み入れられたのも少ない

今後の映像ソフトについての要望、意見

問 17 今後制作する映像ソフトについて、どのような分野の情報を望まれますか。

(回答者数=28人)

職務経験	性別	年齢	回答
食品関係業務 経験者	男性	40～49歳	中国産のあらゆる品物の情報
			中国産の有害食品について
		50～59歳	もっともっと分析が必要
			JAS法(偽装表示)
		60～69歳	輸入食品の安全対策について
			日本の食供給の実態と将来展望
			健康食品等について
			管理面の基礎が必要
			食品香料
女性	30～39歳	輸入食品の取締りについて	
食品関係研究 職経験者	男性	40～49歳	グローバル化する食品の世界ですが、各国間で連携をとりながら進めている食品安全の仕組みについて、マクロ的な視点での説明したものを希望します。
	女性	50～59歳	食品安全委員会は何？見て解る物
医療・教育職 経験者	男性	30～39歳	食の安全性を理解させる食育のビデオ
	男性	70～79歳	中国産原料による危険食品の国別一覧を作り、特定された金属や細菌を具体的に伝えてほしい。日本の分析結果でなくとも各国の情報として伝えて欲しい
	女性	40～49歳	食品安全委員会が出しているリスクへの考える方(リスク分析になる?)
		50～59歳	いわゆる健康食品
			個人的に「動物用医薬品」。全体的に「食品安全委員会の活動一般」、「食育」
		60～69歳	輸入食品に関する様々な情報
70～79歳	摩訶ふしぎな酸素の力(人への益、害)		
その他消費者 一般	男性	30～39歳	輸入食品の安全性に関して
		40～49歳	ISO22000
			輸入食品の検査について
	50～59歳	輸入食品(農産物)のチェック体制	
	女性	20～29歳	中国の食品の安全性
		50～59歳	現在の日本の食品安全全体について
			サプリメントがひき起こす健康被害、正しいサプリメントの摂取方法
		60～69歳	いわゆる健康食品
70～79歳	環境ホルモンの原因と対策		